



国文学研究資料館年報

National Institute of Japanese Literature

平成26年度(2014)

国文学研究資料館年報

National Institute of Japanese Literature

平成26年度(2014)



口絵 1 国文学研究資料館（外観）



口絵 2 「古典の日」講演会（講師 林望氏）



口絵 3 連続講座



口絵 4 アーカイブズ・カレッジ

はじめに

昭和47年（1972）創設の国文学研究資料館は、品川区戸越からの移転後7年を経て、立川での事業・研究体制も軌道に乗り、創設以来継続してきた調査・収集事業、また充実した設備を生かした展示、館外の研究者との共同研究プロジェクトなどを滞りなく実施・遂行しています。

展示は当館所蔵の典籍を中心とした通常展示を軸に、来館者に当館の事業と研究の姿をご覧いただく展示に力を入れています。これによって、従来、年数回の特別展示に伴う展示替えのための休室期間を大幅に減らし、展示室の有効活用と経費節減を兼ねた運営を目指しているところです。

事業としては、向こう10年間にわたる大型プロジェクト「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」が始まって、今年は準備期間を含めた三年目にあたります。

本計画は、日本学術会議の提言「日本語の歴史的典籍のデータベース構築計画」に基づき、科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会ならびに文部科学省のご理解とご支援を得て、平成26年度に、人文社会科学系初の「大規模学術フロンティア促進事業」に認定され、昨年4月から本格的に開始したプロジェクトです。

当館では、この事業を、館創設以来の調査・収集事業ならびに古典籍総合目録データベース作成を基盤として、あらたな飛躍を目指す事業と位置づけています。ただし、国文学の古典籍を中心とした当館従来の調査・収集事業に対し、この事業は「日本語の歴史的典籍」、すなわちすべての分野の古典籍を対象とする事業です。そのような事業を円滑に進めるために、すでに医史学や和算に関して専門家のご協力のもとにワーキンググループを発足させており、さらに異分野の専門家の参加をも要請していく所存です。

大型データベースの構築については、情報学の権威、有川節夫元九州大学総長に顧問をお願いし、また情報・システム研究機構の国立情報学研究所のご協力も仰ぐことになっています。

本計画の名称に冠せられている「国際共同研究ネットワークの構築」は、これまでに当館が学術交流協定を結んできた機関を中心に準備研究を開始しましたが、「語学が嫌いだから、日本史や日本文学を選んだ、と言っている時代は終わった」（上野千鶴子『国境お構いなし』）という研究環境の変化に対応すべく、より強力な国際的発信と連携の推進を目指しています。

私たちはこの「国際共同研究ネットワーク構築」を法人第三期の中期目標・中期計画の柱として推進し、大学共同利用機関としての使命に応えていきたいと考えています。

人間文化研究機構

国文学研究資料

館長 今西 祐一郎

国文学研究資料館年報

平成26年度（2014）

目 次

館長挨拶

I 共同研究	1
1. 基幹研究	1
2. 特定研究	5
3. 国際連携研究	12
II 情報事業センター	13
1. 調査収集事業部	13
2. 電子情報事業部	18
3. 情報資料サービス事業部	25
4. 学術企画連携部	32
i) 国際交流室	32
ii) 展示企画室	34
iii) 広報出版室	35
III 古典籍データベース研究事業センター	40
IV 新収和古書一覧	45
V 各教員実績一覧	54
VI 科学研究費助成事業実績一覧	79
VII 刊行物一覧	80
VIII 外国人教員・外来研究員	81
IX 海外出張・研修一覧	84
X 各種委員会委員一覧	90
XI 運営会議委員・幹部職員一覧	129
XII 大学院教育	131
XIII 管理運営（総務・財務）	136
付 賛助会	140

I

共同研究

1. 基幹研究

【日本古典文学における〈中央〉と〈地方〉】

研究代表者：寺島恒世

研究分担者：石澤一志、海野圭介、落合博志、小林健二、齋藤真麻理、大野順子、浅田 徹（お茶の水女子大学教授）、岩城賢太郎（武蔵野大学准教授）、神楽岡幼子（愛媛大学教授）、久保木秀夫（鶴見大学准教授）、小助川元太（愛媛大学准教授）、小林一彦（京都産業大学日本文化研究所長）、佐々木孝浩（慶應義塾大学教授）、鈴木 元（熊本県立大学教授）、妹尾好信（広島大学教授）、高橋秀城（大正大学非常勤講師）、高橋悠介（神奈川県立金沢文庫学芸員）、徳岡 涼（熊本大学特任准教授）、中野貴文（東京女子大学准教授）、野本瑠美（島根大学准教授）、福田安典（日本女子大学教授）、三村晃功（京都光華女子大学名誉教授）

(1) 概 要

本年度は、研究会を2回開催し、資料調査を継続的に実施した。研究会は、4チームから各1人、及び、個別課題担当者のうち、2名が研究発表を行い、共同討議を行った。続いて、チームごとの討議を行い、今後の計画を検討した。資料調査は、研究チームごと及び個別課題担当者ごとに進めた。

(2) 活動記録

〔研究会〕

◎第1回研究会

日程：5月30日（金） 場所：オリエンテーション室

- 1 久保木秀夫「万治四年禁裏焼失本と永青文庫蔵幽斎本歌合集」
- 2 海野圭介「岷江入楚の諸問題」
- 3 高橋悠介「称名寺の千字文説草について」
- 4 共同討議

◎第2回研究会

日程：12月22日（月） 場所：オリエンテーション室

- 1 野本瑠美「『夫木和歌抄』と平安私家集」
- 2 小山順子「歌枕から名所へー八景詩歌をめぐるー」
- 3 落合博志「室町期東国の日蓮宗寺院における文献利用について一日澄撰『法華経啓運鈔』を例に一」
- 4 共同討議

〔資料調査〕

小山順子 6/15～16 京都府立総合資料館（文献調査）

落合博志・齋藤真麻理・小助川元太・高橋秀城 7/5 神奈川県立金沢文庫（文献調査）
 小助川元太 7/6 京都府立総合資料館（文献調査）
 落合博志 9/8～11 大谷大学図書館・龍谷大学大宮図書館（文献調査）
 小林一彦 10/2～4 宮城県図書館（伊達文庫）（文献調査）
 齋藤真麻理・高橋悠介・高橋秀城・小助川元太・落合博志 10/18～19 大須文庫（文献調査）
 齋藤真麻理 10/20 大谷大学図書館（文献調査）
 石澤一志 1/15～16 京都女子大学図書館・陽明文庫（文献調査）
 小山順子 1/21～22 京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室（文献調査）
 石澤一志 1/23 蓬左文庫（文献調査）
 福田安典 2/14～16 愛媛県立図書館・愛媛大学（文献調査とシンポジウム打ち合わせ）
 高橋秀城 2/15～16 京都府立総合資料館（文献調査）
 石澤一志 2/22～25 伊達文化保存会（シンポジウム打ち合わせ）
 佐々木孝浩 2/24～26 香川大学図書館（文献調査）
 大野順子 2/25～28 大阪市立大学学術情報総合センター・ノートルダム清心女子大学附属図書館（文献調査）
 小林健二 3/8～10 伊達文化保存会・愛媛大学（シンポジウム打ち合わせ）
 福田安典 3/8～10 愛媛大学（シンポジウム打ち合わせ）
 岩城賢太郎 3/10～11 山口大学（文献調査）
 徳岡 涼 3/11～14 東京大学文学部国文学研究室（文献調査）
 野本瑠美 3/27～29 東京大学附属図書館・早稲田大学図書館（文献調査）
 妹尾好信 3/25～28 宮城県図書館（文献調査）

〔研究成果〕

寺島恒世、「歌仙絵における文字表記—〈左右〉の意識と左書きの来歴—」、『日本文学』63巻7号、pp35-44、7月、査読（依頼）有
 小山順子「藤原良経「吉野山花のふる里」考」、龍谷大学仏教文化研究叢書33『日本文学とその周辺』、9月、龍谷大学仏教文化研究所、pp177-206、査読（招待）有
 鈴木 元、熊本文化研究叢書第9輯『菊池風土記1』、熊本県立大学日本語日本文学研究室、影印（pp1～94）「解題」（pp96～98）12月、査読なし
 鈴木 元、「菊池風土記巻一註釈」、地域文化研究の部屋（<http://suzukiha-lab.com/>）、51頁分、12月、査読なし
 妹尾好信、「猪苗代正益奥書『伊勢物語抄（紹巴抄）』の一伝本について」、『広島大学大学院文学研究科論集』74巻、pp15～27、12月、査読なし
 福田安典、「日尾荊山判『七拾六番歌合』について」、『国文目白』第54号、2月、査読なし
 高橋悠介、「称名寺の千字文説草と杉本寺」、『金沢文庫研究』、334号、pp16-27、3月、査読有
 徳岡 涼、飛鳥井家からの蹴鞠問書「飛鳥井殿江間書百六拾貳箇條」紹介、熊本大学文学部附属永青文庫研究センター「年報」第6号、p50-p62、3月、査読なし
 石澤一志、風雅和歌集 校本と研究、勉誠出版、3月

【民間アーカイブズの保存活用システム構築に関する基礎研究】

研究代表者：大友一雄

研究分担者：青木 睦、太田尚宏、西村慎太郎、加藤聖文、種村威史、久留島浩（国立歴史民俗

博物館教授)、三宅正浩(福島大学准教授)、岩淵令治(学習院女子大学教授)、平井義人(大分県立芸術緑丘高等学校長)、白井哲哉(筑波大学教授)、西向宏介(広島県立文書館副主任研究員)、福島幸宏(京都府立総合資料館庶務課新館担当副主査)、小川正人(北海道立アイヌ民族文化研究センター研究主幹)、菅野直樹(防衛省防衛研究所戦史研究センター史料室主任研究官)、浅倉有子(上越教育大学教授)、降幡浩樹(松代文化施設等管理事務所学芸員・係長)、山中さゆり(松代文化施設等管理事務所専門員)、早川和宏(桐蔭法科大学院教授、当館客員教授)

(1) 概 要

本研究では、「民間アーカイブズ論構築班」「民間アーカイブズ調査研究班」の2班により調査研究活動を行った。前者では、調査、伝来、収集整理、編成記述、情報公開、公共活用、物理的保存管理という7つの活動に即して民間アーカイブズの特質と課題を析出し、研究会を通じて議論を深めた。後者では、実践モデルである長野県松代地域と東京都多摩地域の民間アーカイブズ調査、地域連携構築のあり方に関する検討を行った。

(2) 活動記録

〔研究会〕

○第1回研究会(民間アーカイブズ論関係研究会)

日程：5月31日(土) 場所：第2会議室

- 1 山田哲好「史料所在情報データベース再考」
- 2 平井義人「運動態としてのアーカイブズを考える」
- 3 松下正和「自治会文書の保全と活用—兵庫県丹波市での事例—」

○第2回研究会(民間アーカイブズ論関係研究会)

日程：6月25日(水) 場所：オリエンテーション室

- 1 早川和宏「国文研を巡る法的課題」
- 2 加藤聖文「国文学研究資料館所蔵歴史資料の公開について」

○第3回研究会(民間アーカイブズ論関係研究会)

日程：9月6日(土) 場所：第2会議室

- 1 高木秀彰「自治体史編さん事業における区域外所在史料の調査と活用」
- 2 種村威史「民間所在資料の目録刊行と公開をめぐる諸問題—調布市飛田給野口平一家資料から見た—」
- 3 太田尚宏「多摩地域の民間アーカイブズの保存活用と国文研の役割」

○第4回研究会(松代地域モデル調査関係研究会)※科研との合同研究会

日程：10月4日(土) 場所：第2会議室

- 1 南 隆哲「明治前期における『真田家文書』の文書管理と伝来」
- 2 榎本 博「御目付の職務と文書の生成・管理」
- 3 宮澤崇士「松代藩職制表をみなおす」

○第5回研究会(民間アーカイブズ論関係研究会)

日程：1月10日(土) 場所：第2会議室

- 1 太田富康「民間アーカイブズの保存利用機関をめぐる制度の変遷と影響—図書館と社会教育/公文書管理と文書館—」
- 2 福島幸宏「デジタル・アーカイブズの動向について—保存・閲覧・利用の観点から—」
- 3 白井哲哉「21世紀第1四半期の日本における地域アーカイブズの保存・継承をめぐる現

状と課題」

[資料調査]

西村慎太郎 福島県双葉町旧双葉中学校 6/28-29 (地域実践モデル関連調査)

種村威史 長野市立博物館・長野県立歴史館 3/6-8 (地域実践モデル関連調査)

大友一雄 茨城県歴史館 3/20 (地域実践モデル関連調査)

[シンポジウムなど]

○シンポジウム「多摩地域の博物館・資料館・美術館における防災と地域連携」

日程：10月30日(木) 場所：大会議室 参加者：84名

○シンポジウム「松代真田家の歴史とアーカイブズ」※科研と共同開催

日程：12月13日(土) 場所：長野市役所松代支所 参加者：100名

○ワークショップ「地域博物館のための紙資料レスキュー技術―身近な道具・資材を用いて―」

日程：2月25日(水) 場所：大会議室 参加者：60名

[研究成果]

浅倉有子「在番のアーカイブズ」(『国文学研究資料館紀要アーカイブズ研究篇』第11号、3月)

2. 特定研究

【万葉集伝本の書写形態の総合的研究】

研究代表者：田中大士

研究分担者：小川靖彦（青山学院大学教授）、城崎陽子（國學院大學兼任講師）、新谷秀夫（高岡市万葉歴史館総括研究員）、景井詳雅（洛星中・高等学校教諭）、池原陽斎（東洋大学非常勤講師）、野呂 香（当館機関研究員）

(1) 概 要

当共同研究の目的である『新万葉手鑑』作成のために、まず、第一回の研究会で本書の構想と具体的な内容が話し合われ、執筆の分担案が示された。構成員は、その分担案に基づき、各自、調査、研究を行い、第二、三回の研究会でその成果を発表し、討議を重ねた。

(2) 活動記録

[研究会]

○第1回研究会

日程：8月29日(金) 場所：第3会議室

- 1 『新万葉手鑑』作成の方法についての討議
- 2 「仙覚校訂本の古筆切の活用」 田中大士

○第2回研究会

日程：12月26日(金) 場所：第3会議室

- 1 「西本願寺本赤人集成成立考」池原陽斎
- 2 「仮名本万葉集の一種、久世切系統の抄出本万葉集について」景井詳雅

○第3回研究会

日程：3月6日(金) 場所：第1会議室

- 1 「斯道文庫蔵「類聚古集抄切」調査報告」嘉村雅江
- 2 「仙覚新点のめざしたもの」小川靖彦
- 3 「土佐山内家宝物資料館蔵『万葉集古義』が見た諸本一本居宣長記念館蔵「手沢本『万葉集』」との対校一」城崎陽子

[資料調査]

城崎陽子 2/7-2/9 土佐山内家宝物資料館蔵『万葉集古義』の調査

野呂 香 9/4-9/5 京都大学付属図書館蔵 京大本万葉集の調査

1/29-1/30 同上

3/29-3/30 同上

[研究成果]

田中大士「万葉集仙覚寛元本の底本一京大本代赅書き入れと仙覚本奥書からの考察一」（『上代文学』第113号 平成26年11月、上代文学会P41-54）

【中世古今集注釈書の総合的研究－「毘沙門堂本古今集注」を中心に－】

研究代表者：山本登朗（関西大学教授）

研究分担者：落合博志、小山順子、浅田 徹（お茶の水女子大学教授）、大谷節子（神戸女子大学教授）、岡崎真紀子（奈良女子大学准教授）、鈴木英之（早稲田大学日本宗教文化研

研究所招聘研究員)、田淵句美子(早稲田大学教授)、近本謙介(筑波大学准教授)、
薦 清行(大阪大学准教授)、濱中祐子(京都学園大学非常勤講師)

研究協力者:海野圭介、景井詳雅(洛星中高等学校教諭)、館野文昭(慶應義塾大学大学院生)、
野上潤一(日本学術振興会特別研究員(PD))、舟見一哉(文部科学省教科書調査官)、
松本 大(大阪大学大学院生)

(1) 概 要

本特定研究は、近年に国文学研究資料館の所蔵となった『毘沙門堂古今集注』(貴99-169-1~6)を中心として、中世古今和歌集注釈書について、専門を異にする多様な研究者によって検討することを目的とする。本年度が当初年度であり、第1回研究会では、本特定研究の中心資料となる『毘沙門堂本古今集注』原本をグループ閲覧した上で、今後の研究計画、研究成果の公開についての協議をもった。第2回研究会では、3名による研究発表を行った。また、各自の研究と並行して、『毘沙門堂本古今集注』の正確を期した翻刻データを作成している。

(2) 活動記録

○第1回研究会

日程:7月26日(土) 場所:第1会議室

- 1 顔合わせ、研究会概要説明
- 2 原本閲覧(於1階グループ閲覧室)
- 3 概説(山本登朗)、今後の研究計画に関する協議

参加者:山本・浅田・大谷・岡崎・鈴木・田淵・近本・薦・濱中・景井・館野・野上・舟見・
松本・落合・小山・海野

◎第2回研究会

日程:平成27年2月14日(土) 場所:第1会議室

研究発表

- 1 「毘沙門堂本古今集注の諸本について」舟見一哉
- 2 「『毘沙門堂古今集注』に見られる歌語注—平安末期歌学書との関わりを中心に—」濱中祐子
- 3 「冷泉家流の古今集注について」館野文昭
- 4 総括

参加者:山本・浅田・岡崎・鈴木・田淵・近本・薦・濱中・館野・野上・舟見・松本・
坂本美樹(関西大学大学院生)・落合・小山・海野

[資料調査]

各自が以下の機関で関連資料の閲覧調査を行った。広島大学中央図書館(12/23-24館野、3/19-20松本)、鉄心斎文庫(1/23-24山本)、尊経閣文庫(2/10舟見)、国立能楽堂(2/18大谷)、京都大学国語学国文学研究室(3/6-7小山)、国文学研究資料館(3/10-11濱中)、公益財団法人陽明文庫(3/28小山・舟見)

【日本の近世における中国漢詩文の受容—三体詩・古文真宝の出版を中心に】

研究代表者:高橋智(慶應義塾大学附属研究所斯道文庫教授)

研究分担者:神作研一、陳 捷、金田房子、青山英正(明星大学准教授)、伊藤善隆(湘北短期大学准教授)、合山林太郎(大阪大学コミュニケーションデザインセンター講師)、
染谷智幸(茨城キリスト教大学教授)、中川 豊(中京大学准教授)、林 望(作家・

書誌学者)、福井辰彦(上智大学准教授)

(1) 概要

年度初めに、コアメンバー(高橋代表・林望・陳捷・神作)によるワーキングを4回開き、大量の原本を前にして研究の主力等々を議論・確認した(5月14日・23日・7月4日・10日)。研究会は都合7回開催。

「リンボウ先生の書誌学講座」(毎回13時30分から15時。公開)で書誌学のいろはを学び、残りの大半の時間を書誌調査に費やした。

(2) 活動記録

[研究会]

- 第1回研究会 日程：5月30日(金) 場所：第1会議室
- 第2回研究会 日程：6月27日(金) 場所：第1会議室
- 第3回研究会 日程：7月30日(水)～8月1日(金) 場所：第1会議室
- 第4回研究会 日程：10月17日(金) 場所：第1会議室
- 第5回研究会 日程：11月21日(金) 場所：第1会議室
- 第6回研究会 日程：12月19日(金) 場所：第1会議室
- 第7回研究会 日程：1月23日(金) 場所：第1会議室

[資料調査]

3月13日 名古屋市蓬左文庫(関係文献調査)

3月14日 西尾市岩瀬文庫(同)

3月15日 藤園堂文庫(同)

参加者は8名(高橋・伊藤・合山・林望・福井・金田・陳捷・神作)。

[研究成果]

特に初年度である今年は、毎回全員で「リンボウ先生の書誌学講座」を受講することによって、日本書誌学の理念と体系について理解を深め、それを皆で共有することに重きを置いた。書誌カードの著録はおよそ80点。

○神作研「研究ノート／特定研究「日本の近世における中国漢詩文の受容—三体詩・古文真宝の出版を中心に—」(『国文研ニュース』38号、国文学研究資料館、平成27年1月)

○青山英正「「リンボウ先生の書誌学講座」受業記」(『国文研ニュース』39号、国文学研究資料館、平成27年4月)

[その他]

「リンボウ先生の書誌学講座」には、毎回、館内の多くの司書たちが参加しているほか、首都圏の大学院生や若手研究者も大勢聴講に来ている。彼らがやがて書誌学を体得し、さらに次の世代へ〈学〉を継承していくことも、本研究のささやかな「ねらい」の一つである。

【短冊手鑑の内容と成立に関する研究】

研究代表者：中村健太郎(帝京大学短期大学助教)

研究分担者：入口敦志、海野圭介、石澤一志、久保木秀夫(鶴見大学准教授)、田中 潤(国立文化財機構東京文化財研究所研究補佐員)、舟見一哉(文部科学省初等中等教育局教科書調査官)、別府節子(出光美術館学芸員)、緑川明憲(慶應義塾横浜初等部教諭)、山本啓介(新潟大学准教授)

(1) 概要

鎌倉時代から江戸時代初期頃までに染筆された1,200点を超える短冊を収める毛利家旧蔵の短冊手鑑「筆陳」(上下2帖)を直接の対象とし、所収される短冊の内容と筆跡、製作年代などについて基礎的な調査を行い、画像データを作成した。また、研究会を開催し、短冊を対象とした調査手順や研究手法の検討と、短冊資料を用いた研究手法や視点に関する報告を行った。

(2) 活動記録

[研究会]

○第1回研究会

日程：5月9日(金) 場所：第2会議室

研究代表者挨拶、概要説明

研究発表 海野圭介「新収資料『古筆手鑑』(久曾神昇旧蔵)について」

中村健太郎「短冊手鑑『筆陳』(上下・2帖)について」

研究打ち合わせ(本年度計画、成果報告などについて)

○第2回研究会

日程：10月10日(金) 場所：グループ閲覧室

短冊手鑑「筆陳」の閲覧と基礎的調査

短冊手鑑「筆陳」の内容についての共同討議

○第3回研究会

日程：1月24日(土) 場所：出光美術館

個人蔵短冊手鑑の閲覧と基礎的調査

個人蔵短冊手鑑の内容についての共同討議

[資料調査・熟覧]

別府節子 8月29日～30日 名古屋市博物館

中村健太郎 10月3日 静岡市美術館

石澤一志 11月17日～18日 武雄市歴史資料館

舟見一哉 12月2日～3日 公益財団法人 陽明文庫

田中 潤 12月14日 京都国立博物館

田中 潤 1月4日 京都文化博物館

海野圭介 2月2日 個人所蔵者(大阪)

中村健太郎 3月3日～5日 個人所蔵者(名古屋)、同志社女子大学、公益財団法人 陽明文庫

中村健太郎 3月28日～29日 公益財団法人 陽明文庫

[研究成果]

石澤一志『風雅和歌集 校本と研究』(平成27年2月、勉誠出版、全576頁)

[その他]

帝京大学ライフロングアカデミー秋期公開講座 中村健太郎「日本の宮廷文化と書道—有栖川流書道の歴史と伝統一」期日：平成27年2月14日(土)、会場：帝京大学八王子キャンパス11号館1121教室、参加者概数20人

【歴史叙述と文学】

研究代表者：福田景道(島根大学教授)

研究分担者：大橋直義(和歌山大学准教授)、清水由美子(清泉女子学非常勤講師)、高橋由記(流

通経済大学専任講師)、森 暁子(お茶の水女子大学リーダーシップ養成教育研究センター講師(研究機関研究員))、吉岡 亮(札幌大谷大学准教授)、本橋裕美(日本学術振興会特別研究員)

(1) 概 要

〈歴史叙述と文学〉という本共同研究の包括テーマに関連して、それを構成する以下の7つの個別の研究課題を前年度に引き続き実施し、その成果をもとに8月と3月に研究発表会を開催した。

(個別研究課題)

- ・平安後・末期の後宮とその文化圏に関する研究(高橋由記)
- ・歴史物語(文芸的歴史叙述)における歴史性と文学性の相関に関する研究(福田景道)
- ・民友社の歴史叙述の研究(吉岡 亮)
- ・近世軍書における戦国の歴史叙述の研究(森 暁子)
- ・歴史物語における皇女に関わる物語引用の研究(本橋裕美)
- ・私撰国史の文献学的研究(大橋直義)
- ・軍記文学における後白河院政期の歴史叙述についての研究(清水由美子)

(2) 活動記録

[研究会]

○第1回研究発表会(通算第3回)

日程: 8月19日(火) 場所: 第2会議室

- 1 福田景道「歴史物語の歴史語り―杵物語構想にみられる歴史性と文芸性―」
- 2 大橋直義「『扶桑略記』『水鏡』における僧伝・縁起説についての二、三」
- 3 森 暁子「北条安房守家の歴史叙述」
- 4 研究の打合せ(次回の計画, 日程調整, 成果報告書, その他)

○第2回研究発表会(通算第4回)

日程: 3月18日(水) 場所: 第2会議室

- 1 吉岡 亮「明治二〇年代の歴史と文学―民友社の歴史叙述の研究(2)―」
- 2 清水由美子「『平家物語』の歴史叙述―多田行綱の造型をめぐって」
- 3 本橋裕美「『水鏡』井上内親王に関する記述について」
- 4 高橋由記「後朱雀天皇のキサキとその周辺の文学的営為」
- 5 研究の打合せ(次年度の計画, 成果報告書, その他)

[資料調査]

- | | | |
|------|---------|------------------------------------|
| 吉岡 亮 | 8/18 | 国会図書館(関連資料調査) |
| 森 暁子 | 1/27-29 | 金沢市立玉川図書館近世史料館(松田氏関係史料の調査) |
| 森 暁子 | 3/3-5 | 金沢市立玉川図書館近世史料館(松田氏および周辺に加賀藩士史料の調査) |
| 吉岡 亮 | 3/17 | 国会図書館(関連資料調査) |
| 福田景道 | 3/21-22 | 東北大学狩野文庫, 他(関連資料調査) |
| 福田景道 | 3/26-27 | 神宮文庫, 飛騨高山まちの博物館(関連資料調査) |

[研究成果]

- 森 暁子「北条氏長『兵法問答』の合戦語り」『近世文藝』第100号、15～29頁、7月15日、査読有り(※含プレ研究)
- 大橋直義「『扶桑略記』の歴史叙述」11月30日・法政大学(軍記・語り物研究会第403回例会に

て口頭発表)

吉岡 亮「内田魯庵『文学一斑』におけるヘーゲル—その典拠とドラマ論」『札幌大谷大学 社会学部論集』第3号、3月

清水由美子「歴史物語の語り手をめぐる—考察—女が歴史を語る時代—」中央大学文学部『紀要 言語・文学・文化』第115号、3月13日、査読なし

高橋由記「『栄花物語』における藤原生子—描写の意義に関連して—」『大妻国文』第46号、31～46頁、3月15日、査読なし

福田景道「『池の藻屑』の皇位継承史構図—編年史的側面と「世継」—」『島大国文』第35号、63～77頁、3月20日、査読なし

大橋直義「『扶桑略記』陽成天皇紀の方法—〈不戦の軍記〉と漢文伝記と—」岩波書店『文学』16巻2号、3月25日、依頼原稿

【読書一人・モノ・時空—】

研究代表者：桜井宏徳（成蹊大学非常勤講師）

研究分担者：河本明子（大東文化大学非常勤講師）、酒井茂幸（埼玉大学非常勤講師）、
玉田沙織（名古屋学院大学任期制講師）、福田武史（東京大学特任助教）、
渡邊 卓（國學院大學研究開発推進機構研究開発推進センター助教）

(1) 概 要

本共同研究の包括テーマ「読書一人・モノ・時空—」に関連して、下記の6つの個別課題を設定し、各研究分担者がそれに従事するとともに、6月に第1回研究打合せ会を開催し、互選により調整役として研究代表者（成蹊大学・文学部・非常勤講師 桜井宏徳）を選出して、今後の共同研究全体の方針及び進め方について討議を行った。それに基づき、9月と3月に研究発表会を開催した。

（個別研究課題）

- ・中古私家集を読む—歌人・言葉は時空を超えていかにつながっているのか—（河本明子）
- ・霊元天皇の古典書写と読書—禁裏本の蔵書群から—（酒井茂幸）
- ・近世における『栄花物語』読書の研究—注釈と受容を中心として—（桜井宏徳）
- ・読書行為としての「書入れ」の研究—契沖を軸に—（玉田沙織）
- ・日本書紀はどのようによまれてきたか—講書・竟宴和歌・古写本から現代まで—（福田武史）
- ・近世における『日本書紀』講書の研究—大山為起『味酒講記』をめぐって—（渡邊卓）

(2) 活動記録

[研究会]

○第1回研究打合せ会

日程：6月14日(土) 場所：第2会議室

- 1 研究代表者を互選により選出
- 2 第1回研究発表会の計画、日程調整

○第1回研究発表会

日程：9月2日(火) 場所：第2会議室

- 1 福田 武史「『日本書紀古訓攷証』初版と改訂版について」
- 2 渡邊 卓「現存諸本からみた『味酒講記』の成立過程」
- 3 酒井 茂幸「近世禁裏仙洞における定数歌・歌会の書写活動について—目録学から読書

論へー」

4 研究の打合せ（第2回研究発表会の計画、日程調整、その他連絡）

○第2回研究発表会

日程：3月17日（火） 場所：第2会議室

- 1 河本 明子「実方集建治本系の性格について」
- 2 玉田 沙織「近世前期における「読書」—契沖の『古今集』研究を中心に—」
- 3 桜井 宏徳「江戸古典学と『栄花物語』—大石千引『栄花物語考難註』を例として—」
- 4 研究の打合せ（次年度の計画、日程調整、年次報告書の作成について、その他連絡）

[資料調査]

河本明子	9/4	国文学研究資料館（『実方集』諸本関連調査）
河本明子	3/2	国文学研究資料館（『実方集』諸本関連調査）
酒井茂幸	11/15	国文学研究資料館（書陵部蔵御所本関連調査）
酒井茂幸	12/1	国文学研究資料館（書陵部蔵御所本関連調査）
酒井茂幸	1/13	京都大学附属図書館（中院文庫関連調査）
酒井茂幸	2/10	国立歴史民俗博物館（高松宮本関連調査）
桜井宏徳	11/26	国文学研究資料館（『栄花物語』伝本・古注釈関連調査）
玉田沙織	9/2	国文学研究資料館（契沖著作・先行研究関連調査）
玉田沙織	3/17	国文学研究資料館（『古今余材抄』関連調査）
福田武史	10/11-10/12	天理大学附属天理図書館（上代文学関連・漢籍調査）
渡邊 卓	11/30-12/2	奈良県立美術館・天理大学附属天理図書館（上代文献関連調査）

[研究成果]

桜井宏徳「『栄花物語』における「書く」こと」10/12 京都女子大学（中古文学会平成26年度秋季大会にて口頭発表）

福田武史「応神記・三皇子の皇位継承の資格について」4/19 学習院女子大学（古事記学会平成26年度4月例会にて口頭発表）

3. 国際連携研究

【日本文学のフォーラム】

研究代表者：伊藤鉄也

研究分担者：大高洋司、小林健二、神作研一、谷川恵一、山下則子、谷川ゆき

(1) 概要

〈国際連携研究「日本文学のフォーラム」〉の第2回国際シンポジウムについては、平成24年度に3つのテーマが確定していた。第2回の実施時期は平成26年12月となった。

平成26年度の〈国際連携研究「日本文学のフォーラム」〉の第2回国際シンポジウムは、「男たちの性愛」（担当：神作研一）というテーマで、平成26年12月6日（土）に開催した。江戸時代における男たちがいかなる性愛を求めたのか、春本と春画を軸に、その男性性の表象をめぐって多角的に追究することを目的に、該当分野の主要な研究者を招き（海外から2名、国内4名）、春本の出版に関する諸問題や、春本・春画の様式と趣向を考え、雅俗・和漢・地域・身分階層を横断的に考察することを試みた。参加者は71名であった。

(2) 活動記録

〔資料調査〕

谷川ゆき 3/23-28 大英図書館、大英博物館（第一回、第二回シンポジウムの内容に関わる作品の調査を行い、また海外研究者との打合せおよび交流を行った。）

〔国際シンポジウム〕

○第2回国際シンポジウム

日程：12月6日（土） 場所：大会議室 参加者：71人

開会の挨拶：今西祐一郎（国文学研究資料館館長）

趣旨説明と講師紹介：神作研一（国文学研究資料館教授）

発表

ダニエル ストリューブ（パリ・ディドロ大学）「西鶴晩年の好色物における「男」の姿と機能」

ジョシュア モストウ（ブリティッシュ・コロンビア大学）「若衆—もう一つのジェンダー」

中嶋 隆（早稲田大学）「その後の「世之介」—好色本・春本のセクシュアリティと趣向—」

石上阿希（立命館大学）「春本・春画の読まれ方—男の読者、女の読者—」

コメンテーター：染谷智幸（茨城キリスト教大学）、小林ふみ子（法政大学）

全体討議

閉会の挨拶：伊藤鉄也（国文学研究資料館教授）

〔研究成果〕

3年間で3回の研究発表とシンポジウムを実施しての成果は、最終年度である平成27年度に、一冊の報告書として勉誠出版より刊行することとなった。これによって、海外を含めて多くの研究者の方々と、日本文学研究に関する情報の共有を図ることとなる。本年度は、第1回、第2回の研究発表とシンポジウムに関して、原稿を依頼したところである。

Ⅱ

情報事業センター

1. 調査収集事業部

【概 要】

調査収集事業部では、全国の研究者・研究機関等との緊密な協力のもとに、資料の特性を踏まえた調査と、それに基づく計画的な収集を実施した。具体的には、全国の所蔵機関に存在する日本文学原典及びその関連資料の調査と、撮影（マイクロフィルムまたはデジタル撮影）による収集、及びアーカイブズ調査収集である。調査については、年度当初に予定していた計画の9割程度の成果を挙げることができた。収集については、7割程度の成果となった。

【全国の所蔵機関に存在する日本文学原典及びそれに関連する資料の調査・収集】

(1) 日本文学原典及びその関連資料の調査・収集

平成26年度においては、6,201点の調査、1,406点の収集を行った。中心となる地域別調査（96箇所）のほか、先方機関と連携して行う連携調査（2箇所）を行った。

(2) 日本古典籍資料調査データベース

平成25年度に調査したカードを中心に、画像データ約6,500件、書誌データ約6,500件の入力を行った。現在、約175,000件が利用に供されている。毎年度蓄積する新規カードのデジタル化は、今後も継続する予定である。

(3) 調査収集の成果としての刊行物

『調査研究報告』第35号を刊行した。

また、オンデマンド出版による、開化期戯作など明治文学の復刻である「リプリント日本近代文学」第7期40点を刊行した。

(4) 調査収集の成果の共有と還元のための取り組み

調査収集の成果は、マイクロフィルム・デジタル画像公開等の形で国文学研究に寄与しているが、それを更に推進するための取り組みとして、調査員を共同研究者とする基幹研究を実施している。平成26年度は、「近世における蔵書形成と文芸享受」（研究期間：平成23年度～25年度）に係る研究成果を、調査収集シンポジウム（平成26年5月29日）において「江戸の〈知〉—蔵書の種々相を考える—」というテーマで発表した。また、「日本古典文学における〈中央〉と〈地方〉」（研究期間：平成25年度～27年度）についても、共同研究会（平成26年5月30日、於 国文研、平成26年12月22日、於 国文研）を開催し、研究発表と調査活動の打ち合わせを行った。

【アーカイブズ調査・収集】

(1) 目録による史料群所在情報の調査

全国の史料保存利用機関の史料群情報、目録情報・刊行状況の調査及び収集を行い、目録類を収集した。

(2) 史料の存在形態調査

史料存在形態情報の記述・整理、簡易的保存措置、目録作成・データベース作成、保存と利用のための基盤整備として、尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録（その5・完）・信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その8）を収録する『史料目録』第100・101集の2冊を刊行した。

(3) 所蔵史料に関連する史料の調査及び収集資料

菰山市江川文庫の調査とデジタル収集（395点）、及び真田宝物館（真田家文書）のデジタル収集（80点）を実施した。

(4) 収蔵歴史アーカイブズデータベース

目録データの公開は、3文書群9,080件を追加し、累計で204文書群、約26万件となった。このうち、史料の画像公開は、10文書群5,500件172,519コマを追加し、累計で15文書群6,776件336,489コマとなった。

【調査報告】

調査収集事業部では、全国の研究者・研究機関等との緊密な協力のもとに、資料の特性を踏まえた調査を実施した。調査箇所およびその点数は〔表1〕の通りである。

〔表1〕平成26年度 国文学文献資料調査結果

平成27年3月31日現在

古典	調査点数 Sカード ※()番きはC又はDカード	備考
北海道・東北地区		
江差町郷土資料館	53	
宮城県図書館（一般）（伊達文庫）	51	
いわき明星大学図書館	28	
東北大学附属図書館（二高蔵書）	10	
山形大学附属図書館	(42)	
山形県立米沢興譲館高等学校		予備調査
関東地区		
筑波大学附属図書館	73	
川越市立中央図書館	134	
国立国語研究所	5	
東京大学文学部国文学研究室	32	
東京芸術大学附属図書館（脇本文庫）	14	
尊経閣文庫	13	
鉄心斎文庫	13	
宮内庁書陵部	104	
最明寺	(150)	
学校法人国際学園（真山青果文庫）	91	
中部地区		
柏崎市立図書館	11	
富山市立図書館（山田孝雄文庫）	49	
石川県立図書館	30	
舟津神社	57	
諏訪市博物館	14	
池田三郎	(75)	
浜松市立賀茂真淵記念館	41	

浜松市立中央図書館	31	
名古屋市蓬左文庫	48	
名古屋市博物館	53	
大垣市立図書館	55	
近畿地区		
皇學館大学附属図書館寄託五葉蔭文庫	50	
芭蕉翁記念館	46(97)	
津市図書館	13	
夢望庵文庫	16	
瑞光寺	15	
聖護院	78	
蘆庵文庫	71	
京都市歴史資料館	(158)	
京都府立総合資料館	81	
京都大学文学部(穎原文庫)	65	
陽明文庫	14(499)	
春日大社	49(164)	
大阪大学附属図書館(土橋文庫)	38	
大阪天満宮御文庫	68	
中庄新川家		調査カード未提出
貝塚御坊願泉寺	23	
中国・四国地区		
河本家稽古有文館	13	
鳥取県立図書館	82	
鳥取県立博物館(久松閣文庫)	35	
手銭記念館	35	
島根大学附属図書館	16	
島根県立図書館	42	
正宗文庫	112	
岡山大学附属図書館(池田家文庫他)	23	
広島大学図書館	(115)	
横山邦治	(142)	
広島市立中央図書館(小田文庫)	16	
三原市中央図書館	57	
忌宮神社	(35)	
萩市立図書館	32	
光市文化センター	23	
総本山善通寺	(330)	
鎌田共済会郷土博物館	6	
香川大学附属図書館(神原文庫)	36	
愛媛県立図書館	(126)	
宇和島伊達文化保存会	3	
大洲市立図書館	31	
徳島県立図書館(森文庫)	52(1)	
土佐山内家宝物資料館(山内文庫)	14	
九州・沖縄地区		
柳川古文書館	64	
祐徳稲荷神社(中川文庫等)	117	
鳥犀園		予備調査
佐賀県立図書館	134	
佐賀大学附属図書館	47	

徴古館	28	
長崎大学附属図書館経済学部分館	50	
肥前島原松平文庫	33	
松浦史料博物館	56	
長崎県立対馬歴史民俗資料館（津江文庫）	84	
天草上田家	66	
臼杵市立臼杵図書館	35	
大分県立先哲史料館	48	
諏訪神社（諏訪文庫）	18	
古典計（80箇所）	Sカード 3,045 Cカード 1,934	

近代	調査点数 単行本 ※（ ）書きは逐刊	備考
函館市立中央図書館	88	
八戸市立図書館	63（ 7）	
酒田市立光丘文庫	29	
会津若松市立会津図書館	83（ 52）	
アド・ミュージアム東京	54（ 11）	
早稲田大学図書館	48	
明治新聞雑誌文庫	9	
学校法人国際学園（眞山青果文庫）	36	
横浜市中央図書館	9	
新潟県立図書館	37（ 1）	
岐阜市歴史博物館	77	
尾鷲市立中央公民館郷土室	11（ 66）	
大阪大学附属図書館（旧制高校）	30	
和歌山大学附属図書館（紀州藩文庫）	11	
祐徳稲荷神社（中川文庫等）	65（ 16）	
長崎県立長崎図書館	134（ 19）	
近代計（16箇所）	単行本 784 逐刊 172	

連携調査		備考
山梨大学附属図書館（近代文学文庫）	28	
立命館大学図書館（人文系文献資料室）	161（ 77）	
連携調査計（ 2箇所）	単行本 189 逐刊 77	

合 計（98箇所）	Sカード 3,045 Cカード 1,934 単行本 973 逐刊 249 計 6,201	
-----------	--	--

※所蔵者名敬称略

【収集報告】

調査収集事業部では、全国の研究者・研究機関等との緊密な協力のもとに、資料の特性を踏まえた調査に基づく計画的な収集を実施した。収集箇所（マイクロフィルムによる撮影等）およびその点数は〔表2〕の通りである。

〔表2〕平成26年度 国文学文献資料収集（撮影）結果

平成27年3月31日現在

古典	実施点数 ※()書きは複製	備考
北海道・東北地区		
宮城県図書館	25(20)	
関東地区		
宮内庁書陵部	90	
中部地区		
新潟大学附属図書館（佐野文庫）	35	デジタル収集
富山市立図書館（山田孝雄文庫）	77	デジタル収集
金城学院大学図書館	16	デジタル収集
近畿地区		
蘆庵文庫	41	
京都市歴史資料館	26	デジタル収集
陽明文庫	437	
道明寺	34	デジタル収集
相愛大学図書館（春曙文庫）	7	
中国・四国地区		
鳥取県立図書館	19	
正宗文庫	56	
横山邦治	29	デジタル収集
山口大学附属図書館（棲息堂文庫）	5	デジタル収集
総本山善通寺	57	
宇和島伊達文化保存会	4	デジタル収集
大洲市立図書館	44	
愛媛大学図書館（鈴鹿文庫）	29	デジタル収集
土佐山内家宝物資料館	21	
九州地区		
祐徳稲荷神社（中川文庫等）	20	
肥前島原松平文庫	74	
松浦史料博物館	35	
長崎県立対馬歴史民俗資料館（宗家文庫）	32	
諏訪神社	26	
杵築市立図書館	56	
古典計（25箇所）	1,295 複製(20)	

近代		備考
八戸市立図書館	13	デジタル収集
立命館大学図書館（人文系文献資料室）	65	デジタル収集
大阪大学附属図書館（小野文庫）	13	デジタル収集
近代計（3箇所）	91	

合 計（28箇所）	1,406	複製20含む
-----------	-------	--------

※所蔵者名敬称略

2. 電子情報事業部

【総括】

電子情報事業部では、情報システムの有効・適切な運用を図り、研究・調査及び事業の成果を、研究者、学生等に、インターネットを通じて提供した。

現在運用中の第8期情報システムは、平成23年2月1日にリプレイスして以来、大きなトラブルは無く順調に稼働しているが、本年度は第4年次に当たっており、第9期情報システムへの移行準備を進めた。

管理運用面では、ほぼ安定した稼働を保持し、情報システム、情報資源共に概ね順調に経過した。

「国文学研究資料館学術情報リポジトリ」の構築を開始し、本公開を来年度当初に予定している。

データベース公開事業では、31タイトルのデータベース（平成27年2月末現在、概要は表5を参照）を公開している。公開データについては、適宜追加、更新などの作業を行い、学術基盤としてのサービスの維持・向上に努めた。

データベースと関連システムの保存、保守、更新などの運用管理業務は、学術情報課学術情報係と同システム管理係が担当している。また、データベース利用に関わる評価のための利用統計等のデータ収集と分析を行い、データベース利用環境の向上に努めた。

デジタル画像の公開に関しては、館蔵和古書画像の画像として新規に516件を公開するとともに、収集マイクロ資料画像として研国会図書館、三井文庫（旧蔵）、韓国国立中央図書館所蔵資料など13所蔵者6,378件を新規に公開した。

【電子情報事業部の運営】

(1) 組織体制と運営

電子情報事業部長を置き、同副部長他、8名の教員の体制により事業を運営し、学術情報係、システム管理係が事務を担当した。

概ね毎月電子情報事業部会を開き、事業全体の進捗度の把握と評価を行うとともに、電子情報事業に関わる種々の事項について審議、立案等を行った。

平成28年2月より稼働予定である第9期情報システムへの入れ替えに向けて、仕様策定委員会を開催し、仕様を策定中である。

(2) 情報システムの運用管理

第8期情報システムは、LinuxサーバおよびWindowsサーバによる分散型サーバシステムと、これらを利用するためのクライアントPC、そしてこれらを接続する館内LAN（1 Gbps）で構成されている。（図1及び表1参照）本年度においても、主に館内の様々な情報処理、並びにインターネット経由による公開データベースサービス等に使用し、計画停電での停止を除き中断なく稼働した。また、システム稼働状況（サーバ稼働率、ディスク使用率、ネットワーク・トラフィック）のデータを取得し、確認を行った。さらに、蓄積された日本文学とそれに関わるアーカイブズ研究資料情報等の資源監視、プロセス監視、ユーザ管理、バックアップの定期的な運用管理を行った。

平成25年10月から引き続き、iSCSIストレージシステムの運用を行った。第8期情報システムで導入したストレージサーバが、デジタル化による画像データの急激な増加に伴い容量不足となり、画像データを扱うデータベースの更新が出来なくなったため、本システムの増設を行った。画像配信サーバに8TB、汎用データベース構築システムサーバに1TBを割り当て、容量の改善を図った。

また、平成27年1月半ばに新たにディスク増設を行い、画像配信サーバに11TB割り当てた。

平成25年7月半ばから引き続き、業務用計算機システム端末（103台）及びファイルサーバの運用を行った。データ保守を重視し、各PCのデータ領域をファイルサーバ上に構築する仕組みを取り入れている。また、システムソフトウェアのアップデートの一元管理の仕組みを取り入れている。平成22年2月1日から引き続き、研究事業用システムファイルサーバの運用を行った。特にセキュリティ、データ保守を重視し、保存されたデータの自動バックアップ等の仕組みを取り入れている。

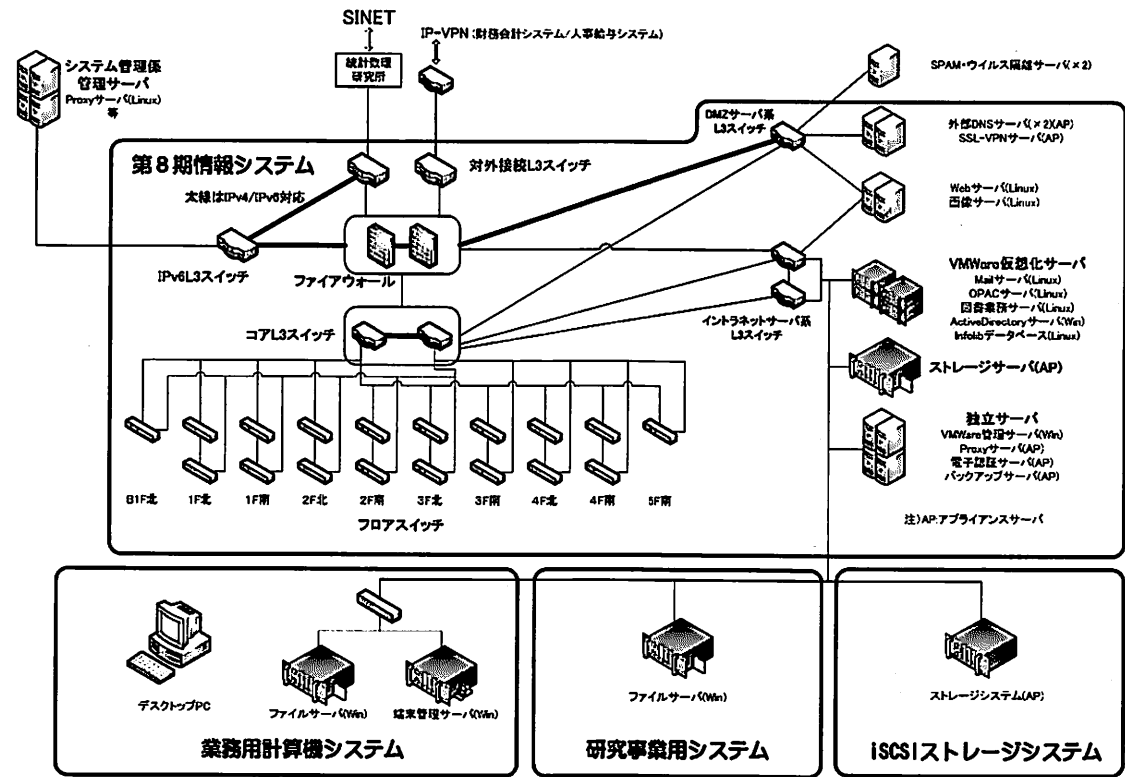


図 1 第 8 期情報システム構成図（平成27年 3 月末現在）

表 1 国文学研究資料館 システム関係の登録情報（平成27年 3 月末現在）

項目		件数
アカウント数		234
メールアドレス数 (ML含む)		272
IPアドレス割り当て数	パソコン (Win/Mac)	589
	サーバ (第 8 期情報システム含む)	57
	その他 (プリンタ/NAS等)	126

(3) ネットワークシステムの運用管理

研究、教育、業務におけるネットワークシステムについて、障害に強く、かつ安定的な稼働に努め、また電子メール等へのウイルス侵入に対する予防対策、緊急対応、システムの更新、パッチ適用等を可能な限り速やかに行い、対処し、安定した運用を保持した。

また、第 8 期情報システムについて、高いセキュリティ対策水準を維持しつつ、VT技術によるサーバの仮想化やコンソールのリモート管理等、運用管理機能の一元化を推し進め、作業の効率化を図った。

(4) 情報資源の運用管理

31タイトルの公開データベースについては、適宜データの追加更新を行い、年間を通じて安定的な稼働を行った。また、これら情報資源については定期的なバックアップを行い、不測の事態に備えた対応を図り、維持に努めた。

また、平成26年度から「国文学研究資料館学術情報リポジトリ」の構築を開始した。構築には、国立情報学研究所（NII）のJAIRO Cloudサービスを利用することとし、運用指針の策定、メタデータの作成、登録許諾を経て、平成27年2月には館内限定でテスト公開を行った。本公開は来年度当初を予定している。現在テスト公開されている著作物の一覧を表2に掲げる。

表2 リポジトリ公開著作物一覧

著作物【紀要】	詳細	件数	件数
文学研究篇	全文テキスト付（図版未公開含）	170	369
	メタデータのみ	199	
アーカイブズ研究篇	全文テキスト付（図版未公開含）	36	74
	メタデータのみ	38	
合計			443

著作物【その他】	件数
国文学研究資料館報	40
史料館報	80
国文研ニュース	34
合計	154

(5) 情報サービスの向上

各データベースの利用者サービスの向上に資するため、アクセス元情報等の利用統計分析及びウェブページのデザイン等の変更を適宜行った。また、各種公開サービスの表玄関となる当館のWebトップページサーバ及びDNSサーバへのIPv6アクセスを可能にし、従来のアクセス環境を維持しつつ、世界的なIPアドレス不足に端を発するインターネットインフラの仕様変化にも柔軟に対応できるよう変更を行った。

【個別事業の実績】

(1) 情報システムの運用管理

情報システムの安定的運用管理及び情報資源のセキュリティ確保のため、以下の業務を行った。

①情報システムの運営

システムのオペレーション、バージョンアップ、パッチ適用作業等については、監視と操作作業は委託SEにより行い、システム管理係において確認を行った。

また、情報システムのハードウェア、ソフトウェア、オペレーションに起因するシステム障害は1件であった。詳細を表3に掲げる。

表3 平成26年度システム障害及びネットワーク障害一覧

区分	障害内容	対応内容
システム障害	gazoサーバで利用しているストレージに障害が発生した。	計画停電の復旧作業中、ストレージがうまく起動せず。起動し直して復旧。

外部からの干渉（クラッキング等）による重大なシステム障害は発生していない。（システムの計画停止作業は、法令点検に伴う全館停電のために1回行った。）PC系、プリンタ系の軽度の障害等については、システム管理係及び業者の保守窓口が対応した。

②共同利用の推進

人間文化研究機構「研究資源共有化事業」に積極的にに関わり、その責務を果たした。人間文化研究機構に属する6機関（当館、国立歴史民俗博物館、国立国語研究所、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、国立民族学博物館）の合計100以上のデータベースを検索対象とする統合検索システムnihulINTに参加し、当館のデータベースも安定的に検索できる。

③情報セキュリティの推進

平成21年4月1日に制定した情報セキュリティポリシーを継続して運用している。ウイルス対策ソフトESETの管理サーバとWebプロキシサーバとの連動による外部接続システムの継続運用に加え、昨年度よりWindows OS（WindowsXP）及びMacOS（MacOSX 10.5以前）のサポート終了に伴う該当端末の洗い出しを行い、平成26年度初めには該当端末の接続解除作業が完了した。また、平成26年度末でメールスパムフィルタサーバのサービスが終了するため、平成27年3月に新たなサーバを導入した。

(2) データベースの運用管理

データベースと関連システムの保存と運用管理を行った。また、研究系や他事業部が作成するデータベースと関連システムについては、緊密に連携・協力を行った。

平成26年度システムの開発、変更及び大幅なコンテンツ追加を行ったデータベースを表4に掲げる（全公開データベースの概要は表5、利用状況は表6をそれぞれ参照）。

表4 平成26年度システムの開発、変更及び大幅なコンテンツ追加を行ったデータベース

データベース名	内容
国文学論文目録データベース	論文データ公開 ・雑誌・紀要・単行本（論文集） 平成24年発行当館所蔵開架分 12,715件
館内業務用 国文学論文目録データベース	作成管理システムへの機能等の追加・修正により、データ編集機能が強化され、データ作成環境が向上した
館内業務用 古典籍総合目録データベース	・詳細検索機能の開発とユーザーインターフェースの改修を行い、作成効率のアップに繋がった ・国際共同ネットワーク事業の関連で、独自形式の古典籍書誌データを共通形式となる標準フォーマットに変換するコンバータの開発を行い、今後の事業に役立てる
所蔵和古書・マイクロ/デジタル 目録データベース	追加画像公開 [所蔵和古書] 516件 [マイクロ/デジタル目録データベース] ・研医会図書館 46件 ・三井文庫旧蔵資料 1,094件 ・鹿児島大学附属図書館 420件 ・岐阜大学図書館 468件 ・広島文教女子大学附属図書館 470件 ・愛知教育大学附属図書館 1,000件 ・静岡県立中央図書館 1,357件 ・土佐山内家宝物資料館 211件 ・酒田市立光丘文庫 117件 ・総本山善通寺 161件 ・宮内庁書陵部 161件 ・肥前島原松平文庫 290件 ・韓国国立中央図書館 583件
日本古典資料調査データベース	調査収集事業等で調査したXMLデータをPDF及びJPEG形式に変換して公開の準備をする「公開用データ作成システム」を構築し、今後の公開に役立てる

近代文献情報データベース (近代書誌・近代画像データベース) (明治期出版広告データベース)	トップページ及び各ページリニューアル ハイライト表示等の機能追加
史料所在情報データベース	登録するデータを作成するため、テキストデータからSGMLデータに変換する プログラムを設定し、今後の公開に役立てる
増田太次郎広告コレクション データベース	サムネイル表示の追加

なお、各データベースは、データベース管理簿を作成し、整理し、管理した。

表5 HP「電子資料館」から公開しているデータベース

図書・雑誌所蔵目録(OPAC)
当館所蔵の明治期以降の図書、雑誌(逐次刊行物)の目録データベース。図書約150,000件、雑誌約8,500タイトル。
国文学論文目録データベース
国文学関係論文(大正元年～平成24年)の目録データベース。約550,000件。
日本古典籍総合目録データベース
日本の古典籍の書誌・所在についての情報を、著作・著者についての情報(典拠情報)とともに提供する総合目録データベース。『国書総目録』所載の所在・翻刻複製情報(写本、版本、活字・複製・謄写本)を併せて表示。書誌情報には、当館所蔵和古書とマイクロ/デジタル資料(国内外の古典籍を撮影収集した資料)も含む。著作約471,000件、著者約69,100件、書誌約525,000件。
所蔵和古書・マイクロ/デジタル目録データベース
当館所蔵のマイクロ/デジタル資料(国内外の大学・図書館等所蔵の古典籍を当館がマイクロ、デジタル撮影し、収集した資料)と和古書の目録データベース。検索結果から、古典資料調査データ及び原本、館蔵貴重書等へのデジタル画像へのリンクあり(一部)。マイクロ/デジタル資料約224,800件、和古書約19,900件。
日本古典資料調査データベース
当館が30年にわたり調査してきた国内外の大学・図書館・文庫等所蔵の写本・版本等の「文献資料調査カード」から主要な書誌情報を抽出したデータベース(調査カード画像も参照可能)。約174,700件。
近代書誌・近代画像データベース
平成10年度より開始した、明治期以降の国文学を中心とした文献資料の調査・収集の成果を公開。書誌約38,730件、画像約4,370件。
明治期出版広告データベース
近代日本の出版事情を探ることを目的として、明治前期の新聞・雑誌等に掲載された出版物の広告を集成したものです。約77,800件の広告を収めており、書名・書肆検索や広告本文の全文検索機能も備えています。
収蔵歴史アーカイブズデータベース
史料館旧蔵の資料群を中心とした当館収蔵歴史資料(アーカイブズ)の概要データベース及び資料目録データベース。
古典選集本文データベース
二十一代集、絵入源氏物語、吾妻鏡、歴史物語。古典作品原本の全文検索が可能。当館蔵書底本とし、泣き別れ検索にも対応。歴史物語は、栄花物語、大鏡、今鏡、水鏡、増鏡により構成。
歴史人物画像(古典キャラクター)データベース
国書古典籍中の絵入り叢伝から古典キャラクターの人物画像を集めてデータベース化したもの。おもに明治以前のものから挿絵の古典キャラクター画像(約3100名・4700件)のみを切り出し、各人物がどのように描かれてきたかを比較対照できる。
連歌・演能・雅楽データベース
寄託データベースである連歌データベースと演能データベースを連結し、新規作成の雅楽データベースを添えてセットにしたデータベース。
ヨーロッパ・欧州所在日本古書総合目録データベース
欧州各国の図書館・美術館・博物館等所蔵の「日本の和装本」の書誌・所在情報データベース(ケンブリッジ大学のピーター・コーニツキー教授が収集・整理されたデータを順次追加・更新)。14,318件。一部原本画像の公開あり。
新奈良絵本画像データベース
当館所蔵の奈良絵本(19本)の原本画像データベース(翻刻付)。
史料情報共有化データベース
国内外で公開されている資料群(アーカイブズ)情報のデータベース(歴史資料を公開する各収蔵機関による共同構築)。

古事類苑データベース	『古事類苑』大正版洋装本のデータベース。テキスト版では、『天部』など4部（7部に拡大予定）のテキストが閲覧可能。全文・抜粋検索版では、『天部』など4部の全文テキスト、『神祇部』など23部の抜粋テキストに対して、キーワード検索が可能。
古典学統合データベース（芳賀人名・地下家伝）	日本古典籍研究に関わる人物情報をデータベース化。現在、芳賀矢一（1867-1927）編『日本人名辞典』（1914）と〔三上景文著；正宗敦夫（1881-1958）編纂校訂『地下家伝』（日本古典全集刊行会，1937.9-1938.8）6冊をデータベース化したものを搭載。歴史人物画像データベースにもリンク。
大系本文（日本古典文学・断本）データベース	岩波書店刊行の旧版「日本古典文学大系」と東京堂出版刊行の「断本大系」の作品について、全文検索とテキスト閲覧ができます。大系本文（日本古典文学）データベースは利用登録制。
和刻本漢籍総合データベース	当館収集のマイクロ資料中の和刻本の序跋刊記情報と所蔵和刻本の画像等を提供するデータベース。現在、序跋刊記情報のみ。
古筆切所収情報データベース	『古筆切提要』以後に影印刊行された古筆切類の所収情報データベース。約23,000件。
アーカイブズ学文献データベース	アーカイブズ学に関する国内研究文献のデータベース。個々の文献で章立てがあるものは「内容」に全て採録。18,258件。
日本実業史博物館コレクションデータベース	日本実業史博物館準備室旧蔵資料の内の絵画・器物・広告の資料情報6,936件と13,643件の画像を公開している。
館蔵神社明細帳データベース	当館所蔵の戦前期における全国の神社明細帳に関する神社名・所在地・社格に関するデータベース。内務省管轄の公簿として作成された原本は当館において閲覧提供している。43,187件。
伊豆菰山江川家文書データベース	財団法人江川文庫が所蔵する古文書・文芸関係の目録情報を同文庫との協業により公開。
伝記解題データベース	当館所蔵の典籍やマイクロフィルムに収載される人物伝・人物叢伝の内容の解題と、どんな人物が収載されているかをデータベース化。
日本文学国際共同研究データベース	科研費基盤研究（S）「国際コラボレーションによる日本文学研究資料情報の組織化と発信」により構築された、海外の研究論文目録や論文画像のデータベース、翻訳作品データベース等。
史料所在情報データベース	国内各地に伝来する資料群の所在・概要情報データベース（詳細版は利用登録制）。
蔵書印データベース	当館所蔵の古典籍を中心に原本から採取した蔵書印情報を、印影とともに一覧するデータベースシステム。他館の画像DBを参照した蔵書印情報や『近代蔵書印譜（初編～五編）』をはじめ数点の蔵書印譜からも印影等を収載。採録対象は、いわゆる蔵書印に加え、仕入れ印や資本屋印を含む書肆印、蔵書票・書肆票の類、また、写本等で作成に関わった人物の印記や書画等の落款に及ぶ。
増田太次郎広告コレクションデータベース	増田太次郎氏（1905-1990）、戦後雑誌「宣伝」を主宰、宣伝広告のコンサルタントとして活躍、1965年から広告史研究に没頭、1975年から（株）オリコミサービス顧問が収集した広告類約2万点を2009年に（株）オリコミサービスから寄託を受けました。その主要部分を占める約8,700点の第一次公開分書誌・画像データベースです。二次利用については所蔵者である（株）オリコミサービスの許可が必要です。
近世語彙カードデータベース	「近世語彙カードデータベース」は、故松崎仁氏（立教大学名誉教授）が生前作成された、歌舞伎・浄瑠璃用語をはじめとする、約15万枚の近世語彙カードのデータベースである。手書きのノート・メモをそのまま収録しており、判読等の手間を要するものであるが、膨大な数のカードを保存・公開することによって、近世語彙研究・近世演劇研究進展の一助とすることを計るものである。
所蔵機関との連携による日本古典籍デジタル画像データベース	広島大学附属図書館に所蔵される200点を超える「読本（よみほん）」コレクションのうち、平成23年度は、43点分を最新のデジタル画像として公開する。本コレクションは、高い資料的価値を認められながら、様々な事情で実見の難しい時期が続いていたが、本DBにより、古典籍資料の共有化への貢献が可能になった。（なお、当館から公開されているその他のデジタル資料については、「所蔵和古書・マイクロ／デジタル目録データベース」等をご覧ください。）
在外日本古典籍所蔵機関ディレクトリ	日本の古典籍を所蔵する北米の各機関について、住所、連絡先、所蔵規模、コレクション概略、閲覧の可否、複写の可否、目録の有無などの情報を英語で提供。一部機関については日本語でも情報提供。東アジア図書館協議会（CEAL）日本資料委員会の元に組織された日本古典籍小委員会が情報を取り纏め、国文学研究資料館がデータベースとして公開。

表6 平成26年度主なデータベース利用状況

データベース名	種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
図書・雑誌所蔵目録 (OPAC)	検索件数(h)	73,079	77,592	80,964	92,560	87,711	81,866	85,509	88,675	79,800	118,786	68,573	64,398	999,513
国文学論文目録データベース	検索件数(i)	57,024	67,772	69,313	70,910	45,498	49,817	69,570	71,518	68,582	58,511	35,448	29,203	693,166
日本古典籍総合目録データベース	検索件数(i)	43,725	75,240	43,782	50,184	43,980	39,741	55,032	44,655	41,130	41,280	39,189	36,209	554,147
所蔵和古書・マイクロ/デジタル目録データベース	検索件数(i)	7,275	9,084	7,813	10,741	10,341	9,291	10,205	11,898	8,675	7,652	8,354	9,417	110,746
近代書誌・近代画像データベース	検索件数(i)	2,988	3,280	3,310	2,748	5,450	2,752	3,615	4,373	5,690	4,889	7,250	7,174	53,519
史料情報共有化データベース	利用回数(i)	2,985	4,551	4,093	3,747	6,572	3,913	4,111	4,788	4,282	5,200	5,218	3,688	53,148
蔵書印データベース	検索件数(i)	3,019	3,613	3,348	3,161	2,588	3,301	4,102	4,476	4,372	3,685	3,858	3,869	43,392
古典選集本文データベース (二十一代集)	検索件数(i)	1,857	3,036	3,232	2,693	1,723	1,933	3,317	2,771	3,200	3,824	2,640	2,768	32,994
歴史人物画像 (古典キャラクター) データベース (全文検索版)	検索件数(i)	2,588	2,806	1,739	2,461	2,757	2,222	3,589	2,135	2,401	2,599	1,485	1,400	28,182
収蔵歴史アーカイブズデータベース	検索件数(i)	1,430	1,724	1,751	1,629	1,573	1,292	1,404	1,243	1,265	1,422	1,225	1,016	16,974
古典選集本文データベース (吾妻鏡)	検索件数(i)	929	1,652	1,416	1,530	1,184	690	1,226	1,364	1,475	1,616	1,012	637	14,731
歴史人物画像 (古典キャラクター) データベース (HTML ページ)	ページ閲覧数(a)	933	970	791	1,002	1,111	770	1,462	889	964	1,125	2,128	2,276	14,421
日本古典資料調査データベース	検索件数(i)	734	913	1,020	1,254	1,119	1,327	1,063	1,034	1,422	1,269	1,169	1,022	13,346
古事類苑データベース (全文検索版)	検索件数(i)	650	1,082	939	1,024	829	776	828	1,050	984	1,420	627	550	10,759
コーニツキー・欧州所在日本古書総合目録データベース	検索件数(i)	320	488	217	168	873	1,591	1,542	1,081	1,048	1,381	171	145	9,025
古典学統合データベース (地下家伝・芳賀人名辞典)	検索件数(i)	181	297	328	284	320	318	324	459	329	338	188	3,688	7,054
古事類苑データベース (テキスト版)	ページ閲覧数(a)	272	344	335	293	340	285	305	297	312	320	1,674	1,670	6,447
明治期出版広告データベース	検索件数(i)	455	675	648	459	616	403	488	443	479	535	613	513	6,327

動作環境 (i): InfoLib

(a): apache

(h): HelloLibrary

3. 情報資料サービス事業部

【総 括】

資料の受入・整理・保存、資料閲覧・複写サービスなどの利用者サービス、古典籍総合目録事業を推進している。平成26年度から新たに機関リポジトリの構築を開始し、一般公開を予定している。

新収資料として、重要文化財55種を含む山鹿文庫(1,321点)、林望氏旧蔵の古文真宝コレクション(480点)などの大量コレクションの受入を行った。

利用者サービスでは、新たにカラー複写サービス及びデジタル化資料のプリントアウトサービスなどを開始した。

また、これまで電子化推進事業として行ってきた古典籍資料デジタル公開は「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」として予算措置された。これに伴い古典籍資料デジタル公開は古典籍共同研究事業センターに移行し、情報資料サービス事業部では館蔵和古書のデジタル化に協力している。

なお、天災・事故等の緊急時の閲覧室の開閉室についての体制整備を行った。

【図書資料の収集及び受入・整理】

(1) 概 要

図書資料委員会で所蔵資料全体を考慮した計画をたて、国文学・歴史分野図書、古典籍原本等の収集を行っている。収集した資料は、装備・目録作成を行い利用に供している。

(2) 活動記録

①資料の受入

平成26年度の受入資料数は以下のとおりである。

資料1 図書資料受入統計

			点数等		冊数等	
			平成26年度	累積	平成26年度	累積
収集マイク回資料	マイク回フィルム	日本文学	1,556点	190,631点	350リール	42,071リール
		歴 史	1件	202件	46リール	6,308リール
	マイク回フィッシュ	日本文学	0点	16,667点	0枚	57,358枚
	紙 焼 写 真 本	日本文学	-	-	0冊	75,122冊
		歴 史	-	-	0冊	11,196冊
図 書	写 本 ・ 版 本		1,595点	16,326点	4,074冊	56,126冊
	活 字 本 ・ 影 印 本 等		-	-	4,018冊	179,941冊
	逐 次 刊 行 物		1,971誌	8,617誌	-	-
所 蔵 史 料			5件	484件	-	約500,000点
寄託資料・寄託史料		日本文学	1件	9件	1冊	9,440冊
		歴 史	0件	17件	0件	7,032点

②貴重書・特別コレクションの指定

貴重書8点、特別コレクション1点を指定した。

資料2 新たに指定された貴重書及び特別コレクション

貴重書

請求記号	書名等
99 : 191	伊曾保物語（古活字版、3冊）
99 : 192	ふんしやう（写、3軸）
99 : 193	富士の人あな（写、3冊）
99 : 194	奈良絵本一本きく（写、3冊）
99 : 195	奈良絵本水宮けい（写、1帖）
99 : 196	春日懐紙緑弁和歌三首懐紙（写、1軸）
99 : 197	四種類聚抄（写、1巻）
99 : 198	奈良絵本二十四孝図（写、1冊）

特別コレクション

請求記号	書名等
22	山鹿文庫（1,321点）

③資料の整備・目録作成

a. マイクロ資料目録作成

・書誌データ登録 3,834件

資料3 平成26年度マイクロ資料目録データベース登録一覧

文庫番号	所蔵者	サニズ区分	リール番号	件数
55	陽明文庫	E	798-813	130
99	土佐山内家宝物資料館	A	648-715	299
272	弘前市立図書館	A	355-377	233
316	蘆庵文庫	B'	46-85	297
318	夢望庵文庫	B'	25-40	639
324	新潟大学附属図書館佐野文庫	B'	429-447	92
364	大洲市立図書館矢野玄道文庫	A'	92-115, 245・246	373
シ6	東京理科大学近代科学資料館下浦文庫	E	1-66	900
HRSM	広島大学図書館	Y	1-25, 69・70	38
KNIK	研医会図書館	Y	1-45	48
KSRM	宮内庁書陵部	Y	1-182	501
TNGW	谷川好一	Y	1-288	284
合計				3,834

B. 和古書・明治期資料の整備

・和古書の整備 1,723冊

・明治期資料の整備 722冊

C. 和古書・明治期資料の目録作成

・和古書目録書誌データ登録 2,877冊

・明治期資料目録書誌データ登録 229冊

d. 活字本・影印本の整備・目録作成 1,107冊

e. 歴史関係図書・逐次刊行物の遡及入力

旧史料館所蔵図書の目録遡及事業を継続して行っている。平成26年度は、4,058冊の遡及入力を行い、図書約80,000冊のうち37,233冊がOPACで検索可能となった。

【資料の保存】

(1) 概要

原形を尊重した保存措置・修復処置を継続的にを行っている。

(2) 活動記録

①文書・記録類の保存措置・修復処置

史料目録刊行済みのものについて、閲覧用ラベル貼付、中性紙封筒・帙・箱等への収納、状態調査記録作成、虫損・剥離箇所への部分修復処置等を行った。……6,803点（「信濃国松代伊勢町八田家文書」「武蔵国多摩郡和田村石坂家文書」）

その他、必要に応じてクリーニング、中性紙封筒・箱等への入替、部分修復処置等を行った。……585点（「信濃国松代真田家文書」「出羽国村山郡山家村山口家文書」ほか）

②古典籍原本の保存措置・修復処置

a. 害虫処理

新規受入資料は、窒素発生装置及び脱酸素剤を使用した殺虫処理を行っている。

b. 補修

虫損が甚だしく閲覧・撮影が困難な資料には補修を行っている。平成26年度は高乗勲文庫の『千載和歌集』ほか4点9冊を補修専門家に依頼し補修を行った。

【利用者サービス】

(1) 概要

①所蔵資料のデジタル化

平成23～24年度はデジタル化の特別予算、平成25年度は日本語の歴史的典籍のデータベース構築計画準備経費により所蔵原本のデジタル化と他機関原本のマイクロ収集分のデジタル化を推進してきた。平成26年度は、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」に協力し、屏風や掛幅など大型の資料を含む約1,530点のデジタル撮影を行った。

②新規サービスの開始

a. 平成26年4月にカラー複写サービス、デジタル化資料のプリントアウトサービスを開始

b. 平成26年11月に国立国会図書館による図書館向けデジタル化資料送信サービスを開始

③マイクロ複写外注体制の変更

これまで大量のマイクロフィルムの複写業務は国文学研究資料館が料金を徴収し外注としていたが、業者が直接料金徴収と納品を行う体制に変更し、業務の効率化を図った。

④天災・事故等緊急時の閲覧室の開閉室についての体制整備を行った。

(2) 活動記録

①資料の閲覧及び複写

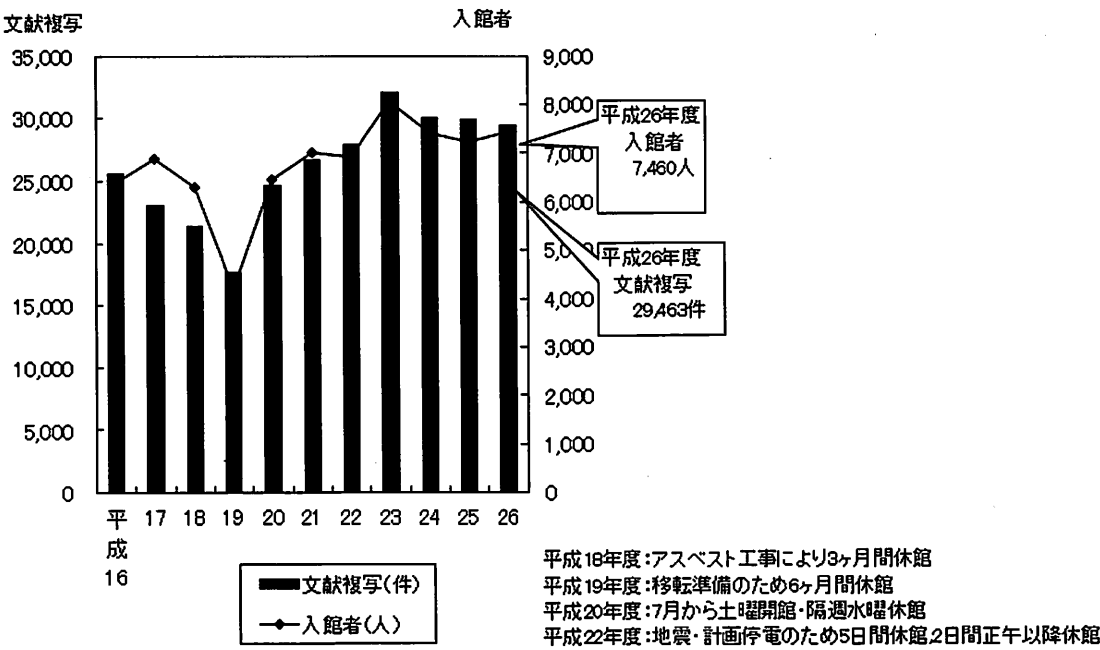
平成26年度の開館日数は250日、新規登録者は1,181人、来館利用者数は7,460人で、前年に比べると若干の増加傾向にあり、順調に利用されている。利用者の内訳をみると大学院生の利用が例年より増加している。

閉架資料の利用状況を見ると、活字本・影印本と和古書の利用が増加した。

資料 4 来館利用者の構成

利用者内訳	平成26年度（名）
学生	2,427
大学院生	1,348
大学教員	1,332
小中高等学校教員	233
調査研究機関等研究員	294
地方自治体職員	124
その他（館外者）	1,702
総計	7,460

参考資料 来館利用数比較



資料 5 資料出納点数

項目	平成26年度
逐次刊行物	1,767
活字本・影印本	3,127
和古書	953
ポジフィルム	1,700
紙焼写真本	1,681
史料	25,961
紙焼写真本一夜貸	14
合計	35,203

②相互協力サービス

文献複写受付件数は平成25年度より大幅に増加した。ILL文献複写受付件数は、受付をした参加組織1,211館中10位（平成25年度18位、平成24年度32位）であり、全国的にも上位の水準で資料の共同利用に貢献している。

リーダープリンタによる電子複写の受付が大幅に減少した。外部委託の体制変更により、外

部委託分が統計に含まれないこととマイクロ収集資料のデジタル公開が進捗していることによるものと考えられる。

また、現物貸借受付は、57件、うち図書48件、紙焼写真本9件であった。

資料6 相互協力件数

項目		受付		依頼
・閲覧	紹介状	-		40件
貸借	図書	48件、48冊		1件、1冊
	紙焼写真本	9件、9冊		-
複写	電子複写	3,607件	28,386枚	13件
	RPによる電子複写	437件	14,317枚	22件
	フィルム複製	0	0	2件
	合計	4,044件	42,703枚	36件

参考資料 マイクロ複写外部委託件数

申込種別	RPによる複写		フィルム複製	
ILL	68件	17,648枚	1件	1コマ
窓口	60件	11,487枚	0件	0コマ
郵送・FAX	29件	8,363枚	2件	717コマ
館内者	50件	9,469枚	1件	22コマ
合計	207件	46,967枚	4件	1,021コマ

③レファレンスサービス

日本文学・歴史資料分野のレファレンスサービスを継続しておこなった。

資料7 レファレンスサービス件数

質問の種類		平成26年度
文書による質問		66
メールによる質問	総合窓口システムへの質問	78
	問い合わせメール	172
電話による質問	所蔵調査	153
	利用についての問い合わせ	509
	内容調査	44
クイック・レファレンス（閲覧カウンターでの質問）		883
合計		1,905

④掲載許可申請受付（平成26年度決裁分）

- ・翻刻掲載 23件
- ・写真掲載 213件

写真掲載のうち非営利・学術目的の要件に該当した123件は無償、また、翻刻掲載はすべて無償である。

⑤資料の展示貸付（展示開始が平成26年度のもの） 9件

資料8 平成26年度展示貸付一覧

主催者名	展示会名	展示期間	資料名	点数
サントリー美術館	徒然草－美術で楽しむ古典文学	平成26年6月～7月	正徹物語（久松コレクション 11-28, 29）	2
横浜市歴史博物館	特別展「佐久間象山と横浜－海防、開港、そして人間・象山」	平成26年5月～7月	亜墨利加人御警衛一件（信濃国松代真田家文書 26A/い213）ほか	6
福井県立歴史博物館	平成26年度特別展「敦賀湊と三国湊」	平成26年7月～8月	三國鑑（越前史料 22A/1194）ほか	4
真田宝物館 （長野市教育委員会文化財課）	平成26年度特別企画展「松代藩の国絵図・城下絵図・町絵図」	平成26年6月～7月 平成26年8月～9月	松代町並の図（信濃国松代真田家文書 26A/し183-1～5）ほか	20
中原中也記念館	中原中也と日本の詩	平成26年7月～9月	岩野泡鳴自筆原稿「史詩墮落仙人」（ハ1-135）	1
長野市立博物館	平成26年度秋季企画展「生きること・伝えること－大震災とわたしたち」	平成26年9月～10月	弘化四年三月廿四日信州大地震之節岩倉山山抜見分之図（信濃国松代真田家文書 26A/し533）ほか	11
すみだ郷土文化資料館	企画展「向島の近世 將軍家と御鷹場」	平成26年9月～11月	御鷹之雁御拝領之次第并包庁之式（信濃国松代真田家文書 26A/う259）ほか	5
安城市歴史博物館	特別展「龍燈の湖－油ヶ淵の過去・現在・そして未来へ－」	平成26年11月～ 平成27年1月	乍恐書付ヲ以申上候新田御訴訟之事（伏見屋新田開発願書写）（尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書 24P/い8-1）ほか	3
人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	平成26年度企画展示「大ニセモノ博覧会－贋造と模倣の文化史－」	平成27年3月～ 平成27年5月	天正8年徳川家康朱印状（甲斐国下井尻村依田家文書 60A/5585）ほか	4

⑥蔵書点検

平成24年度より4年計画で、全蔵書の蔵書点検に取り組んでおり、3年目に当たる平成26年度は、書庫配置資料のうち、歴史図書・和古書を中心に点検を行った。

【古典籍総合目録事業】

(1) 概 要

『国書総目録』（岩波書店刊）を継承発展させるものとして、古典籍総合目録作成事業を行っている。現在、所蔵和古書・マイクロ／デジタル資料目録データベースを含めた「日本古典籍総合目録」データベースを公開し、古典籍の書誌・所在情報を、著作及び著者の典拠情報とともに広く提供している。

(2) 活動記録

下記のとおりデータ作成等を実施した。

- ①データソースの収集、所蔵者との連絡（書誌情報の古典籍総合目録データベース収載公開についての依頼等）
- ②書誌データの登録 約10,960件

資料9 平成26年度古典籍総合目録データベース登録一覧

所蔵者	コレクション	目録	データ数
石川県立図書館	月明文庫	月明文庫目録	2,036
一宮市尾西歴史民俗資料館	小塚文庫	小塚文庫目録	386
魚沼神社		魚沼神社所蔵古典籍目録	64
関西大学図書館	長澤文庫	長澤文庫検索システム	2,929
実践女子大学図書館	黒川文庫	実践女子大学図書館所蔵黒川文庫目録	368
洲本市立図書館		洲本市立図書館伝来の古書目録	460
東海大学中央図書館	桃園文庫	桃園文庫目録 下巻	8
同朋大学仏教文化研究所	水谷氏崇覚文庫ほか	同朋大学佛教文化研究所古書目録 (同朋大学佛教文化研究所紀要第18号・19号掲載)	1124
内藤記念くすり博物館	大同薬室文庫	大同薬室文庫蔵書目録	3,076
弘前大学附属図書館	田名部文庫	田名部文庫目録	222
弘前大学附属図書館	山本文庫	山本文庫目録	65
宮城教育大学附属図書館		宮城教育大学附属図書館所蔵本目録 (文庫・寄贈本・大型コレクション・古書)	173
早稲田大学図書館	荻野三七彦旧蔵資料	荻野三七彦旧蔵資料目録	49
合計			10,960

③基礎データ（典拠データ）の追加・改訂

日常的に生じる追加・改訂のほか、当館基礎データの参照がNACSIS-CATの規則に盛り込まれたことなどにより、NACSIS-CATを含む外部からの基礎データに関わる質問や改訂への要望が寄せられた。その各々について内容を検討し、データの追加・改訂などの対応を行った

④データベースシステムの維持管理

a. 業務用システムの改修

入力インターフェースの改善及び業務用詳細検索機能の開発などを行った。これらによりデータ入力作業の効率化が期待できる。

また、NACSIS-CAT形式データのコンバーターを開発した。

b. 公開データベース更新

これまで年2回の更新を平成26年度から年4回の更新とした。

【機関リポジトリ】

(1) 概 要

機関リポジトリを構築し、国文学研究資料館の刊行物及び構成員が著作した紀要論文、報告書、単行本等の学術成果についてウェブ公開を行った。

(2) 活動記録

国立情報学研究所のJAIRO Cloudを利用した国文学研究資料館学術情報リポジトリを構築し、平成27年2月から館内限定で試験公開を行った。また、平成27年度から一般公開を行う予定である。

機関リポジトリ公開著作物

紀要	約440件
その他	約150件

4. 学術企画連携部

i) 国際交流室

【第38回国際日本文学研究集会】

日 程：11月29日(土)～30日(日)

場 所：国文学研究資料館大会議室

主 催：国文学研究資料館

目 的：日本文学研究者による研究発表・討議により、広い視野からの日本文学研究の進展を図り、研究者相互の国際交流を深めるため、毎年度秋に開催している。

参加者：147名（外国人38名、日本人109名）

*研究発表者等は、一般応募者の中から国際日本文学研究集会委員会の決定に基づき、主として若手研究者を対象として選考した。

*発表時間が25分の研究発表、発表時間が15分のショートセッション及び資料掲示による説明コーナーでの発表（ポスターセッション）を設けている。

*研究発表11本、ショートセッション4本、ポスターセッション6本が行われた。

*「図像のなかの日本文学」というテーマで、シンポジウムを実施した。

【国際シンポジウム等の開催】

(1) 日本古典籍（くずし字）講習会

日 程：5月22日～24日

場 所：コロンビア大学（アメリカ）

主 催：国文学研究資料館、東アジア図書館協議会日本資料委員会・日本古典籍小委員会

共 催：コロンビア大学（図書館情報サービス、ドナルド・キーン・センター、東アジア言語・文化学科）

目 的：日本学資料専門ライブラリアンやキュレーター、研究者、学生を対象に、北米の機関が現地主催機関として開催する。講師は当館教員が日本語で行い、年1～2回開催する。

*東アジア図書館協議会日本資料委員会と上記講習会について、平成26年3月6日に覚書を取り交わした。昨年度まで実施していた日本関係資料専門家欧州協会（EAJRS）との覚書に基づくヨーロッパでの講習会は本年度は実施しなかった。

(2) 第6回日韓古典籍研究交流会

日 程：7月29日

場 所：韓国国立中央図書館（韓国）

主 催：国文学研究資料館、韓国国立中央図書館

目 的：古典籍資料を通じての国際交流

参加者：35名（外国人25名、日本人10名）

今西祐一郎、大高洋司、田中大士、陳捷、海野圭介、入口敦志

(3) 国際研究集会「日本古典文学の可能性と異文化の交響」

日 程：9月26日

場 所：ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）

主 催：国文学研究資料館

目 的：国際的な共同研究の理解と情報共有

参加者：30名（外国人20名、日本人10名）

今西祐一郎、伊藤鉄也、海野圭介

(4) 第2回国際シンポジウム「男たちの性愛－春本と春画と－」

日 程：12月6日

場 所：国文学研究資料館

主 催：国文学研究資料館

目 的：学術交流協定を締結している海外諸機関や大学との間で新たな共同研究を促進

参加者：71名

〔参考〕

上記の他、当館教員が主導又は深く関与しているシンポジウム等は次のとおり。

- (1) 11月1日に臼杵市民会館（大分県）において、人間文化研究機構日本関連在外資料国際共同研究事業「バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書の保存・公開に関する調査研究」により、「バチカン図書館所蔵マレガ神父収集豊後キリシタン文書群の魅力」というテーマでシンポジウムを開催した。

【海外における国際学会への教員個々の参加状況（講演・研究発表を含む）】

- (1) 5月7日～9日に復旦大学（中国）において開催された文化交渉学会に参加し、研究発表を行った。
- (2) 5月10日に中国文化大学（台湾）において開催された102學年度國際學術研討會に参加し、研究発表を行った。
- (3) 5月23日～24日に古版画博物館（韓国）において開催された韓・中・日 古版画學術大会に参加し、研究発表を行った。
- (4) 6月28日に中山大学（中国）で開催された「理学与嶺南社会文化」國際學術研討會に参加し、研究発表を行った。
- (5) 8月23日～28日にダブリンシティ大学（アイルランド）で開催されたCOLING2014に参加し、8月28日のテキスト要約、パラフレーズセッションの座長として会議運営に協力した。
- (6) 8月27日～31日にリュブリャナ大学（スロベニア）において開催された“The 14th International Conference of EAJIS”に参加し、研究報告を行った。
- (7) 8月28日に台湾大学（台湾）で開催された和漢比較文学会第七回特別研究発表会に参加し、研究発表を行った。
- (8) 9月17日～19日にルーヴァン・カトリック大学（ベルギー）で開催された“The 25th EAJRS Conference”に参加し、研究発表を行った。
- (9) 9月21日～22日にケンブリッジ大学（イギリス）で開催された国際シンポジウムに参加し、研究発表を行った。
- (10) 10月21日～23日に国立故宫博物院（台湾）で開催された“PNC 2014 Annual Conference”に参加し、研究発表を行った。
- (11) 10月25日～26日に中国人民大学（中国）で開催された国際会議「仏教与文学－日本金剛寺仏教典籍調査研究成果報告國際學術研討會」に参加し、研究発表を行った。

- (12) 11月1日～2日に台湾師範大学（台湾）で開催された「儒道国際学術研討会－（六）明清」に参加し、研究発表を行った。
- (13) 11月21日に高麗大学亜細亜問題研究所（韓国）で開催された国際シンポジウムに参加し、研究発表を行った。
- (14) 11月21日に台湾大学（台湾）で開催された台湾大学日本語文学系所創設20周年記念シンポジウムに参加し、講演を行った。など

【外国人研究員の招聘】

ラインハルト・ツェルナー氏

職 名：ボン大学日本・韓国学研究専攻主任教授

期 間：平成26年7月16日～平成26年10月15日

研究内容：近世史料にみる日朝関係

上記の他、外来研究員として李 先胤氏（高麗大学校日本研究センター・HK研究教授）、韓 凌燕氏（揚州大学・講師）、前年度に引き続きスミス・クリストファー氏（ハワイ大学マノア校日本文学部研究生助教）及びパトリック・シュウェマー氏（プリンストン大学大学院比較文学科博士課程）を受け入れた。

【学術交流協定による国際交流】

- (1) 高麗大学校と学術交流協定を更新。
- (2) 高麗大学校との協定に基づき、韓国国立中央図書館において古典籍を通じての国際交流を実施した。
- (3) 高麗大学校から外来研究員として1名受け入れた。
- (4) 国際連携研究「日本文学のフォーラム」で開催した第2回国際シンポジウムに、ブリティッシュ・コロンビア大学から講師として1名招聘した。
- (5) コレージュ・ド・フランスにおいて、ジャン＝ノエル・ロベール日本学高等研究所所長と古典籍に関して面談、打合せを行った。
- (6) ブリティッシュ・コロンビア大学において、国際研究集会「日本古典文学の可能性と異文化の交響」を開催した。
- (7) ライデン大学図書館で、シーボルト関係日本古典籍の共同調査を実施した。

ii) 展示企画室

【展 示】

- (1) 常設展示「和書のさまざま」

概 要：昨年度に続き、和書について、形態的・内容的な構成を説明した上で、各時代の写本・版本や特色のある本を紹介した。併せて和書の性質を判断する場合の問題をいくつか取り上げており、全体を通して和書の基本知識を学ぶとともに、和書について考えるきっかけとなることを意図している。

日 程：4月1日(火)～9月22日(月) 117日間

※土曜・日曜・祝日・夏季一斉休業（8月14日・15日）・展示室整備日は休室

場 所：国文学研究資料館展示室

主 催：国文学研究資料館

鑑賞者：2,156名

(2) 特設コーナー

概 要：年間を通じて、展示室の一部のスペースに特設コーナーを設け、定期的に展示替えを行いながら、様々なテーマで展示を行った。

(3) 特別展示「中原中也と日本の詩」

概 要：中原中也記念館（山口市）の開館20周年を記念して、同館と協同で開催した。展示の前半では、中原中也の少年時代の習字や成績表、知人宛の書簡、自筆の原稿などを通して中也の生涯を紹介した。後半では、近現代の日本の詩の中で中也がどう位置づけられるか、中也が影響を受けた明治・大正の詩と、同時代～現代の詩人の作品や中也への評価を紹介した。

日 程：10月9日(木)～11月5日(水) 22日間

※日曜・月曜は休室

※10月13日(月)及び11月3日(月・祝)は開室

場 所：国文学研究資料館展示室

主 催：国文学研究資料館、公益財団法人山口市文化振興財団・中原中也記念館

鑑賞者：1,241名

(4) 通常展示「書物で見る 日本古典文学史」

概 要：上代から明治初期までの文学を、書物(古典籍)によってたどる。最近の研究動向にも配慮しつつ、教科書でなじみの深い作品を中心に据えて、文学史の流れを示し展示した。

日 程：12月1日(月)～3月31日(火) 72日間

※土曜・日曜・祝日・年末年始(12月27日～1月5日)・展示室整備日は休室

場 所：国文学研究資料館展示室

主 催：国文学研究資料館

鑑賞者：1,424名(11月29日(土)、30日(日)国際日本文学研究集会及び12月6日(土)国際連携研究シンポジウム開催時特別開室の人数を含む。)

iii) 広報出版室

【講座・講演会関係】

(1) 連続講座

平成24年度から日本文学の普及のため「くずし字を読む講座」を開催している。今年度も当館今西祐一郎館長による「くずし字で読む『源氏物語』」講座を開催した。

名 称：平成26年度連続講座

テーマ：くずし字で読む『源氏物語』

講 師：今西祐一郎(当館館長)

日 程：10月1日(水)、10月8日(水)、10月15日(水)、10月22日(水)、10月29日(水)

14時00分～15時30分

第1回 10月1日 84名

第2回 10月8日 81名

第3回 10月15日 76名

第4回 10月22日 77名

第5回 10月29日 75名

場 所：国文学研究資料館大会議室

参加者：393名（延べ）

(2) 「古典の日」講演会

11月1日が「古典の日」と法制化されたことを記念し、平成24年度から開催している。昨年度からは会場を館外へ移し、作家、国文学者、書誌学者の林望氏及び中世国文学者、慶應義塾大学の小川剛生准教授が講師を担当して開催した。

名 称：平成26年度国文学研究資料館「古典の日」講演会

講 師：「紫上をめぐって」

林 望（作家、国文学者、書誌学者）

「兼好とは誰かー徒然草の新解釈」 小川剛生（中世国文学者、慶應義塾大学准教授）

日 程：11月1日（土）13時30分～16時00分

場 所：イイノホール

参加者：346名

(3) アーカイブズ・カレッジ

多様な史資料を扱う専門的人材を養成するため、長期コース・短期コースをそれぞれ年1回開催した。

長期コースは、前期7月22日（火）から3週間、後期8月25日（月）から3週間の日程で国文学研究資料館において開催し、39名（うち3名は特別聴講）が受講した。受講者のうち史料保存機関職員や大学教職員などの社会人は17名、大学院生は22名であった。なお今年度、長期コースの全6科目を受講し、修了論文の審査に合格した27名に修了証書を授与した。短期コースは、11月10日（月）から15日（土）に福岡市博物館の施設を借用して開催し、54名が受講した。受講者のうち史料保存機関職員や大学教職員などの社会人は48名、大学院生は6名であった。

①長期コース

日 程：7月22日（火）～8月8日（金）、8月25日（月）～9月12日（金）

場 所：国文学研究資料館オリエンテーション室ほか

受講者：39名（うち3名は特別聴講）

②短期コース

日 程：11月10日（月）～15日（土）

場 所：福岡市博物館ほか

受講者：54名

(4) 日本古典籍講習会

日本古典籍講習会は、日本古典籍の整理・目録化を促進し、広く活用されるよう環境の整備を図るため、書誌学の専門知識や整理方法の技術修得を目的として、各所蔵機関の図書館員等を対象に平成15年度から開始したもので、今年度で12回目である。昨年度よりカリキュラムを変更し、

3日間から4日間の開催で実施した。今年度は平成27年1月27日(火)から30日(金)で開催し、最初の3日間は当館で、最終日は国立国会図書館を会場として行った。大学図書館等23名、公共図書館等9名、計32名が受講した。

日 程：1月27日(火)～30日(金)

場 所：国文学研究資料館大会議室、国立国会図書館

受講者：32名

【出版関係】

(1) 平成26年度国文学研究資料館紀要の発行

当館教員の研究成果の社会への還元の一環として、年度毎に研究紀要を発行している。

平成26年度は、文学研究篇第41号、アーカイブズ研究篇第11号を刊行した。

(2) 研究成果刊行物購入に関する制度の実施

当館の研究成果の社会への還元の一環として、研究成果の出版を希望する当館の共同研究に対して、内容等を審査の上で、出版物の一部を当館が支出し、刊行を促進することを目的としている。今年度から制度の内容を一部変更し、「研究成果刊行物購入に関する制度」として実施した。

今年度は1件の申請があり、広報出版室において、外部委員を含めた審査会を組織し、審査した結果、申請を採択し、本制度を適用することとした。

(3) 国文研ニュースの発行

当館の広報記事や研究内容を紹介する定期刊行物として年に4回発行している。

今年度は、35号～38号の4冊を発行し、関係機関等に配布するとともに、催事実施の際に来館者に配布した。

(4) 概要の作成

平成26年度の当館概要を作成した。

(5) リーフレットの作成

最新の内容にしたものを作成した。

【広報関係】

(1) 広報活動

当館のWebページ及びチラシ・ポスターを通じて、催し物等の広報を行った。

(2) 多摩モノレール「高松駅」での広報活動

平成22年8月より、多摩モノレール「高松駅」改札内の広報用展示スペースを借用し、当館の広報スペースとして概要等の展示を実施しており、今年度は展示内容を更新した。

(3) 子ども霞ヶ関見学デーへの参加

文部科学省をはじめとした府省庁等が連携して、業務説明や省内見学などを行うことにより、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、

府省庁等の施策に対する理解を深めてもらうことを目的としている「子ども見学デー」がある。

「子ども霞が関見学デー」は、各府省庁等の特色を生かし、子どもたちを対象に様々なプログラムを設け、8月6日(水)・7日(木)の2日間で一斉に実施した。今年度は当館も参加し、活動概要パネル及び顔ハメパネルを作成し、さわれる和本と共に展示して説明を行った。

日 程：8月6日(水)～7日(木)

場 所：文部科学省3階講堂

(4) 大学共同利用機関シンポジウム2014研究者博覧会への参加

大学共同利用機関等を将来の研究を担う若手(高校生等)や一般の方々に知ってもらうため、開催している。展示にあたっては、①各機関の研究に関連した研究体験②研究活動及び最近のトピックスなどを紹介する等、わかりやすく知的好奇心を鼓舞する内容とし、可能な限り見やすくインパクトのある展示として参加した。

日 程：11月22日(土)

場 所：東京国際フォーラム

(5) 文部科学教育通信への掲載

文部科学教育通信は、大学の学長、副学長、理事等の運営管理者や事業推進者を中心に購読されており、毎号全国的に2,100～2,200部が発行されている。この誌面には、収蔵品紹介のページがあり、当館では9月号より記事を掲載している。

掲載号：9月8日付No.347から月2回発行

(6) カレンダーの作成

当館の平成27年用カレンダーを作成し、関係機関等へ配布した。

(7) 広報グッズ

一筆箋(3種類)及びクリアファイルを増刷した。

(8) 見学の受入れ

当館の施設見学等について、今年度は教育機関関係や市民サークル等13件を受入れた。

平成26年度特設コーナー

1 春日懷紙

概 要：前期は、中臣祐定(春日若宮社神主)の懷紙、後期は、学詮、縁弁、素俊、明算の懷紙を展示した。

日 程：(前期)4月1日(火)～4月17日(木) 13日間

(後期)4月18日(金)～5月1日(火) 9日間

2 近世小説と作者たち

概 要：「世間胸算用」や「雨月物語」「金々先生栄花夢」「漫遊記」など13点の近世の小説を展示した。

日 程：5月2日(金)～6月12日(木) 28日間

3 蔵書印の愉しみ

概 要：東京帝国大学の蔵書印や各界の識者・篤志家の蔵書印がある和古書15点を展示した。

日 程：6月13日(金)～7月10日(木) 20日間

4 新古今和歌集

概 要：平成16年に当館に寄贈された「懷風弄月文庫」の『新古今和歌集』コレクションや、藤原俊成研究の第一人者であり、当館の館長であった松野陽一氏から平成17年に寄贈された旧蔵書など、新収資料を中心として展示した。

日 程：7月11日(金)～8月13日(水) 23日間

5 南山城井手町西福寺神道灌頂資料

概 要：西福寺で近世期から行われていた神道灌頂で、残されている十八世紀中葉の中興祖活済の頃から明治期にいたる多くの資料について、展示した。

日 程：8月19日(火)～9月22日(月) 24日間

6 さまざまな言語に翻訳された『源氏物語』

概 要：アラビア語、イタリア語、クロアチア語、スペイン語、スロヴェニア語、タミール語、中国語、ドイツ語、ハンガリー語、韓国語、パンジャビ語、フランス語、ポルトガル語、モンゴル語、タイ語、日本語の翻訳本を展示した。

日 程：10月9日(木)～11月5日(水) 22日間

7 百人一首の広がりーカルタと浮世絵ー

概 要：鶴丸紋の二重箱入りの百人一首カルタ、大判錦絵の揃い物の浮世絵のうち、藤原興風、文屋朝康、右近等の歌の浮世絵6点を展示した。

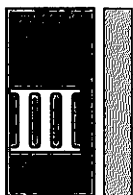
日 程：12月1日(月)～1月20日(火) 32日間

※11月29日(土)、30日(日) 国際日本文学研究集会、及び12月6日(土) 国際連携研究シンポジウム開催時特別開室の日数を含む。

8 観相から見る日本文学史

概 要：観相の営みの跡をとどめる文学・絵画、それに関連する言説や、相書に残された記述の一端を示すため、「源氏物語淡彩白描画」「神相全編正義」「秀雅百人一首」など館蔵資料を中心に18点の資料を展示した。

日 程：1月21日(水)～3月10日(火) 33日間



古典籍データベース研究事業センター

【概 要】

日本学術会議において学術の大規模研究計画（マスタープラン）としてリストアップされた「日本語の歴史的典籍のデータベースの構築」推進のため、平成25年4月に「古典籍データベース研究事業センター」を設置して体制を整えたが、計画全体の更なる発展を検討し、データベース構築だけにとどまらず、当該データベースを資源とする「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」を推進することとなった。平成26年4月には、当計画が人文社会科学分野として初めての大規模学術フロンティア事業として正式に位置付けられ、組織も「古典籍共同研究事業センター」（以下「センター」という。）に改組した。

今年度は、センターの活動を広報するためセンターニュース「ふみ」を発行した。

1. 体制整備

(1) 古典籍共同研究事業センターの設置

平成25年4月1日に「古典籍データベース研究事業センター」を設置したが、上述のとおり計画の進展を考慮し、平成26年4月に「古典籍共同研究事業センター」に改組した。また、年度途中の採用も含み特任教授1名、客員教授1名、特任准教授2名及び特任助教1名を採用するとともに、事務組織の充実を図った。

(2) 各種委員会の設置

センターに、次の委員会を設置し、学識経験者や研究者コミュニティの意見を踏まえ、活発な活動を行った。

- ・ 日本語歴史的典籍ネットワーク委員会

- 運営に関する助言、事業計画に関するモニタリング等

- ・ 事業実施委員会

- センター運営の基本方針、センターの事業計画、センターの事業実施状況の評価等、センターの事業の基本的事項

- ・ 国際共同研究ネットワーク委員会

- 国際共同研究ネットワークの構築、国際共同研究の企画立案及び統括、国内外へ向けた古典籍プロジェクトの普及・啓発及び広報

- ・ 拠点連携委員会

- センターと国内拠点との連絡調整等

2. 他機関との連携

歴史的典籍を多数保有する国内の20大学を「国内拠点」として位置付け、連携して事業を推進している。

また、すでに当館と学術交流協定を締結している海外の大学、研究機関等を「国外拠点」として位置付け、国際的なネットワーク構築へ向けて協力することとなっている。

○国内拠点：北海道大学、東北大学、筑波大学、東京大学、お茶の水女子大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、奈良女子大学、広島大学、九州大学、慶應義塾大学、國學院大學、立教大学、早稲田大学、大谷大学、同志社大学、立命館大学、関西大学

○国外拠点：コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所、コロンビア大学、高麗大学校、フィレンツェ大学、北京外国語大学、ライデン大学、ヴェネツィア国立大学、ナポリ大学、サピエンツァ・ローマ大学、バチカン市国図書館、ブリティッシュ・コロンビア大学、ケンブリッジ大学

このほか、人間文化研究機構内の国立歴史民俗博物館、国立国語研究所、及び国際日本文化研究センターとの連携を行っている。

【活動記録】

1. 資料の撮影・デジタル化と公開

今年度は、大規模学術フロンティア事業経費等によるデジタル化業務を実施した。

当館所蔵資料及び研医会図書館所蔵資料の撮影により、1,590点、約29万コマの画像を作成した。また、当館所蔵マイクロフィルムからのデジタル変換により、11,884点、約130万コマの画像を作成した。これは、拠点大学の所蔵資料を撮影したマイクロフィルムを中心としたものであり、そのための公開許諾手続きを積極的に進め、例年よりも多くの画像化を行うことができた。

さらに、宮内庁書陵部所蔵マイクロフィルムからのデジタル変換も実施し、599点、約9万コマの画像作成を行った。

2. 書誌データの整備

当センターで購入した和古書の書誌データ、マイクロフィルム資料（東京理科大学下浦文庫、宮内庁書陵部所蔵資料等）の書誌データに加え、典拠となる著作データ及び著者データを作成し、約3,300件の書誌データ整備を行った。

3. 他機関所蔵の資料調査・収集

今年度も研医会図書館所蔵資料の調査を行い、「新編医学正傳」ほか計62点、約1万コマのデジタル撮影収集を実施した。弘前市立図書館において184点・約1万8000コマの資料調査を行った。

また、信州大学繊維学部図書館を訪問し、分野別収集では「産業」にあたる養蚕関係資料について、今後のデジタル化に関する方針、協力体制等について協議を行った。

4. 拠点大学における撮影実施に向けた準備

平成27年度からは各拠点大学における資料撮影が実施されるため、今年度はその準備を行った。具体的には、撮影実施計画の立案、撮影仕様書の整備、撮影実施手順の構築などであり、これらについて拠点連携委員会及び10月末に行った拠点連携委員会図書系委員向け打合せを中心に協議を重ね、平成27年度以降の撮影が円滑に進むよう、拠点大学での古典籍資料撮影に関する事務手続き等説明書などを作成した。

また、平成27年度撮影実施大学の確定後に当該大学と覚書を取り交わし、各大学が選定した撮影候補資料の確認など、撮影実施に向けた準備を行った。

5. データベースシステム構築に関する検討

国際共同ネットワークシステムの調達のため、館外の専門家を含む国際共同ネットワークシステム仕様策定委員会を立ち上げ、データベースシステムの仕様書を作成し、調達に向けての手続きを進めた。

6. 画像作成内製化のための実証試験

画像作成内製化実証試験として、平成25年度、26年度に購入したブックスキャナーとデジタルカメラを用い、資料の撮影を試みた。具体的には、プロジェクト研究員を中心として、適切な解像度、色調の設定、部屋の照度設定などの確認や、撮影方法の試行などを行った。

またそれらの結果は、内製化試験報告として取りまとめ、また、ブックスキャナーの操作マニュアルも整備した。

7. データベース機能高度化のための共同研究等

国際共同ネットワークシステムとして公開するデータベースでは、例えばくずし字が読めない一般人でも古典作品をスムーズに検索できるなど、検索機能の高度化が必要となる。そのため、公立はこだて未来大学の寺沢憲吾准教授や凸版印刷株式会社との共同研究を開始し、寺沢憲吾准教授による画像検索システムを用いた検索の高度化、タグ付け作業の効率化などの検討を行った。これらについては平成27年度も引き続き共同研究として実施する。

また今年度から、館内教員による画像へのタグ付け作業が開始され、Microsoft Accessによるタグ付け作業用システムの作成、タグ付け対象画像の教員への配布などを当センターが担当した。

8. 資料購入

今後のデータベース構築及び共同研究の広がり、また分野別撮影計画を念頭に、当館が継続して購入してきた国文学及び周辺領域に関する資料だけではなく、多領域に渡る原本と参考資料を購入し、上記のとおり内製化による画像化にも着手した。

9. 共同研究

事業の本格開始へ向けて、国際共同研究ネットワーク委員会及び拠点連携委員会等での審議を踏まえ、共同研究の枠組みを以下の4カテゴリーに決定し、公募型共同研究及び機構内共同研究は研究を開始した。

(1) 国際共同研究

海外の研究者を中心に日本文化を総合的に研究するテーマに取り組む、日本古典籍を広い視野から利活用する共同研究。幅広い研究者の国際学術交流により、古典籍を通じた日本再発見を目指す。今年度は、平成27年度からの本研究に向けて準備研究を2件実施した。

・古典と古典籍

中心メンバー：ピーター・コーニツキー（ケンブリッジ大学 名誉教授）

・日本文化の基層

中心メンバー：ハルオ・シラネ（コロンビア大学 教授）

(2) 公募型共同研究

一般公募により、19件の応募中、次の5件の研究課題を採択し、10月から研究を開始した。

・草双紙を中心とした近世挿絵史の構築

研究代表者：佐藤 悟（実践女子大学文学部 教授）

研究期間：平成26年10月～平成29年9月

- ・近世日本を中心とする東アジアの理学典籍に関する国際共同研究

研究代表者：小川 東（四日市大学環境情報学部 教授）

研究期間：平成26年10月～平成29年9月

- ・紀州地域に存する古典籍およびその関連資料・文化資源の基礎的研究

研究代表者：大橋直義（和歌山大学教育学部 准教授）

研究期間：平成26年10月～平成29年9月

- ・近世日本科学史典籍の国際的再評価に向けた基盤研究

研究代表者：佐藤 賢一（電気通信大学大学院情報理工学研究科 准教授）

研究期間：平成26年10月～平成29年9月

- ・日本漢詩文における古典形成の研究ならびに研究環境のグローバル化に対応した日本漢文学の通史の検討

研究代表者：合山林太郎（大阪大学大学院文学研究科（コミュニケーションデザイン・センター）准教授）

研究期間：平成26年10月～平成29年9月

(3) 拠点主導共同研究

国内拠点の研究者が研究代表者となり、拠点の研究者を中心に研究組織を構成して実施する共同研究。平成27年度からの開始を予定している。

(4) 機構内共同研究

人間文化研究機構内の国立歴史民俗博物館、国立国語研究所及び国際日本文化研究センターと連携して実施する共同研究。「総合書物学」と「書物の文化学的研究」の2つのテーマに基づき合計6件の共同研究を実施している。

[総合書物学]

- ・アジアの中の日本古典籍—医学・理学・農学書を中心として—

研究代表者：陳 捷（国文学研究資料館研究部 教授）

研究期間：平成26年4月～平成29年3月

- ・日本古典籍の書誌概念と書誌用語の国際化

研究代表者：落合博志（国文学研究資料館研究部 教授）

研究期間：平成26年4月～平成29年3月

- ・日本古典籍コードの国際標準化

研究代表者：山本和明（国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター 特任教授）

研究期間：平成26年4月～平成29年3月

- ・古代の百科全書『延喜式』の総合書物学研究—多分野協働をめざして

研究代表者：小倉慈司（国立歴史民俗博物館研究部 准教授）

研究期間：平成26年10月～平成30年3月

- ・表記情報と書誌形態情報を加えた日本語歴史コーパスの精緻化

研究代表者：高田智和（国立国語研究所理論構造研究系 准教授）

研究期間：平成26年10月～平成29年9月

- ・日本と西洋との相互認識に関する総合書物学的研究：キリシタン文学の発展と継承

研究代表者：郭 南燕（国際日本文化研究センター海外研究交流室 准教授）

研究期間：平成26年10月～平成30年3月

[書物の文化学的研究]

・表記の文化学—ひらがなとカタカナ—

研究代表者：入口敦志（国文学研究資料館研究部 准教授）

研究期間：平成26年4月～平成29年3月

10. 広報活動

本事業について広く周知を図るため、研究成果の発信・広報活動として、シンポジウム等の開催、ホームページの充実、広報誌の発行、展示の実施等に取り組んだ。

シンポジウム等の開催については、2月18日に大阪大学に於いて、国際シンポジウム「日本研究の新天地 歴史的典籍画像の30万点Web公開と国際共同研究」を大阪大学との共同主催で開催した。その他共同研究による国際シンポジウム等を開催した。

その他広報活動として、パンフレット（和文・英文）を作成し、文部科学省情報ひろばや各種イベント等で配布を行った。

また、大規模学術フロンティア促進事業の広報誌として「ふみ（古典籍共同研究事業センターニュース）」を3号刊行した。

当館ウェブサイトから、共同研究の公募・採択状況や、シンポジウムの開催通知等情報発信を行うとともに、英文ページ（概要）を作成し、国外向け情報発信体制の整備を始めた。

展示については、当館が多摩都市モノレール高松駅構内で行っている展示において本事業の紹介を行った。

刊行物一覧

No.	刊行物名	発行	編集
1	「ふみ」古典籍共同研究事業センターニュース 第1号	平成26年6月	古典籍共同研究事業センター
2	「ふみ」古典籍共同研究事業センターニュース 第2号	平成26年11月	古典籍共同研究事業センター
3	「ふみ」古典籍共同研究事業センターニュース 第3号	平成27年2月	古典籍共同研究事業センター

IV

新収和古書一覽

【近代以前】

No.	書名	刊写	数量	請求記号
1	料理献立集		2冊	49:183:1-2
2	料理方心得之事		1冊	49:186
3	飲膳摘要		1冊	49:286
4	百工秘術		3冊	49:287:1-3
5	古方便覧		2冊	49:288:1-2
6	医案類語		5冊	49:289:1-5
7	元治元年京都大兵火災図	写	1巻	49:290
8	讃岐国名勝図会	刊	7冊	49:291:1-7
9	新編宮雛形	刊	1冊	49:292
10	新編武家雛形	刊	1冊	49:293
11	弭災秘書	写	2冊	49:294:1-2
12	晩学抄	写	1冊	49:295
13	蹴鞠五十三箇条	写	1冊	49:296
14	会席料理秘囊抄		1冊	49:297
15	紙漉重宝記	刊	1冊	49:301
16	写本道中記	写	18冊	49:302:1-18
17	版本道中記	刊	5冊	49:303:1-5
18	諸国図会年中行事大成	刊	6冊	49:308:1-6
19	諸国名所画譜	刊	1冊	49:309
20	江戸内めぐり	刊	1冊	49:310
21	東海道千里の友	刊	1冊	49:311
22	岐蘇路安見絵図	刊	1冊	49:312
23	物類品隨	刊	6冊	49:313:1-6
24	長命衛生論・秘伝長寿法	刊	1冊	49:314
25	食事養生解（食事戒）	刊	1冊	49:315
26	煎茶早指南	刊	1冊	49:316
27	花壇養菊集	刊	3冊	49:317:1-3
28	絵本通宝志	刊	10冊	49:318:1-10
29	坤輿図識 補共	刊	7冊	49:319:1-7
30	手相即座考	刊	1冊	49:320

No	書名	刊写	数量	請求記号
31	酉晴雨考	刊	1冊	49:321
32	図解畳地指南	刊	8冊	49:322:1-8
33	算法闕疑抄	刊	5冊	49:323:1-5
34	算法地方大成	刊	1冊	49:324
35	割圓表	刊	3冊	49:325:1-3
36	成形図説	刊	30冊	49:326:1-30
37	膳部料理抄	写	1冊	49:327
38	料理早指南	刊	4冊	49:328:1-4
39	七島日記	刊	3冊	49:329:1-3
40	百富士	刊	4冊	49:330:1-4
41	雛形臚清水	刊	3冊	49:331:1-3
42	物類品臚	刊	6冊	49:332:1-6
43	古文真宝コレクション（追加分）	刊	18冊	60:185,482-488
44	三体詩コレクション	刊・写	292冊	61
45	山鹿文庫	刊・写	3,212点	22
46	和漢朗詠集	刊	1冊	サ1:13
47	金葉和歌集	天保9年刊	3冊	サ2:134:1-3
48	式子内親王集	写	9冊	タ2:286:1-9
49	六家集	刊	18冊	タ2:287:1-18
50	草根集	写	1冊	タ2:288
51	はもちの中将	刊	2冊	タ4:110:1-2
52	四季物語	写	1冊	タ5:148
53	雑談集	寛永21年刊	5冊	タ6:3:1-5
54	落葉集	刊	1冊	ナ1:42
55	松の落葉	刊	2冊	ナ1:43:1-2
56	桂園一枝（拾遺とも）	刊	5冊	ナ2:579:1-5
57	桂園一枝	写	3冊	ナ2:580:1-3
58	蛙声集	写	21冊	ナ2:581:1-21
59	和歌名所詠格	正徳3年刊	6冊	ナ2:582:1-6
60	和歌童歌抄	刊	1冊	ナ2:583
61	此ほとり	刊	1冊	ナ2:584:1
62	統一夜四歌仙	刊	1冊	ナ2:584:2
63	夏木立集	弘化3年刊	1冊	ナ3:150
64	誹風柳多留	刊	15冊	ナ3:151:1-15
65	誹風柳多留	刊	10冊	ナ3:152:1-10
66	おくのほそ道	刊	1冊	ナ3:153

No	書名	刊写	数量	請求記号
67	おらが春	刊	1冊	ナ3:154
68	怪談春雨夜話	刊	1冊	ナ4:1000
69	春色恵の花	刊	2冊	ナ4:1001:1-2
70	仮名反古／一休草紙	刊	21冊	ナ4:1002:1-21
71	武道伝来記	刊	1冊	ナ4:1003
72	武家義理物語	刊	11冊	ナ4:1005:1-11
73	好色一代男	刊	1冊	ナ4:982
74	諸道聴耳世間猿	刊	3冊	ナ4:983:1-3
75	伊曾保物語	刊	1冊	ナ4:985
76	絵本不知火草紙	刊	10冊	ナ4:987:1-10
77	白縫譚 (61種貼込帖)	刊	1冊	ナ4:988
78	真書太閤記	寛政11年写	23冊	ナ4:989:1-23
79	落断屠蘇喜言	文政7年刊	1冊	ナ4:990
80	種がしま	刊	1冊	ナ4:991
81	升おとし	刊	1冊	ナ4:992
82	世間妾形気	刊	1冊	ナ4:993
83	忠義太平記大全	享保2年刊	12冊	ナ4:994:1-12
84	宗祇諸国物語	貞享2年刊	5冊	ナ4:995:1-5
85	絵本忠孝貞女鑑	刊	1冊	ナ4:996
86	絵本馬術揃	刊	1冊	ナ4:997
87	絵本名馬勢 (合羽摺)	刊	2冊	ナ4:998
88	絵本名馬勢 (墨摺)	刊	2冊	ナ4:999
89	富士一覽記	刊	1冊	ナ5:178
90	義経千本桜	刊	1冊	ナ7:86
91	道行集	刊	1冊	ナ7:87
92	音曲大江岸	刊	1冊	ナ7:89
93	節用集	元和5年刊	1冊	マ3:135
94	書籍目録大全	刊	3冊	ヤ0:117:1-3
95	高野大師行状図絵	刊	2冊	ヤ4:330:1-2
96	地藏菩薩靈驗記	貞享1年刊	13冊	ヤ5:561:1-13
97	本朝文則／永寿庭訓往来絵抄解	嘉永5年刊	1冊	ヤ5:562
98	庭訓往来	刊	1冊	ヤ5:563
99	万宝庭訓往来	文化3年刊	1冊	ヤ5:564
100	江戸砂子	享保17年刊	6冊	ヤ6:312:1-6
101	三山雅集	宝永7年刊	3冊	ヤ6:313:1-3
102	香道蘭の園	写	1冊	ヤ8:333

No.	書名	刊写	数冊	請求記号
103	香道書二十種	写	15冊	ヤ8:336:1-15
104	香之書	写	20冊	ヤ8:337:1-20
105	新成明和伎鑑	刊	1冊	ヤ8:338
106	草花略図式	刊	1冊	ヤ8:339
107	藩翰譜続編	刊	21冊	ヤ9:502:1-21
108	前賢故実	刊	20冊	ヤ9:505:1-20
109	伏見宮邦高親王	写	1枚	ユ1:108
110	里村玄仲	写	1枚	ユ1:109
111	西順	写	1枚	ユ1:110
112	新版画合源氏双六	刊	1枚	ユ2:206
113	三十六歌仙双録	安政4年刊	1枚	ユ2:207
114	しぐれのえん	刊	1枚	ユ3:137
115	風流六玉川／近江	刊	1枚	ユ3:238
116	仏説無量寿經	写	1枚	ユ8:30
117	秘鈔	写	3枚	ユ8:31:1-3
118	曼荼羅図	写	1枚	ユ8:32
119	平家物語	写	1軸	ヨ1:169
120	六帖要文	寛永9年刊	1冊	ラ8:127
121	和聞耳抄	写	1冊	ラ8:128
122	易学啓蒙要解	刊	6冊	ワ1:54:1-6
123	天海版 宝雲經	刊	1冊	ワ3:257
124	禪苑蒙求	刊	3冊	ワ3:259:1-3
125	古文真宝 後集	安政5年刊	2冊	ワ4:100:1-2
126	三体詩法	元禄5年刊	3冊	ワ4:101:1-3
127	三体詩法	刊	3冊	ワ4:102:1-3
128	古文真宝 前集	文政10年刊	1冊	ワ4:97
129	古文真宝 前集	刊	1冊	ワ4:98
130	古文真宝 後集	享保4年刊	2冊	ワ4:99:1-2
131	鼈頭評註古文真宝前集	元禄10年刊	3冊	ワ9:48:1-3
132	古文真宝 前集	安政2年刊	1冊	ワ9:49
133	庭訓往来	写	1冊	99:199
134	立川普濟寺版 大方仏華嚴經	刊	1冊	99:200
135	筆陳 上巻	写	1帖	99:201
136	源氏物語絵巻（にほふ宮～夢浮橋）	写	1巻	ヨ3:30
137	新古今和歌集	写	3冊	タ2:290:1-3
138	百人一首かるた	写	1箱	ヤ8:340

No	書名	刊写	巻冊	請求記号
139	秘鈔金輪法	写	1軸	ヨ2:80
140	丹緑本 蛤の草子	刊	1冊	タ4:111
141	絵本頼朝一生記 下の巻	刊	1冊	ナ4:1006
142	万葉集断簡 (柘枝切)	写	1葉	99:202
143	安政二年十月江戸大地震出火場明細記	刊	1冊	ヤ3:163
144	百品考	刊	6冊	ヤ9:510:1-6
145	三十六歌仙貝合歌譜	刊	1冊	ナ2:585
146	百人一首かるた	写	1箱	ヤ8:341
147	古今私秘聞	写	1冊	99:203
148	古今和歌集	写	2帖	サ2:135:1-2

【近代】

no	書名	冊数	請求記号
1	虚榮／生田葵山著；前篇，後篇。 -- 易風社，1907.	2冊	ヒ4:1783:1-2
2	売女／真山青果著。 -- 今古堂，1912. -- (新作文庫).	1冊	ヒ4:1784
3	蒼白き巢窟／室生犀星著。 -- 新潮社，1920.	1冊	ヒ4:1785
4	蝙蝠／室生犀星著。 -- 隆文館，1921.	1冊	ヒ4:1786
5	踊／森田草平著。 -- 浜口書店，1914.	1冊	ヒ4:1787
6	初戀／森田草平著。 -- 鈴木三重吉，1915. -- (現代名作集／鈴木三重吉編；第18編).	1冊	ヒ4:1788
7	花間鶯／末廣重恭著。 -- 金港堂，1888.	1冊	ヒ4:1789
8	はつ姿／小杉為蔵著。 -- 春陽堂，1900.	1冊	ヒ4:1790
9	癡人遁夢：春曉攪眠：完／須藤光暉著。 -- 晚青堂書店，1887.	1冊	ヒ4:1791
10	から松操／南翠外史著。 -- 文昌堂，1889.	1冊	ヒ4:1792
11	荒村遺稿／白柳武司編。 -- 白柳武司，1905.	1冊	ヒ0:473
12	美しき氷河：室生犀生作集／室生犀星著。 -- 新潮社，1921.	1冊	ヒ4:1793
13	ふしまちつき／須藤南翠著。 -- 春陽堂，1891. -- (聚芳十種；第4巻).	1冊	ヒ4:1794
14	史詩墮落仙人：[自筆草稿]／岩野泡鳴[著]。 -- 岩野泡鳴，19--.	1冊	ハ1:135
15	東京印象記／児玉花外著。 -- 金尾文淵堂，1911.	1冊	ヒ5:249
16	侠男児／山田美妙著。 -- 青木嵩山堂，1897.	1冊	ヒ4:1799
17	桃色絹／山田美妙著。 -- 青木嵩山堂，1902.	1冊	ヒ4:1800
18	小説女装の探偵／山田美妙著；前編，後編。 -- 青木嵩山堂，1902.	2冊	ヒ4:1801:1-2
19	妙な依頼／山田美妙著；小杉未醒画。 -- 朝野書店，1910.	1冊	ヒ4:1802
20	髪／田山花袋著。 -- 左久良書房，1912.	1冊	ヒ4:1803
21	良人の自白／木下尚江著；上篇。 -- 20版。 -- 前川又三郎：杉本要，1908.	1冊	ヒ4:1809:1
22	良人の自白／木下尚江著；中篇，續篇。 -- 金尾文淵堂，1905.	1冊	ヒ4:1809:2
23	良人の自白／木下尚江著；下篇。 -- 木下尚江：由分社，1905.	1冊	ヒ4:1809:3
24	良人の自白／木下尚江著；續篇。 -- 5版。 -- 梁江堂，1908.	1冊	ヒ4:1809:4
25	靈か肉か／木下尚江著；上篇。 -- 金尾文淵堂，1907.	1冊	ヒ4:1810:1
26	靈か肉か／木下尚江著；下篇。 -- 梁江堂，1908.	1冊	ヒ4:1810:2
27	飢渴／木下尚江著。 -- 昭文堂，1907.	1冊	ヒ4:1811
28	墓場：小説／木下尚江著。 -- 昭文堂，1908.	1冊	ヒ4:1812
29	懺悔／木下尚江著。 -- 金尾文淵堂，1906.	1冊	ヒ5:251
30	荒野／木下尚江著。 -- 昭文堂，1909.	1冊	ヒ4:1813
31	小説勞働／木下尚江著。 -- 昭文堂，1909.	1冊	ヒ4:1814
32	乞食：小説／木下尚江著。 -- 昭文堂，1908.	1冊	ヒ4:1815
33	火宅：小説／木下尚江著。 -- 弘學館書店，1910.	1冊	ヒ4:1816
34	創造／木下尚江著。 -- 金尾文淵堂，1912.	1冊	ト7:95
35	日蓮論／木下尚江著。 -- 文英堂，1910.	1冊	テ4:34

no	書名	数量	請求記号
36	神人間自由／木下尚江著．-- 中央公論社，1934.	1冊	ヒ5:252
37	法然と親鸞／木下尚江著．-- 再版．-- 金尾文淵堂，1911.	1冊	エ3:468
38	田中正造翁／木下尚江著．-- 新潮社，1921.	1冊	ウ4:231
39	ぎょあい集／東亞協會文藝部編．-- 弘道館，1908.	1冊	ヒ0:479
40	出産／徳田秋聲著．-- 左久良書房，1909.	1冊	ヒ4:1817
41	秋声叢書／徳田秋聲著．-- 博文館，1911. -- (名家小説文庫；第9編).	1冊	ヒ4:1818
42	足迹：小説／徳田秋聲著．-- 新潮社，1912.	1冊	リ6:515
43	小説入門／徳田秋聲著．-- 春陽堂，1918. -- (文芸研究叢書；第2編).	1冊	ヒ4:1819
44	秋聲傑作集／徳田秋聲著；第1巻，第2巻．-- 新潮社，1920.	1冊	ヒ4:1820
45	離るゝ心／徳田秋聲著．-- 金星堂，1922. -- (金星堂名作叢書；第2).	1冊	ヒ4:1821
46	凋落／徳田秋聲著．-- 榎本書店，1924.	1冊	ヒ4:1822
47	籠の小鳥：短篇集／徳田秋聲著．-- 文藝日本社，1925.	1冊	ヒ4:1823
48	蘇生／徳田秋聲著．-- 新潮社，1926.	1冊	ヒ4:1824
49	勲章／徳田秋聲著．-- 中央公論社，1936.	1冊	ヒ4:1825
50	思ひ出るまゝ／徳田秋聲著．-- 文学界社，1936.	1冊	ヒ5:253
51	光を追うて／徳田秋聲著．-- 新潮社，1939.	1冊	ヒ4:1826
52	老眼鏡／徳田秋聲著．-- 高山書院，1940.	1冊	ヒ5:254
53	チビの魂／徳田秋聲著．-- 青木書店，1940. -- (文化叢書；第7).	1冊	ヒ4:1827
54	和解／徳田秋聲著．-- 豊國社，1941.	1冊	ヒ4:1828
55	西の旅／徳田秋聲著．-- 豊國社，1941.	1冊	ヒ4:1829
56	花が咲く：徳田秋聲短篇傑作集／徳田秋聲著．-- 人文書院，1941.	1冊	ヒ4:1830
57	挿話／徳田秋聲著．-- 櫻井書店，1942.	1冊	ヒ4:1831
58	秘めたる恋：長篇小説／徳田秋聲著．-- 東方社，1947.	1冊	ヒ4:1832
59	灰燼：長篇小説／徳田秋聲著．-- 東方社，1948.	1冊	ヒ4:1833
60	黄昏の薔薇／徳田秋聲著．-- 東方社，1949.	1冊	ヒ4:1834
61	日本新世界／牛山良介著．-- 成文堂，1887.	1冊	ヒ4:1835
62	Die Tänzerin／von Mori. Der London Tower／von Natsume; Übersetzt von K. Koike. -- Nankodo, 1917.	1冊	ヒ4:1836
63	實業家百傑傳／坪谷善四郎著；第1編 - 第6編．-- 東京堂書房，1892.	2冊	ホ4:77:1-2
64	実録泉嶋吉／[古川新水稿]；乾坤亭補綴．-- 柳沢平，1889.	1冊	ヒ4:1837
65	能文自在：中等教育／川島菱園著．-- 井上市松，1905.	1冊	ミ5:286
66	人道教／吉田平二郎著作．-- 再版．-- [出版者不明]，1890.	1冊	エ0:66
67	日講記聞／(蘭)抱獨英口授；[大阪醫學校編]；卷之1-卷之11. -- 秋田屋善助，1---.	11冊	ヤ9:508:1-11
68	洞酌醫學校概則：大村達齋私立．-- [洞酌医学校]，1881.	1冊	モ5:95
69	醫學共存社規則．-- 醫學共存社，1883.	1冊	モ5:96
70	童子論／福澤英之助譯；卷之1，卷之2. -- [出版者不明]，1873.	1冊	ヤ9:506
71	菓物糖藏篇／田原陶猗著；若林高孝校正．-- 織田完之，1876.	1冊	ヤ9:507

no	書名	冊数	請求記号
72	南北極地探検実写真集／星野竹次編．-- 東京器械標本出版部，1928．	1冊	レ2:284
73	懷中三用便／青木輔清編．-- 正栄堂，1877．	1冊	ラ8:126
74	活世界．-- 1號（明23.12）-．	2冊	カ00720
75	劇場珍報．-- 1號（明11.8）-．	5冊	シ01300
76	活論學問雀／服部應賀著；初号 上-3号 下．-- 村上重蔵〔ほか〕（發兌），....，18--．	6冊	ハ4:303:1-6
77	皇朝蒙求	3冊	ナ8:437:1-3
78	男心女心	1冊	ヒ4:1845
79	迷へる魂	1冊	ヒ4:1846
80	善男善女	1冊	ヒ4:1847
81	悪童の群	1冊	ヒ4:1848
82	青春の果	1冊	ヒ4:1849
83	屋根裏の恋人	1冊	ヒ4:1850
84	女怪	1冊	ヒ4:1851
85	子を貸し屋：小説集	1冊	ヒ4:1852
86	晴れたり君よ（短篇シリーズ；5）	1冊	ヒ4:1853
87	魔都：一名出世五人男	1冊	ヒ4:1854
88	三人	1冊	オ7:31
89	玉手箱	1冊	ヒ4:1855
90	南洋乃大波瀾	1冊	ヒ4:1856
91	新撰ちくさ	1冊	ヒ4:1857
92	三日月形：小説	1冊	ヒ4:1858
93	日本評論	24冊	ニ00813
94	曲亭馬琴戯作序文集	1冊	ナ4:1004
95	千代田城噂白波	1冊	ヒ4:1859
96	永代大雑書大成	1冊	ヤ9:509
97	あいぬ醫事談	1冊	ム7:321
98	大日本名医一覧	1冊	ユ2:209
99	原田起業傳	1冊	ウ4:237
100	人體問答	1冊	ラ8:129
101	独逸袖珍藥譜	1冊	ロ9:4
102	教育操纂	3冊	キ00790
103	内外新聞	2冊	ヤ9:511:1-2
104	名古屋新聞	2冊	ナ00324
105	名譽新誌	1冊	キ00789
106	明治16年12月佛易説	1冊	ト2:200
107	王政復古戊辰始末	3冊	フ1:72-73

IV 新収和古書一覽

№	書名	数量	請求記号
108	番付・鹿児島戦場名記	1枚	ユ2:208
109	小學校教員心得	1冊	ホ8:302
110	日本教育雑誌	12冊	ニ00814
111	聯珠百人一首	1冊	タ2:291
112	小説神髓	2冊	ヒ6:146:1-2



各教員実績一覧

[凡 例]

氏 名

職 名

専門分野

研究内容

研究実績 ①編著書 ②学術論文 ③総説・解説・評論等 ④学術発表〈シンポジウム基調報告・講演・学会発表等〉 ⑤外部資金による研究活動（項目中、分担者とあるのは、研究分担者もしくは連携研究者のことです。）

教育活動

社会貢献

受 賞

氏名 今 西 祐一郎

職 名 館長

専門分野 日本古典文学

研究内容 平安時代文学の諸問題、日本古典籍に関する総合書物

研究実績 ②「実名敬避小説としての『源氏物語』」（『學士會会報』、909、39～42頁、一般社団法人学士会、2014年11月）。

「皇統分裂と『源氏物語』」（『文学』、16-1、210～211頁、岩波書店、1月）

「『表記情報学』始末－「あとがき」に代えて－」（『日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究』IV、219～228頁、国文学研究資料館、3月）

④「江戸時代の『書籍目録』」（北米くずし字講習会講演、於：コロンビア大学C.V. スター東亜図書館、5月24日）

「学術と啓蒙－日本語表記の観点から－」（建部賢弘生誕350周年 Takebe Conference 2014 公開講演会、於：お茶の水女子大学、8月25日）

「皇統の分裂と『源氏物語』」（2014年臺大日本語文創新暨創系20周年 国際学術検討會、於：臺灣大学文學院、11月21日）

⑤科学研究費補助金 基盤研究(A)「日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究」研究代表者

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

社会貢献 中古文学会常任委員

財団法人 新村出記念財団理事

氏名 寺 島 恒 世

職 名 教授・副館長

専門分野 日本文学

研究内容 中世和歌文学の研究・歌仙絵資料の成立と流布に関する研究

- 研究実績 ①単著『後鳥羽院和歌論』（笠間書院、2月）全708頁
 共著『新古今集古注集成 近世新注編2』（『尾張廼家苞』担当）（笠間書院、10月）pp.103-502
 ②「歌仙絵における文字表記－〈左右〉の意識と左書きの来歴－」『日本文学』第63巻第7号、7月、pp.35-44
 ③「和歌における風」『人と自然』第8号（人間文化研究機構連携研究「自然と文化」）、11月、pp.7-10
 「国歌大観」「近代秀歌」「藤原定家」（担当項目）『日本語大事典』（11月、朝倉書店）
 ④国際研究発表「歌仙絵の変貌と継承」8月29日 於：リュブリャナ大学（スロベニア）第14回EAJS国際研究集会
 ⑤科学研究費補助金 基盤研究（C）「歌仙絵の資料調査とその成立及び流布に関する総合的研究」（研究代表者）

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

社会貢献 文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員
 和歌文学会常任委員・例会委員会副委員長
 中世文学会委員

氏名 谷 川 恵 一

職 名 教授・副館長

専門分野 近代日本文学

研究内容 近代文学成立期の研究

- 研究実績 ①共著『集と断片－類聚と編纂の日本文化』（6月刊、勉誠出版）
 ②「伝記と歴史の間－幸田露伴のスタイル－」（『歴史評論』777号、1月、校倉書房）

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

社会貢献 日本学術会議連携会員
 日本近代文学会評議員
 日本近代文学館評議員

氏名 大 友 一 雄

職 名 教授・研究主幹

専門分野 アーカイブズ学

研究内容 近世の記録管理研究、アーカイブズ情報資源化研究、日本近世史

- 研究実績 ①編集『野田市史』資料編近世1（関宿藩編）（3月）
 ②「バチカン図書館所蔵豊後キリシタン史料群とマリオ・マレガ神父」（『歴史と地

理』682号—日本史の研究248、3月)

- ③「人間文化研究機構国文学研究資料館のアーカイブズ学研究と事業」(『日本歴史学協会年報』第30号、3月)

「海を渡った豊後キリシタン史料—マレガ・プロジェクトの概要—」(『国文研ニュース』No.38、1月)

- ④「マレガ・プロジェクト」シンポジウムin臼杵「バチカン図書館所蔵マレガ神父収集豊後キリシタン文書群の魅力」の企画・趣旨説明(11月1日)

- ⑤人間文化研究機構「日本関連在外資料調査研究事業」研究班「バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書の保存・公開に関する調査・研究」(代表大友一雄)科学研究費補助金 基盤研究(B)「藩政文書の記録管理システムに関する基盤的研究」(代表 大友一雄)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

國學院大学大学院非常勤講師

社会貢献 日本歴史学協会常任委員

地方史研究協議会委員

関東近世史研究会評議委員

氏名 小 林 健 二

職 名 教授・研究主幹

専門分野 日本文学

研究内容 室町時代の文芸(能・狂言、幸若舞曲、物語草子など)

研究実績 ①国文学研究資料館影印叢書6『狂言絵 彩色やまと絵』勉誠出版 平成26年6月

- ②「描かれた能楽の世界(1)～(10)」『金春月報』2月号-12月号(公社)金春円満井会内金春月報編集部 平成26年2月-12月(8月を除く)

「隠岐を舞台とした室町期の能—《隠岐院》人間文化研究機構連携研究『アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明』最終年度報告書 2月

- ④説話文学会例会 シンポジウム「唱導説話と芸能」司会・コーディネイター 9月27日 専修大学

EAJS国際研究集会 シンポジウム「変革期における幸若舞曲の展開—絵画化を軸として—」司会・コーディネイター 8月29日 リュブリャナ大学(スロベニア共和国)

法政大学能楽研究所 シンポジウム「金春家文書の世界—文書が語る金春家の歩み—」

パネリスト「道を継ぐ者達への遺言—『安住行状之大概』を読む」9月15日 法政大学

- ⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「『舞の本絵巻』を中心とした幸若舞曲の絵入り本の調査研究」(代表者)

科学研究費補助金基盤研究(B)「観世文庫所蔵能楽関係資料のデジタル・アーカイブを活用した新しい能楽史の構築」(研究分担者)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

法政大学能楽研究所兼任所員
 神戸女子大学古典芸能研究センター客員研究員
社会貢献 能楽学会代表
 中世文学会常任委員
 説話文学会委員
 藝能史研究会評議員

氏名 田 中 大 士

職 名 教授・研究主幹
専門分野 万葉集（特に伝本研究）
研究内容 万葉集の伝本、古筆切の研究
研究実績 ①『春日懷紙（大中臣親泰・中臣祐基）』汲古書院、10月
 『和歌文学大辞典』（冊子版）古典ライブラリー、11月
 ②「廣瀬本万葉集とはいかなる本か」 関西大学アジア文化研究センターディスカッションペーパー No.8 5-34頁
 「片仮名訓本系統の長歌訓の誕生」関西大学アジア文化研究センターディスカッションペーパー No.8 35-44頁
 「春日懷紙「遠山雪」題の新出資料」『嵐義人先生古希記念論文集文化史史料考証』411-419頁
 「万葉集仙覚寛元本の底本ー京大本代赅書き入れと仙覚本奥書からの考察ー」上代文学 第113号 41-54頁
 ⑤科学研究費補助金 基盤研究（C）「万葉集仙覚校訂本作成過程の解明に関わる万葉集諸伝本の包括的研究」
教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授
 日本女子大学非常勤講師
社会貢献 上代文学会理事、和歌文学会常任委員

氏名 伊 藤 鉄 也

職 名 教授
専門分野 国文学
研究内容 中古物語の研究、特に『源氏物語』に関する研究
研究実績 ⑤科学研究費補助金 基盤研究（A）「海外における源氏物語を中心とした平安文学及び各国語翻訳に関する総合的調査研究」代表者
 科学研究費補助金 基盤研究（A）「日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究」研究分担者
教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授
社会貢献 特定中古文学会委員
 非営利活動法人源氏物語電子資料館代表理事

氏名 大 高 洋 司

職 名 教授

専門分野 日本文学

研究内容 近世文学、特に後期小説の研究 近世都市風俗の研究

研究実績 ②「馬琴読本と「潤筆」、『文学』第15巻3号（5・6月号、岩波書店）
「八戸南部家の読本収集」、『読本研究新集』第6集（6月、読本研究の会）
③「悔恨と感謝」、『近世文芸』百号記念号「特別企画 思い出の論文」（7月、日本近世文学会）
研究ノート「八戸南部家の読本収集」余滴、『国文研ニュース』No.36（8月、国文学研究資料館）
「学界時評 近世」、『アナホリッシュ國文學』第7号（8月、響文社）
書評「武藤元昭著『人情本の世界』」、『図書新聞』第3173号（9月6日）
「国文学研究資料館の収蔵品⑤『浮世風呂』—出現した二〜四編の初印本—」・「同⑥「秋里籬島『摂津名所図会』—稿本・版本から分かる絵師交代の内側—」、『文部科学教育通信』No.351・352（11月10日、11月24日）
⑤人間文化研究機構連携研究「都市風俗と「職人」—日本中近世の絵画資料を中心に—」（代表者）
科学研究費補助金 基盤研究(B)「韓国国立中央図書館所蔵日本古典籍の日韓共同研究」（研究代表者）

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

國學院大学大学院非常勤講師

社会貢献 日本近世文学会委員

氏名 落 合 博 志

職 名 教授

専門分野 日本文学

研究内容 日本中世文学・中世芸能の研究、日本古典籍書誌学の研究

研究実績 ②『四季祝言』「夏」と『五音』「敷島」について（『能と狂言』第11号、平成26年7月）
『徒然草』本文再考—第十二・五十四・九十二・百八・百四十三段について—
（『中世の随筆—成立・展開と文体—』、平成26年8月、竹林舎）
③通常展示「書物で見る 日本古典文学史」解説文（上代・中古・近代）
④和歌・連歌・平家と能および早歌—諸ジャンルの交渉—（中世文学会春季大会、シンポジウム「南北朝期・室町期の文学と諸芸能」、平成26年5月24日、早稲田大学）
⑤科学研究費補助金基盤研究(B)「観世家のアーカイブの形成と室町期能楽の新研究」（研究分担者）

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

社会貢献 能楽学会常任委員

説話文学学会委員

氏名 神 作 研 一

職 名 教授

専門分野 日本文学

研究内容 近世和歌史・学芸史

研究実績 ②「ライデンの田舎版 付）田舎版『三十六歌仙』翻印」（国文学研究資料館編『シーボルト日本書籍コレクション 現存書目録と研究』所収、勉誠出版、2014年12月）
「《調査収集シンポジウム》江戸の〈知〉－蔵書の種々相を考える－」（『調査研究報告』35号、国文研調査収集事業部、2015年3月）

* 基幹研究「近世における蔵書形成と文芸享受」の研究成果として。

③「新収資料紹介 江戸明治はやり唄コレクション」（『国文研ニュース』35号、2014年5月）

「てのひらの〈江戸〉」（『近世文藝』100号、日本近世文学会、2014年7月）

* 百号特別企画「想い出の論文」。

「《人間文化研究機構主催／ドイツ・ボーfum国際シンポ「シーボルトが紹介したかった日本」参加報告》シーボルトに近づく楽しみ」（『国文研ニュース』36号、2014年8月）

「魅惑の売立目録－落ち穂拾いの悦楽－」（中日新聞名古屋本社版、2014年10月17日付夕刊）

「香川宣阿」「松井幸隆」「恵藤一雄」など、総計54項目（『和歌文学大辞典』、和歌文学大辞典編集委員会編、古典ライブラリー、2014年12月）* 書籍版。

「研究ノート 特定研究「日本の近世における中国漢詩文の受容－三体詩・古文真宝を中心に－」（『国文研ニュース』38号、2015年2月）

④「江戸の〈知〉－蔵書の種々相を考える－」（国文研・調査収集シンポジウム、於国文学研究資料館、2014年5月29日）

* パネリストは井上泰至・大庭卓也・盛田帝子・伊藤善隆の各氏。神作は司会。

「江戸の教養を考える－伊勢・徒然草・百人一首－」（於市川市文学ミュージアム、2014年6月8日）

「地下（じげ）から地方へ」（於鶴岡市致道博物館、2014年7月26日）

* シンポジウム《藩主の交遊－和歌・俳諧が結ぶ人と地域－》

* 平林香織科研主催。

「男たちの性愛－春本と春画と－」（国文研・国際連携研究「日本文学のフォーラム」第2回国際シンポジウム、於国文学研究資料館、2014年12月6日）

* パネリストはダニエル＝ストリュープ・ジョシュア＝モストウ・中嶋隆・

石上阿希、コメンテーターは染谷智幸・小林ふみ子の各氏。神作はコーディネーター。

「ヒトはなぜ本を読むか－〈古典〉の楽しみ－」（市川学園土曜講座、於市川中学校・高等学校、2015年2月7日）

Genji studies in Edo : Investigating manuscript commentaries to The Tale of Genji

(「江戸の源氏学—写本の源氏注釈書を探る—」)

Embodying the text : An international workshop on manuscripts and printed books in the Middle East and East Asia (ライデン写本・版本国際集会2015「文(テキスト)の身体」)(於ライデン大学、2015年3月7日)

*石川透科研主催。

展示ならびに図録監修「神作光一のひもとく〈和歌の世界〉」展(於市川市文学ミュージアム、2014年3月15日～7月6日)

- ⑤科学研究費補助金基盤研究(C)「近世私家集ならびに私撰集の研究」(研究代表者)
科学研究費補助金 基盤研究(A)「室町～江戸期における写本と版本の関係についての総合的研究」(連携研究者) *石川透代表
科学研究費補助金 基盤研究(B)「在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究」(研究分担者) *山下則子代表
科学研究費補助金 基盤研究(C)「松代・一関・南部・秋田各藩の和歌活動・俳諧活動による大名文化圏形成解明の新研究」(研究分担者) *平林香織代表

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授
日本女子大学大学院・文学部 非常勤講師
武蔵野美術大学造形研究センター 客員研究員
社会貢献 日本近世文学会 常任委員・広報企画委員長
和歌文学会 常任委員・編集委員
俳文学会 委員
上智大学国文学会 評議員
日本古典文学学術賞 選考委員

氏名 陳 捷

職 名 教授

専門分野 中国古典文献学 日中書籍交流史

研究内容 アジアのなかの日本古典籍 日本における漢籍の受容の研究

- 研究実績 ②シーボルトコレクションの和刻本漢籍について『シーボルト日本書籍コレクション 現存書目録と研究』、人間文化研究機構 国文学研究資料館編 pp.580-601 勉誠出版、12月
『毛詩品物図考』より見た18世紀における新しい「知」の形成、川原秀城編『西学東漸と東アジア』、pp.291-306岩波書店、2月
『夢梅華館日記』翻刻(第二十八～二十九卷)、『調査研究報告』(国文学研究資料館)第35号、pp.117(1)-48(45)、3月
④研究発表「從《毛詩品物圖考》看十八世紀的知識形成」12月5日～6日、台湾中央研究院文哲研究所で開催された「創新與創造：明清知識建構與文化交流」國際學術研討會(Innovation and Creativity: An International Conference on the Construction of Knowledge and Cultural Exchanges in Ming-Qing Times)
⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)『古逸叢書』の編纂・出版およびそのテキストの研究」(研究代表者)

科学研究費補助金 基盤研究(A)「宮内庁書陵部収蔵漢籍の伝来に関する再検討ーデジタルアーカイブの構築を目指してー」(研究分担者)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授

社会貢献 日本中国学会・中国社会と文化学会の学会活動

氏名 古 瀬 蔵

職 名 教授

専門分野 自然言語処理

研究内容 日本文学研究支援のための情報アクセスに関する研究

研究実績 ②人文科学データベースからの人名一覧表示システムの構築(情報処理学会・人文科学とコンピュータ研究会 vol.2014-CH-103)

④国文学研究資料館のデータベース(京都大学地域研・人文研共同研究班シンポジウム 2月27日)

⑤科学研究費補助金 基盤研究(B)「多元知識の活用による日本文学情報ナビゲーションの研究」(研究代表者)

科学研究費補助金 基盤研究(A)「和漢古典学のオントロジモデルの高次・具現化」(研究分担者)

科学研究費補助金 基盤研究(A)「歴史知識情報のオープンデータ化にむけたスキームと情報利活用手法の再構築」(研究分担者)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授・同教育研究委員会委員長

社会貢献 情報処理学会 人文科学とコンピュータ研究会運営委員

科学技術動向研究センター専門調査員

氏名 山 下 則 子

職 名 教授

専門分野 日本近世文学・近世芸能・浮世絵。

研究内容 在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究。四世鶴屋南北の作劇法と出版文化との関わりの研究。

研究実績 ②『『絵本松のしらべ』の素材をめぐってー絵入り本の書誌・出版・解釈の総合的研究ー』、文芸研究126号日本文学専攻特集号、pp.12(203~214)(査読付き、明治大学文学部『文芸研究』編集、3月26日発行)

「浮世絵を研究するためにー役者見立絵の考証を中心にー」、総合研究大学院大学文化科学研究科学術交流フォーラム2014予稿集、pp.2(40~41)(12月19日発行)

③国文学研究資料館「通常展示 書物で見る日本文学史」の特設コーナー「百人一首の広がりーカルタと浮世絵ー」(12月~1月)での浮世絵『小倉擬百人一首』6枚の解説

④パネル発表「浮世絵を研究するためにー役者見立絵の考証を中心にー」、総合研究大学院大学文化科学研究科学術交流フォーラム2014、(12月20日、於 国立民族学博物館)

講演「江戸の〈表現様式〉－豊かな遊び心－」、(こしがや市民大学講座) 於 越谷市中央市民会館 (1月31日)

学術発表「草双紙・浮世絵に見る〈観相〉－黄表紙『裡家算見通座敷』を中心に－」(総合研究大学院大学学融合研究事業・戦略的共同研究公開セミナー)(2月16日) 於 国文学研究資料館大会議室

講演「日本の古典の魅力」(兵庫県立兵庫高校東京みらいフロンティアツアー)(8月4日) 於 統計数理研究所会議室

⑤科学研究費補助金 基盤研究(B)「在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究」(研究代表者)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授・同専攻長
中央大学文学部非常勤講師

社会貢献 日本近世文学会
歌舞伎学会運営委員
芸能史研究会
全国大学国語国文学会
和漢比較文学会
演劇研究会
その他 ○メディアによる成果公表・新聞報道

5月24日 読売新聞(夕刊)「文化ときめき」欄「江戸文化 豊かな遊び心－地口・縮景など 表現様式の論考出版－」

6月15日 毎日新聞(朝刊)「今週の本棚」欄「渡辺保 評『図説 江戸の「表現」－浮世絵・文学・芸能－』判じ絵、和歌・俳句に見る文化の体系」

氏名 渡 辺 浩 一

職 名 教授

専門分野 歴史学およびアーカイブズ学

研究内容 近世都市災害、アーカイブズ史

研究実績 ①単著『日本近世都市の文書と記憶』(勉誠出版、10月、396頁)、共編著『契約と紛争の比較史料学－中近世における社会秩序と文書』(吉川弘文館、12月、371頁)
③研究紹介「江戸時代における避難所での出産」(『Newsletter高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索』No.3、12月)
④報告「近世日本地方都市の記憶にみる自己・家・社会集団」(国際シンポジウム「近世都市における個人と集団の記憶」、9月28日、国文学研究資料館)
⑤人間文化研究機構連携研究「9-19世紀文書資料の多元的複眼的比較研究」(2010-2014年度、代表者)、総合地球環境学研究所プロジェクト「高分解能古気候学と歴史・考古学の連携による気候変動に強い社会システムの探索」(2014-2017年度、分担者)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻教授
法政大学大学院人文科学研究科兼任講師(非常勤)

中央大学文学部兼任講師（非常勤）

東京大学大学院人文社会系研究科教授（兼任）

社会貢献 日本学術振興会科学研究費委員会専門委員 海外学術調査審査委員

氏名 相 田 満

職 名 准教授

専門分野 和漢比較文学・説話文学・人文情報学

研究内容 観相資料の日本的受容の研究・『蒙求』ほか幼学書と注釈書の受容・六国史

研究実績 ①共著『『茶譜』巻七 注釈』（3月21日発行、大東文化大学東洋研究所）、pp.1-360（360）

②古事類苑編纂室本『可海抄』推定稿（3月発行、『科学研究費補助金 基盤研究（A）「日本古典籍における【表記情報学】の基礎構築に関する研究」』、国文学研究資料館）、pp.13-37（25）

日本の借字文化について一文字を供養する、『書論Cache 書道美術新聞《別冊》千書万香』[『東洋研究』191掲載論文が再編集されたもの]（3月10日発行、萱原書房）、pp.12-20（9）

供養観を通して見た日本の自然観の比較的研究（2月27日発行、『人間文化研究機構 連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」最終年度成果報告書』G2-2 生き物供養から見る自然観の変遷）pp.264-282（19）

日本における幼学書の享受の視点から見た『蒙求』—故事の受容基準をめぐる考察—、『東洋研究』第195号（1月25日発行、大東文化大学東洋研究所）、pp.1-21（21）
騎馬武者像再考—足利尊氏像主説を西川祐信『絵本武者備考』と観相の視点から考える—、『説話』第12号（10月発行、説話研究会）

鎮魂の東歌—地震と六国史・統一、『2014年中国文化大学日本語文学系国際学術検討会—〈学際性複合領域研究〉之日語教育学—論文集』（5月10日発行、台湾：中国文化大学）

③展示室特設コーナー、観相から見る日本文学史、（1月21日～3月中旬、於：国文学研究資料館）

観相学が切り開く学際研究、『学融合推進センターNews Letter』17、（8月発行、総合研究大学院大学）

総合研究大学院大学学融合研究事業・戦略的共同研究・公開セミナー「観相（人相見）資料の学際的研究」

代表：相田満、発表者：安保博史・王晓瑞・三田明弘・山下則子・屋代（高野）純子・山田奨治（2月16日、於：国文学研究資料館）

④パネルディスカッション 観相資料の学際的研究（12月20日、総合研究大学院大学文化科学研究科学術フォーラム、於：国立民族学博物館）（口頭発表）観相資料の学際的研究（12月20日、総合研究大学院大学文化科学研究科学術フォーラム、於：国立民族学博物館）（1月16日、総合研究大学院大学学融合研究センター共同研究報告会、於：総合研究大学院大学）（ポスター発表）

メディアと文学研究《クール・ジャパン・クール・タカラヅカーメディアと出店

研究の可能性》(10月26日、大東文化大学大学院 第6回「東西文化の融合」国際シンポジウム、於：大東会館)(講演)

Database compilation and the analysis of the phrenology document, PNC 2014 Annual Conference and Joint Meeting, At: National Place Museum, Taipei, Taiwan, In : October 11, 2014 (口頭発表)

夏目漱石と『蒙求』(9月21日、和漢比較文学学会大会、於：群馬県立女子大学)(口頭発表)

日本における幼学書の享受の視点から見た『蒙求』、(8月30日、和漢比較文学学会第7回特別例会和漢比較シンポジウム2014、於：台湾大学)(口頭発表)

鎮魂の東歌ー地震と六国史・統一(5月10日、2014年中国文化大学日本語文学系国際学術検討会ー〈学際性複合領域研究〉之日語教育学ー、於：台北・中国文化大学)(口頭発表)

⑤代表、観相資料の学際的研究、平成24～26年度・総合研究大学院大学・学融合研究事業戦略的共同研究Ⅰ

代表(研究班)、2-1「自然観。自然思想の系譜と現代性」C型 テーマ「生き物供養から見る自然観の変遷」、平成22～26年度・人間文化研究機構連携研究「アジアにおける自然と文化の重層的関係の歴史的解明」

代表、和漢古典学のオントロジモデルの高次・具現化、平成23年度～平成27年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)

分担、平成22～26年度科学研究費補助金 基盤研究(A)「日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究」

分担、平成24年度～27年度科学研究費補助金 基盤研究(B)、多元知識の活用による日本文学情報ナビゲーションの研究

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授

大東文化大学(非常勤)

大東文化大学東洋研究所兼任研究員

社会貢献 情報知識学会編集委員・名誉会員

総合研究大学院大学学融合研究事業・戦略的共同研究・公開セミナー開催「観相(人相見)資料の学際的研究」(2月16日、於：国文学研究資料館)

無窮会幹事

情報規格調査会・情報処理学会 学会試行標準/WG 2文字図形識別情報 小委員会委員

和漢比較文学学会常任理事・特別研究例会委員長・文献目録委員委員長

東洋学・アジア研究連絡協議会幹事(和漢比較文学学会)

氏名 青 木 陸

職 名 准教授

専門分野 史料管理学

研究内容 史料保存に関する研究

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授

学習院大学非常勤講師
 法政大学大学院文学研究科兼任講師（非常勤）
 千葉大学非常勤講師
 明星大学非常勤講師

氏名 青 田 寿 美

職 名 准教授
 専門分野 日本文学
 研究内容 日本近代文学、特に明治大正期の評論・小説の研究
 研究実績 ②『『鴎外全集』第二十二巻 評論・随筆索引（人名篇）稿』、『森鴎外と美術』（鴎外研究会編、7月28日発行、双文社出版）
 ③「蔵書印の愉しみ」（平成26年度常設展示・特設コーナーリーフレット、6月）
 ⑤科学研究費補助金（研究成果公開促進費）「明治前期出版広告データベース」（研究代表者）
 科学研究費補助金 基盤研究(B)「多元知識の活用による日本文学情報ナビゲーションの研究」（研究分担者）
 教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授

氏名 入 口 敦 志

職 名 准教授
 専門分野 近世文学
 研究内容 近世前期の学芸に関する研究
 研究実績 ①共著『仮名草子集成』第52巻（9月刊、東京堂出版）
 共著『仮名草子集成』第53巻（3月刊、東京堂出版）
 ②論文「日光東照宮正面唐門彫刻小考」『大日光』84号（6月刊、日光東照宮）
 ③紹介「山鹿積徳堂文庫」『国文研ニュース』36号（8月）
 紹介「第6回日韓古典籍研究交流会」『国文研ニュース』37号（11月）
 展評「展評 五次原州古版画文化祭」『韓国朝鮮の文化と社会』13号（10月）
 紹介「国文学研究資料館の収蔵品⑪『画本虫撰』」『文部科学教育通信』357号（2月）
 紹介「国文学研究資料館の収蔵品⑫山鹿家文庫」『文部科学教育通信』358号（2月）
 ④発表「摩耶夫人の夢－夢の形象－」（国際シンポジウム 韓・中・日古版画国際学術大会 於：韓国古版画博物館（原州、韓国）、5月24日）
 講演「『帝鑑図説』について」（連続講座「東アジア書誌学への招待」於：学習院大学、3月9日）
 ⑤科学研究費補助金 基幹研究(B)「東アジア（日・中・韓）の絵入り刊本成立と展開に関する総合研究」（研究代表者）
 教育活動 成城大学非常勤講師
 一橋大学非常勤講師
 社会貢献 日本近世文学会常任委員

氏名 海 野 圭 介

職 名 准教授

専門分野 日本文学

研究内容 中世文学、和歌文学

- 研究実績 ②「方丈記の装丁とジャンル意識－前田育徳会尊経閣文庫蔵『方丈記』をめぐって」
(荒木浩編『中世の随筆－成立・展開と文体』, 竹林舎, 2014, pp.189-206)
- ③「群馬県立土屋文明記念文学館蔵伝世尊寺定成筆『新古今和歌集』・伝東常縁筆『古今和歌集』解題」(群馬県立土屋文明記念文学館紀要「風」第17号, 2014, pp.1-22)
「洛中洛外図屏風(歴博甲本)に貼られた付箋の書」(国立歴史民俗博物館研究報告第180号, 2014, pp.65-77 中村健太郎氏(帝京大学短期大学)と共著)
- ④「金剛寺蔵『宝篋印陀羅尼經』と院政期の金剛寺」(日本金剛寺仏教典籍調査研究成果報告国際学術検討会「仏教と文学 中日学術検討会」, 10月25日, 中国人民大学(北京)
「漢字, かな, font: 江戸時代の表記と書体」(シンポジウム「漢字と仮名の表記情報学」, University of British Columbia, Vancouver, Canada, 9.26
“Recounting the Procedures of Buddhist Assemblies: On the Hitomaro Kōshiki, Waka Kanjō, and the Secret Transmission of the Kokinwakashū,” The 14th EAJS International Conference of EAJS, Ljubljana University, Ljubljana, Slovenia, 8.29)
- ⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「黒川家旧蔵資料の書誌的調査に基づく古典学の形成と知識流通に関する調査研究」(研究代表者)
科学研究費補助金 基盤研究(C)「久世家文書の目録作成と総合的研究」研究分担者
科学研究費補助金 基盤研究(B)「金剛寺所蔵典籍の集約的調査と研究－聖教の形成と伝播把握を基軸として」(研究分担者)
科学研究費補助金基盤研究(A)「日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究」(研究分担者)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授

立教大学大学院非常勤講師

実践女子大学非常勤講師

ノートルダム清心女子大学大学院非常勤講師

社会貢献 和歌文学会常任委員

中世文学会委員

氏名 太 田 尚 宏

職 名 准教授

専門分野 日本近世史 歴史アーカイブズ

研究内容 近世森林政策史の研究 幕府・諸藩における記録史料管理の研究

- 研究実績 ①共著『森林の江戸学Ⅱ』(東京堂出版、2015年2月、172-184・186-196頁)
②「尾張藩徳川家における文書の伝来と管理」(国文学研究資料館編『幕藩政アーカ

イブズの研究』(思文閣出版、2015年2月、155-181頁)

- ③『『居候地頭』と知行所村々』(『国文研ニュース』第37号、2014年11月、4-5頁)
「シンポジウム『多摩地域の博物館・資料館・美術館における防災と地域連携』
によせて」(『国文研ニュース』第37号、2014年11月、12頁)

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授
駒澤大学非常勤講師

社会貢献 地方史研究協議会常任委員
関東近世史研究会評議員
日本歴史協会史料保存利用特別委員会委員

氏名 小 山 順 子

職 名 准教授

専門分野 日本文学

研究内容 中世韻文学の研究

- 研究実績 ①共著『和歌のルール』(11月、笠間書院)
単著、総合研究大学院大学日本文学研究専攻特別講義第29号『本歌取り成立前史』
(3月)
②「藤原良経「吉野山花のふる里」考」(『日本文学とその周辺』9月、龍谷大学仏
教文化研究所、177-206頁)
『『文明十六年二月和漢千句』考一付、第五百韻・三つ物翻刻一』(『京都大学国
文学論叢』第32号、9月、23-38頁)
「後土御門天皇の和漢聯句御会懷紙考」(『国語国文』第83巻第12号、12月、24-42頁)
③「『時失へる』の持つ重み」(『和歌文学大系 月報』40号、5月、明治書院、3-6
頁)
『和歌文学大辞典』(平成26年12月、古典ライブラリー)の46項目(敦有・一句百
首・仮名句題倭調抄・兼頭・義俊・竟宴和歌・行幸和歌・経乗・経尋・句題・紅
塵灰集・国籍類書・誠仁親王・三百六十番歌合・四季恋雑景物名所集・重成・七
社百首・拾遺和歌集注・拾撰集抄・述懐歌・守遍・新古今私抄・新古今七十二首
秘歌口訣・新古今集旧註補遺・新古今増抄・新古今和歌集抄・新古今和歌集抄・
新古今和歌集抄出聞書・神仏詠・高濑・竹内僧正家句題歌・忠富王・親俊・親俊
詠草・点取和歌類聚・等類・二十一代集才子伝・日野氏・姫宮私言・法楽和歌・
持通・基富・訳和和歌集・良経家五首歌会・良鎮・類題六家集)
④「室町時代の女流歌人たち」(平成26年度中世文学会秋季大会、10月5日、金沢市
文化ホール)
⑤科学研究費補助金 若手研究(B)「後土御門天皇時代における禁裏文芸の総合的
研究」(研究代表者)
科学研究費補助金 基盤研究(C)『蒙求和歌』に見る漢文学と和文学の融合」研
究分担者
教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授
駒澤大学文学部非常勤講師

社会貢献 和歌文学会委員

氏名 齋 藤 真麻理

職 名 准教授

専門分野 日本文学

研究内容 中世文学、特に室町の学芸に関する研究

研究実績 ①単著『異類の歌合 室町の機智と学芸』（吉川弘文館、4月）

③総説・解説・評論等 「室町の学芸と絵画 鶉の九助のこと」（『国文研ニュース』37、10月）

⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「中・近世日本における中国明代日用類書の変成－異類・異界表現を中心に－」（研究代表者）

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授

お茶の水女子大学非常勤講師

社会貢献 東洋文庫研究員

氏名 西 村 慎太郎

職 名 准教授

専門分野 歴史学（日本近世史）・歴史資料保全学

研究内容 近世天皇・身分・家職、民間所在資料の保全

研究実績 ①『史料目録 第101集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録』（その8）、国文学研究資料館調査収集事業部、3月

②「近世公家家職の展開と内侍所神楽」、『歴史評論』771号、6月

「近世天皇をめぐる研究動向と課題」、『人民の歴史学』200号、6月

「真砂町遺跡第10地点文献資料に見る当調査区の様相」、『真砂町遺跡第10地点』、サンヨーホームズ、7月

「南伊豆に伝わる武道秘伝書」、『南伊豆を知ろう会』vol.1、11月

「民間所在資料保全の過去・現在・未来」、木部暢子編『災害に学ぶ 文化資源の保全と再生』、勉誠出版、3月

「民間における歴史資料の保全活動の実践と課題－南伊豆を事例に－」、『歴史教育の地域的拠点形成を目指した教材・教授資料の開発と高大連携の推進』、静岡大学人文社会科学部 社会学科歴史学コース、3月

「龍岡町遺跡第7地点文献資料に見る当調査区の様相」、『龍岡町遺跡第7地点』、三菱地所レジデンス、3月

③〔解説〕「東京都杉並区蒲生家文書保存・調査活動」（NPO法人歴史資料継承機構 NEWS LETTER『じゃんぴん』vol.16、4月）

〔解説〕「民間所在資料の保存・調査活動後のカビに対する対応」（NPO法人歴史資料継承機構 NEWS LETTER『じゃんぴん』vol.17、8月）

〔解説〕「杉並区蒲生家文書における概要調査について」（NPO法人歴史資料継承機構 NEWS LETTER『じゃんぴん』vol.18、2月）

〔解説〕「南アルプス市横小路靖家文書調査報告」（『甲州史料調査会桃太郎』vol.41、8月）

〔解説〕「第七次笛吹市鈴木不二弥家文書調査報告」（『甲州史料調査会桃太郎』vol.41、8月）

〔コラム〕「鶴をさばく」（古典籍共同研究事業センターニュース『ふみ』第2号、11月）

〔史料紹介〕「甲州青柳村七兵衛の一生」（『文部科学教育通信』No.359、3月）

〔史料紹介〕「ある公家の姫君の一生」（『文部科学教育通信』No.360、3月）

④「佐橋家文書と歴史資料の継承」（5月17日、NPO法人歴史資料継承機構成果報告会『佐橋冠左の数寄の世界』）

「民間における歴史資料の保全活動の実践と課題－南伊豆を事例に－」（8月7日、静岡歴史教育研究会）

「民間所在資料保全の過去・現在・未来」（10月30日、三多摩公立博物館協議会・国文学研究資料館シンポジウム『多摩地域の博物館・資料館・美術館における防災と地域連携』）

「江戸時代の庖丁人－天皇・将軍・大名の料理－」（11月5日、かねさは歴史の会）

「鶴庖丁と公家社会」（11月9日、すみだ郷土文化資料館）

「歴史と文化が失われる日－歴史資料の散逸、奥多摩・小河内－」（11月17日、西多摩市民講座）

「地域歴史資料保全の現状と課題」（11月20日、長野県史料保存活用講習会）

「真田家の食卓と料理人」（12月13日、科研費「藩政文書の記録管理システムに関する基礎的研究」シンポジウム『松代藩真田家の歴史とアーカイブズ』）

「地域に残る歴史資料の保存と活用」（3月14日、立科町教育委員会講演会）

「民間所在資料の課題と情報化」（3月28日、人間文化研究情報共有化研究会『人文科学における災害情報の共有化』）

⑤人間文化研究機構連携研究「大震災後における文書資料の保全と活用に関する研究」（代表者）

科学研究費補助金 研究成果公開促進費（データベース）「収蔵歴史アーカイブズデータベース」（グループ代表者）

科学研究費補助金基盤研究(B)「藩政文書の記録管理システムに関する基盤的研究」（研究分担者）

科学研究費補助金基盤研究(C)「近世天皇・朝廷研究の基盤形成」（研究分担者）

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授

学習院大学非常勤講師（史料管理学特殊講義・日本史特殊研究（大学院））

社会貢献 東京歴史科学協議会委員

NPO法人歴史資料継承機構代表理事

青梅法人会西部支部幹事

甲州史料調査会事務局

杉並区永福古文書クラブ講師

氏名 野 本 忠 司

職 名 准教授

専門分野 情報科学、言語工学

研究内容 国文学研究における情報利用の高度化に関する研究

研究実績 ⑤科学研究費補助金 基盤研究(A)「海外における源氏物語を中心とした平安文学及び各国語翻訳に関する総合的調査研究」研究分担者
科学研究費補助金 基盤研究(A)「和漢古典学のオントロジモデルの高次・具現化」研究分担者
科学研究費補助金 基盤研究(A)「日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究」研究分担者

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授

社会貢献 言語処理学会代議員
情報処理学会代表会員

氏名 山 田 哲 好

職 名 准教授

専門分野 アーカイブズ学

研究内容 近世史料学、記録資料の電子化に関する研究

研究実績 ①単著『特別講義 第30号 最後の文書整理と目録編成－佐渡国加茂郡原黒村（現・佐渡市）鶴飼家文書－』（3月31日発行、総合研究大学院大学文化学研究科日本文学専攻）
④「最後の文書整理と目録編成－佐渡国加茂郡原黒村（現・佐渡市）鶴飼家文書－」（2014年度第2回特別講義、1月7日、総合研究大学院大学文化学研究科日本文学専攻）

教育活動 総合研究大学院大学日本文学研究専攻准教授
中央大学文学部兼任講師（非常勤）

氏名 江 戸 英 雄

職 名 助教

専門分野 国文学

研究内容 中古文学、特に物語文学の研究

研究実績 ②「紫の上と光源氏－『源氏物語』「若菜上下」の巻より」国文学研究資料館紀要文学研究篇 第41号、pp.79-109、3月

氏名 加 藤 聖 文

職 名 助教

専門分野 日本近現代史・東アジア国際関係史・記録史料学

研究内容 近代以降の東アジアと日本との関係

研究実績 ②「市民社会における「個人情報」保護のあり方ー公開の理念とアーキビストの役割」、国文学研究資料館紀要アーカイブズ研究篇No.11、pp.1-14、3月

③「《コラム》世界のアーカイブズをめぐって」、国文研ニュース No.36 pp.4-5、8月

④「満洲国崩壊と満蒙開拓団ー「悲劇」をめぐる加害と被害」、日本人引揚者の記憶のダイナミズムと植民地・帝国意識（高麗大学校亜細亞問題研究所）、11月21日
「大日本帝国の崩壊と東アジア国際秩序の変容」、Breakdown of Japanese Empire、Cambridge University、9月21日

⑤科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「第二次世界大戦期における中立国外交文書のアーカイブズ学的研究」研究代表者

科学研究費補助金 基盤研究(B)「ソ連軍接收関東軍文書に関する日露共同研究」研究代表者

科学研究費補助金 基盤研究(A)「国際コンソーシアムによる「原爆放射線被害デジタルアーカイブズ」の構築に関する研究」研究分担者

教育活動 学習院大学非常勤講師

中央大学文学部兼任講師（非常勤）

社会貢献 日本国際政治学会 日本外交史分科会責任者

氏名 恋 田 知 子

職 名 助教

専門分野 日本文学

研究内容 室町期を中心とした物語・説話・芸能、および寺院資料の研究

研究実績 ①荒木浩編『中世の随筆ー成立・展開と文体』竹林舎、8月、共著、うち「仮名法語の享受と文芸ー大阪市立美術館蔵『はいかひ』絵巻をめぐってー」（435～455頁）執筆

②「陽明文庫蔵「道書類」の紹介（十五）『〔臨終用意事〕』翻刻・略解題」（『三田國文』59号、1月、96～99頁）

「物語草子研究の現在ー在米絵入り本の調査・研究に携わって」（『國文學論輯』36号、3月、7～22頁）

④発表「骸骨の物語草子ー鶴満寺蔵『幻中草打画』をめぐってー」、伝承文学研究会平成26年度大会、9月6日、於 青山学院大学

講演「物語草子研究の現在ー在米絵入り本の調査・研究に携わって」、国士舘大学国文学会大会、10月30日、於 国士舘大学

発表「尼と物語草子」、人類文化遺産テキスト学研究センター国際研究集会「東アジアの宗教儀礼ー信仰と宗教の往還」招待発表、12月14日、於 名古屋大学

講演「女性の熊野詣－『熊野詣日記』を中心に」、熊野三山協議会主催「熊野三山
歴史講座」、2月26日、於 新宮商工会議所2階大ホール

- ⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「尼寺の文芸文化と物語草子・仮名法語におけ
る相互連関の研究」(研究代表者)

教育活動 学習院女子大学非常勤講師

学習院大学非常勤講師

氏名 野 網 摩利子

職 名 助教

専門分野 日本近代文学

研究内容 夏目漱石研究、文学理論、日本近代における東西の文化・思想の受容

研究実績 ①監修『世界の伝記 夏目漱石』(共著 文月鉄郎漫画) ポプラ社、12月

- ②「漢語「行人」－詩から小説へ」『HUMAN』第7号、平凡社、12月

『『明暗』－Picturesque Light and Shade』『国文学研究資料館紀要 文学研究篇』
第41号、3月

- ③夏目漱石直筆新発見資料鑑定・翻刻・コメント「明治29年猪飼氏宛書簡・俳句 短
冊俳句二句、明治32年猪飼氏宛年賀状」、『朝日新聞』大阪本社版朝刊、東京本社
版朝刊他、6月10日、その他の全国紙および地方紙6月11日

「俳句の世界に心遊ばせた夏目漱石」、『図書館教育ニュース』第1345号付録 少
年写真新聞、8月8日

監修「俳人としての夏目漱石」『図書館教育ニュース』第1345号、少年写真新聞、
8月8日

夏目漱石直筆新発見資料「明治30年8月23日付正岡子規宛書簡・俳句9句」鑑定・
コメント、『朝日新聞』東京本社版朝刊、大阪本社版朝刊、8月13日

夏目漱石直筆新発見資料「明治30年8月23日付正岡子規宛書簡・俳句9句」翻刻、
『朝日デジタル』8月13日

夏目漱石資料「大正3年11月27日付松根東洋城宛書簡」記事協力『朝日新聞』東
京本社版、9月24日

解題『リプリント日本近代文学245 自暴自棄 広津柳浪著』(前編)、国文学研究
資料館発行、平凡社発売、3月

解題『リプリント日本近代文学246 自暴自棄 広津柳浪著』(後編)、国文学研究
資料館発行、平凡社発売、3月

解題『リプリント日本近代文学260 女子参政 蜆中楼 広津柳浪著』、国文学研
究資料館発行、平凡社発売、3月

- ④第34回国文研フォーラム「『明暗』のなかの〈明・清〉」、於国文学研究資料館、12
月17日

「明治人の教養－夏目漱石『明暗』から The Cultivation of Meiji-era Japanese: an
Analysis of Natsume Sōseki's Meian」Japanese Studies, Faculty of Asian and Middle
Eastern Studies, University of Cambridge, UK, 2 March 2015

- ⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「夏目漱石によるイギリス受容－小説理論の構

築の一環として」(研究代表者)

教育活動 ケンブリッジ大学 (Faculty of Asian and Middle Eastern Studies, University of Cambridge)、訪問学者 (Academic Visitor)

東京女子大学現代教養学部人文学科日本文学専攻非常勤講師

東京工業大学文系科目非常勤講師

氏名 石 澤 一 志

職 名 特任助教

専門分野 日本中世文学

研究内容 中世和歌 書誌学 文献学 古筆

研究実績 ①共著『和歌文学大系64 為家卿集/瓊玉和歌集/伏見院御集』、明治書院、5月

単著『風雅和歌集 校本と研究』勉誠出版、2月

単著「九条家旧蔵本の行方ー池田利夫「祖型本『浜松中納言物語』の写し手は誰」続々貂ー」『これからの国文学のために』(佐藤道生、中川博夫、高田信敬編) 笠間書院、10月

③「伝海北友雪筆『東北院職人歌合絵巻』修復完成お披露目」目白大学図書館、3月

④「目白大学図書館蔵 伝海北友雪筆『東北院職人歌合』の系譜」目白大学図書館主催、第3回ミニ展示関連講演会

⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「中近世期における九条家蔵書の形成と流伝に関する研究」(研究代表者)

教育活動 神奈川県立小田原高校同窓会史料委員

鶴見大学非常勤講師・目白大学非常勤講師

社会貢献 和歌文学会委員 例会委員

氏名 丸 島 和 洋

職 名 特任助教

専門分野 日本中近世史、古文書学、アーカイブズ学、記録史料データベース構築論

研究内容 中近世移行期大名権力論

研究実績 ①編著『【論集戦国大名と国衆14】真田氏一門と家臣』(岩田書院、4月)

②「総論 真田氏家臣団の基礎研究」(丸島和洋編『【論集戦国大名と国衆14】真田氏一門と家臣』岩田書院、4月)

「戦国大名武田氏の西上野支配と箕輪城代ー内藤昌月宛「在城定書」の検討を中心にー」(『地方史研究』369号、6月)

「戦国大名武田氏の佐久郡支配ー内山城代小山田虎満・昌成を中心にー」(『信濃』66巻12号、12月)

③「史料紹介『下河田検地帳』二点(下)ー真田信幸の沼田領文禄検地ー」(『信濃』66巻4号、4月)

共著「新出の武田信繁宛信玄自筆書状について」(『武田氏研究』50号、6月)

『戦国遺文武田氏編』補遺(その2)」(『武田氏研究』50号、6月)

「高野山子院と東国大名」(『高野文化圏研究会報告書』2014年度、3月)

「北条・徳川間外交の意思伝達構造」(『国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇』11号、3月)

④「「軍師」黒田官兵衛の実像」(栄区テレビセミナー講演、4月16日)

「小山田信茂の虚像と実像」(都留市郷土研究会講演、5月18日)

「日本の歴史の学び方～日本中世史研究の最前線～」(吉祥女子中学校講演、6月28日)

「高野山子院と東国大名」(高野文化圏研究会シンポジウム「高野山を支えた人々ー石塔を建立した戦国大名ー」、於高野山大学、9月4日)

「武田氏から見た今川氏の外交」(静岡県地域史研究会シンポジウム「今川氏研究の最前線part3」、於静岡商工会議所会館、9月23日)

「高野山子院の東国への教線拡大と檀那場争い」(国文研フォーラム、於国文学研究資料館オリエンテーション室、1月21日)

⑤科学研究費補助金 若手研究(B)「古代～近世初期筆写史料の情報資源化の研究ー小杉楹邨『徴古雑抄』を対象としてー」(研究代表者)

社会貢献 日本古文書学会編集委員幹事
戦国史研究会事務局長
武田氏研究会編集委員

氏名 大 野 順 子

職 名 機関研究員

専門分野 国文学

研究内容 中世前期和歌の表現形成と展開について

研究実績 ④『拾遺愚草』無常の部について(和歌文学会例会、1月)

教育活動 都留文科大学兼任講師、明治大学兼任講師、早稲田大学非常勤講師

氏名 谷 川 ゆ き

職 名 機関研究員

専門分野 日本絵画史

研究内容 室町時代における土佐派のお伽草子絵巻制作

研究実績 ③英文和訳：シルヴァン・バーネット「アメリカ人の思うこと、日本仏教美術」(Sylvan Barnet, "American thoughts, Japanese Buddhist Art")、『仏教美術のよろこび』、ロンドンギャラリー株式会社、11月

教育活動 京都造形芸術大学非常勤講師、明治学院大学非常勤講師、早稲田大学非常勤講師

氏名 種 村 威 史

職 名 機関研究員
 専門分野 日本近世史、アーカイブズ学
 研究内容 近世政治史、幕府・藩の記録管理
 研究実績 ①『調布市指定有形文化財（歴史史料）野口平一家資料目録』（調布市教育委員会郷土博物館編・発行）
 ③「近世人の文書に対する認識と身分制」（『書物学』No.2、勉誠出版、4月）
 ④春日部市歴史文化講演会「朱印状から見る徳川将軍と寺社」（2月22日、於春日部市教育センター）
 教育活動 國學院大学兼任講師
 社会貢献 株式会社NHK文化センターさいたまアリーナ支社 講師
 調布市文化財保護審議委員（臨時）
 小金井市史編さん委員会調査員

氏名 野 呂 香

職 名 機関研究員
 専門分野 国文学
 研究内容 古代和歌研究
 研究実績 ③『和歌文学大辞典』（古典ライブラリー、12月）
 ※上代・中古の歌人について9項目を執筆

氏名 高 科 真 紀

職 名 機関研究員
 専門分野 文化財保存科学・博物館資料保存論
 研究内容 資料保存・展示環境に関する研究
 研究実績 ②「和書の展示技法と保存環境制御の実践ー「和書のさまざま」展を素材としてー」
 国文学研究資料館紀要 文学研究篇 第41号, pp.111-134
 ④青木睦、高科真紀、加藤歩樹「展示室における保存環境モニタリング解析」、文化財保存修復学会第36回大会

氏名 田 中 祐 介

職 名 機関研究員
 専門分野 日本近代文学・近代思想
 研究内容 近代日本の教養主義・日記を中心とする書記文化
 研究実績 ③〔翻訳論文〕M. ウィリアム・スティール「文明開化とパロディ 万亭応賀の『活論学門雀』」（ツベタナ・クリステワ編『パロディと日本文化』笠間書院、12月、418-439頁）

「日記資料群からみる青年知識層の自己形成」(『月刊ニューズレター 現代の大学問題を視野に入れた教育史研究を求めて』創刊号、1月、25-29頁)

「戦時下の少女の日記と教員の叱責(1)」(『月刊ニューズレター 現代の大学問題を視野に入れた教育史研究を求めて』第2号、2月、28-33頁)

、 「戦時下の少女の日記と教員の叱責(2)」(『月刊ニューズレター 現代の大学問題を視野に入れた教育史研究を求めて』第3号、3月、33-37頁)

④「庶民の日記からみる近代日本」(「女性の日記から学ぶ会」例会、於八千代市男女共同参画センター講習室、7月9日)

「手書きの日記史料群は研究をいかに補い、掘り下げ、相対化するかー国際基督教大学アジア文化研究所蔵『近代日本の日記帳コレクション』を中心にー」(「近代日本の日記文化と自己表象」第1回研究会、国文学研究資料館第一会議室、9月20日)

⑤科学研究費補助金 若手研究(B)「未活字化の日記資料群からみる近代日本の青年知識層における自己形成の研究」(研究代表者)

教育活動 明治学院大学非常勤講師
女子栄養大学非常勤講師

氏名 山 本 和 明

職 名 古典籍共同研究事業センター特任教授

専門分野 近世・近代文学

研究内容 19世紀文学の研究

研究実績 ①共著『円朝全集』第11巻(11月27日発行、岩波書店)、「雨後の残月」「応文一雅の伝」担当

共著『円朝全集』第12巻(2月26日発行、岩波書店)、「奴勝山」担当

②「改刻の在処ー魯文『成田山御利生記』諸本考ー」、『国文学研究資料館紀要』第41号文学研究篇、3月13日発行、pp.31-50

④基調講演：日本語の歴史的典籍画像データベース構築計画について(日本研究の新たな地平へ、於大阪大学、2月18日)

社会貢献 日本近世文学会委員、日本文学協会委員

氏名 中 村 康 夫

職 名 古典籍共同研究事業センター特任教授

専門分野 国文学

研究内容 中古物語の研究、特に歴史物語に関する研究

研究実績 ①[監修]『和書のさまざま』(3月25日発行、和泉書院)

社会貢献 中古文学会

和歌文学会

関西平安文学会

氏名 北 村 啓 子

- 職 名 古典籍共同研究事業センター准教授
- 専門分野 情報システム学・ソフトウェア工学
- 研究内容 古資料を対象にした研究情報DB、特に画像DBの構築からサービスまでのシステムの研究。デジタル展示、およびユビキタスユーザ環境におけるインターフェースと開発技術の研究。デジタルライブラリシステムの開発技術・利用技術の研究。
- 研究実績 ②国文学研究資料館において作成してきたデジタル展示プログラミングの労なく作成するために、国文学研究資料館紀要，Vol.41，pp.7-32
- ③研究ノート 常設展示『新和書のさまざま』のモバイルガイドシステムの紹介、
「国文研ニュース」No. 35 5月
デジタル展示作品 通常展示『書物で見る 日本古典文学史』
- ⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)「拡張現実技術を利用しデジタル展示と展示原本とを連続的に融合するための基礎技術開発」(研究代表者)
- 社会貢献 電子図書館プロジェクトの技術支援

氏名 金 田 房 子

- 職 名 古典籍共同研究事業センター特任准教授
- 専門分野 日本近世文学
- 研究内容 芭蕉作品の解釈・地方俳諧宗匠の活動・在外俳諧資料
- 研究実績 ①共編：『新芭蕉俳句大成』（10月12日発行、明治書院）編集委員・項目執筆
共著：鈴木健一編『天空の文学史 太陽・月・星』（10月20日発行、三弥井書店）
「芭蕉「あらたうと青葉若葉の日の光」」pp.238-256
共著：人間文化研究機構国文学研究資料館編『シーボルト日本書籍コレクション
現存書目録と研究』（12月25日発行、勉誠出版）「シーボルトの持ち帰った俳書—
『八重山吹』の入手経路と安永三年刊『俳諧七部集』」pp.522-535
- ②「「葉越し」考—芭蕉句における用例について—」、『俳文学報』48号（11月4日発行、大阪俳文学研究会）pp.9-18
- ③「平成24年 国語国文学会の動向 近世韻文・国学」、『文学・語学』第210号（8月31日発行、全国大学国語国文学会）pp.66-69
「〈書評〉加藤定彦『関東俳壇史叢稿—庶民文芸のネットワーク』、『国文学研究』第175集（3月15日発行、早稲田大学国文学会）pp.49-52
〈インタビュー〉古典の栞「おくのほそ道」、『清流』12月号（12月1日発行、清流出版株式会社）pp.46-48
『和歌文学大辞典』（古典ライブラリー、12月）の37項目
- ⑤科学研究費補助金 基盤研究(B)「韓国国立中央図書館所蔵日本古典籍の日韓共同研究」（連携研究者）
- 社会貢献 俳文学会委員

氏名 岩 橋 清 美

職 名 古典籍共同研究事業センター特任准教授

専門分野 日本近世史、主として地域史

研究内容 江戸時代における伏見稻荷および荷田春満に関する研究

研究実績 ①「元文期における松茸の増産と稻荷山の管理・利用」（『平成26年度國學院大學特別推進研究 荷田春満の人的ネットワークと学統』、國學院大学、3月）

教育活動 國學院大學非常勤講師・法政大学非常勤講師

氏名 井 黒 佳穂子

職 名 古典籍共同研究事業センター特任助教

専門分野 日本文学

研究内容 中世から近世初期にかけての絵巻・絵入り本に関する研究

研究実績 ①著書『テキストとイメージの交響－物語性の構築をみる－』（3月19日発行、新典社）

社会貢献 国際浮世絵学会編集委員

VI

科学研究費助成事業実績一覧

(単位：円)

研究種目	研究代表者	研究課題名	研究経費
基盤研究 (A)	今西裕一郎	日本古典籍における【表記情報学】の基盤構築に関する研究	8,600,000
	相田 満	和漢古典学のオントロジモデルの高次・具現化	4,900,000
	伊藤 鉄也	海外における源氏物語を中心とした平安文学及び各国語翻訳に関する総合的調査研究	6,400,000
基盤研究 (B)	入口 敦志	東アジア (日・中・韓) の絵入り刊本成立と展開に関する総合研究	2,700,000
	古瀬 蔵	多元知識の活用による日本文学情報ナビゲーションの研究	2,700,000
	大友 一雄	藩政文書の記録管理システムに関する基盤的研究	3,800,000
	加藤 聖文	ソ連軍接收関東軍文書に関する日露共同研究	4,500,000
	大高 洋司	韓国国立中央図書館所蔵日本古典籍の日韓共同研究	3,500,000
	山下 則子	在外絵入り本を中心とする書誌・出版・解釈の総合的研究	2,700,000
基盤研究 (C)	陳 捷	近代日中間の書籍交流の研究——商業活動を中心として	事業期間延長
	石澤 一志	近世前期における九条家蔵書の復元とその文献学的研究	事業期間延長
	神作 研一	近世私家集ならびに私撰集の研究	500,000
	寺島 恒世	歌仙絵の資料調査とその成立及び流布に関する総合的研究	1,000,000
	藤島 綾	本文と絵画を通じて形成された伊勢物語場面理解の研究	600,000
	海野 圭介	黒川家旧蔵資料の書誌的調査に基づく古典学の形成と知識流通に関する調査研究	1,100,000
	恋田 知子	尼寺の文芸文化と物語草子・仮名法語における相互連関の研究	1,100,000
	武井 協三	17世紀歌舞伎の演技・演出—文献資料・絵画資料・民俗資料による総合研究—	720,000
	北村 啓子	拡張現実技術を利用しデジタル展示と展示原本とを連続的に融合するための基礎技術開発	2,300,000
	陳 捷	『古逸叢書』の編纂・出版およびそのテキストの研究	1,300,000
	石澤 一志	中近世期における九条家蔵書の形成と流伝に関する研究	1,400,000
	田中 大士	万葉集仙覚校訂本作成過程の解明に関わる万葉集諸伝本の包括的研究	1,300,000
	小林 健二	『舞の本絵巻』を中心とした幸若舞曲の絵入り本の調査研究	1,100,000
	齋藤真麻理	中・近世日本における中国明代日用類書の変成—異類・異界表現を中心に—	1,000,000
	野網摩利子	夏目漱石によるイギリス受容—小説理論の構築の一環として—	1,200,000
挑戦的萌芽研究	加藤 聖文	第二次世界大戦期における中立国外交文書のアーカイブズ学的研究	900,000
若手研究 (B)	丹羽みさと	福地桜痴を中心とした幕末明治の文芸に関する総合的研究	300,000
	小山 順子	後土御門天皇時代における禁裏文芸の総合的研究	500,000
	丸島 和洋	古代～近世初期筆写史料の情報資源化の研究—小杉楳邨『倣古雑抄』を対象として—	1,200,000
	田中 祐介	未活字化の日記資料群からみる近代日本の青年知識層における自己形成の研究	900,000
特定研究員奨励費	野上 潤一	中世末期・近世初期学問史の基礎的研究—中世後期学問史研究の基盤構築のために—	800,000
	多田 蔵人	日本近代文学における江戸文学受容の研究	1,100,000
学術図書	寺島 恒世	後鳥羽院和歌論	2,500,000
	石澤 一志	風雅和歌集 校本と研究	2,200,000
研究成果データベース	大高 洋司	日本古典籍総合目録	2,000,000
	伊藤 鉄也	日本文学研究論文の総合目録データベース (大正・昭和・平成)	3,100,000
	青田 寿美	明治前期出版広告データベース	2,900,000
	西村慎太郎	収蔵歴史アーカイブズデータベース	5,300,000



刊行物一覧

No.	刊行物名	編集
1	調査研究報告 第35号	国文学研究資料館 調査収集事業部
2	国文学研究資料館年報 平成25年度 (2013)	国文学研究資料館
3	国文学研究資料館紀要 文学研究篇 第41号	国文学研究資料館
4	国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇 第11号 (通巻46号)	国文学研究資料館
5	国文研ニュース No. 35～38	国文学研究資料館 広報出版室
6	国際日本文学研究集会会議録 第38回	国文学研究資料館
7	史料目録 第100集 尾張国名古屋元材木町犬山屋神戸家文書目録 (その5・完)	国文学研究資料館 調査収集事業部
8	史料目録 第101集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録 (その8)	国文学研究資料館 調査収集事業部
9	ふみ 第1号～第3号	国文学研究資料館 古典籍共同研究事業センター
10	集と断片―類聚と編纂の日本文化	国文学研究資料館、 コレージュ・ド・フランス日本学高等研究所共編
11	幕藩政アーカイブズの総合的研究	国文学研究資料館
12	和書のさまざま	国文学研究資料館 (中村康夫監修)

VIII

外国人研究員・外来研究員

1. 外国人研究員

氏 名：ラインハルト ツェルナー | Reinhard ZÖLLNER

期 間：H26.7.16～H26.10.15（3ヶ月）

国 籍：ドイツ連邦共和国

所 属 等：ボン大学日本・韓国学研究専攻主任教授

研究課題：近世史料にみる日朝関係

2. 外来研究員

氏 名：パトリック シュウェマー | Patrick SCHWEMMER

受入期間：H25.9.25～H26.9.24（12ヶ月）

国 籍：アメリカ合衆国

所 属 等：プリンストン大学大学院比較文学科博士課程

研究課題：日本中世末期の語り物文学

氏 名：クリストファー スミス | Christopher SMITH

受入期間：H25.9.1～H26.8.31（12ヶ月）

国 籍：アメリカ合衆国

所 属 等：ハワイ大学大学院生（博士候補者）

研究課題：江戸・現代文学における時代錯誤

氏 名：須藤 圭

受入期間：H26.9.26～H27.3.31（6ヶ月）

国 籍：日本

所 属 等：立命館大学文学部助教

研究課題：日本古代中世物語の生成と伝来の相関的研究

氏 名：李 先胤

受入期間：H27.1.27～H27.2.9（14日）

国 籍：韓国

所 属 等：高麗大学校日本研究センター・HK研究教授

研究課題：近代初期日本の大衆新聞に見る〈朝鮮〉および〈在朝日本人〉の表象

氏 名：カン リョウエン | 韓 凌燕

受入期間：H27.3.22～H27.9.22（6ヶ月）

国 籍：中華人民共和国

所 属 等：揚州大学講師

研究課題：『蜻蛉日記』についての研究

※人間文化研究機構外来研究員規程第2条第1項第6号（日本学術振興会特別研究員）及び人間文化研究機構国文学研究資料館外来研究員取扱規程第3条第1号第2号（特定研究員）、同規程第7号（博士研究員）及び同規程第8号（客員研究員）は除く。



海外出張・研修一覧

番号	所属	氏名	目的国	本邦出国日	本邦帰国日
1	研究部教授	陳 捷	中国	H26. 4. 30	H26. 5. 10
2	研究部准教授	相 田 満	台湾	H26. 5. 7	H26. 5. 12
3	館長	今 西 祐一郎	米国	H26. 5. 21	H26. 5. 26
4	研究部准教授	入 口 敦 志	韓国	H26. 5. 23	H26. 5. 25
5	館長	今 西 祐一郎	バチカン市国	H27. 6. 6	H27. 6. 11
6	研究部准教授	青 木 睦	バチカン市国	H26. 6. 8	H26. 6. 16
7	研究部教授	陳 捷	中国	H26. 6. 27	H26. 7. 1
8	研究主幹	田 中 大 士	韓国	H26. 7. 28	H26. 7. 30
9	研究部教授	大 高 洋 司	韓国	H26. 7. 28	H26. 8. 2
10	研究部教授	陳 捷	韓国	H26. 7. 28	H26. 8. 2
11	研究部准教授	入 口 敦 志	韓国	H26. 7. 28	H26. 8. 2
12	館長	今 西 祐一郎	韓国	H26. 7. 29	H26. 7. 30
13	研究部准教授	海 野 圭 介	韓国	H26. 7. 29	H26. 8. 2
14	副館長	寺 島 恒 世	フランス、オーストリア、 スロベニア、イタリア	H26. 8. 18	H26. 8. 31
15	研究部准教授	野 本 忠 司	英国、アイルランド	H26. 8. 19	H26. 8. 30
16	研究主幹	小 林 健 二	スロベニア	H26. 8. 26	H26. 9. 2
17	研究部准教授	海 野 圭 介	スロベニア	H26. 8. 26	H26. 9. 2
18	研究部准教授	相 田 満	台湾	H26. 8. 26	H26. 9. 2
19	研究部教授	陳 捷	中国	H26. 9. 1	H26. 9. 14
20	研究主幹	大 友 一 雄	バチカン市国	H26. 9. 7	H26. 9. 19

目的	用務先
資料調査、研究打合せ、文化交渉学会議参加	上海図書館、鳳凰出版社、復旦大学歴史系
資料調査及び収集、研究打合せ、研究成果発表	台湾大学、国立故宫博物院、中国文化大学、重慶南路書店街
日本古典籍（くずし字）講習会開催（講師）、打合せ	コロンビア大学C.Vスター東亜図書館－日本研究、コロンビア大学ケントホール
古版画学術大会参加（研究発表）、調査	古版画博物館、韓国国立中央博物館
マレガ文書の保存修復に関する打合せ及び調査状況視察	パチカン図書館
マレガ文書の保存修復に関する調査、打合せ	パチカン図書館
「理学と嶺南社会文化」国際学術研討会参加、資料調査	中山大學
交流会参加	韓国国立中央図書館
交流会参加、関連調査	韓国国立中央図書館、韓国国立中央博物館、国立大邱博物館、海印寺聖宝博物館、伽倻山海印寺
交流会参加、関連調査	韓国国立中央図書館、韓国国立中央博物館、国立大邱博物館、海印寺聖宝博物館、伽倻山海印寺
交流会参加、関連調査	韓国国立中央図書館、韓国国立中央博物館、国立大邱博物館、海印寺聖宝博物館、伽倻山海印寺
交流会参加	韓国国立中央図書館
交流会参加、関連調査	韓国国立中央図書館、韓国国立中央博物館、国立大邱博物館、海印寺聖宝博物館、伽倻山海印寺
研究協議、研究交流、研究打合せ、所蔵資料調査、EAJS（ヨーロッパ日本研究協会）第14回研究集会大会参加（研究発表）、資料比較調査	ギメ美術館、フランス国立極東学院、ウィーン大学、エッゲンベルグ城、リュブリャナ大学、アカデミア美術館、カ・ペーザロ
共同研究、COLING（国際会議）参加（研究発表）	アバディーン大学、ダブリン大学
EAJS（ヨーロッパ日本研究協会）第14回大会参加（パネルディスカッション実施『舞の本絵巻の成果報告』）、打合せ	リュブリャナ大学
EAJS（ヨーロッパ日本研究協会）第14回大会及び関連行事参加	リュブリャナ大学
資料調査、研究打合せ、研究成果発表、現地調査	重慶南路書店街、台湾大学、基隆市内、国立故宫博物院、国立歴史博物館
資料調査、研究打合せ	中国国家図書館
マレガ収集文書概要調査、打合せ	パチカン図書館

番号	所属	氏名	目的国	本邦出国日	本邦帰国日
21	研究部准教授	太 田 尚 宏	パチカン市国	H26. 9. 7	H26. 9. 19
22	研究部准教授	西 村 慎太郎	パチカン市国	H26. 9. 7	H26. 9. 19
23	館長	今 西 祐一郎	フランス、ベルギー	H26. 9. 13	H27. 9. 21
24	研究部助教	加 藤 聖 文	パチカン市国、英国	H26. 9. 14	H26. 9. 24
25	研究部准教授	青 木 睦	パチカン市国	H26. 9. 16	H26. 9. 28
26	館長	今 西 祐一郎	カナダ	H26. 9. 24	H26. 9. 29
27	研究部教授	伊 藤 鉄 也	カナダ	H26. 9. 24	H26. 9. 29
28	研究部准教授	海 野 圭 介	カナダ	H26. 9. 24	H26. 9. 28
29	研究部外国人研究員	ラインハルト・ツェルナー	韓国	H26. 10. 9	H26. 10. 12
30	研究部准教授	相 田 満	台湾	H26. 10. 19	H26. 10. 24
31	研究部准教授	海 野 圭 介	中国	H26. 10. 24	H26. 10. 28
32	研究部教授	陳 捷	台湾	H26. 10. 31	H26. 11. 3
33	研究部助教	加 藤 聖 文	米国	H26. 11. 2	H26. 11. 7
34	研究部教授	陳 捷	中国	H26. 11. 10	H26. 11. 19
35	研究部助教	加 藤 聖 文	韓国	H26. 11. 20	H26. 11. 22
36	館長	今 西 祐一郎	台湾	H26. 11. 21	H26. 11. 23
37	研究部准教授	野 本 忠 司	シンガポール	H26. 12. 1	H26. 12. 4
38	研究部教授	陳 捷	台湾	H26. 12. 4	H26. 12. 8
39	研究部教授	陳 捷	ベトナム	H26. 12. 16	H26. 12. 21
40	研究部准教授	海 野 圭 介	ベトナム	H26. 12. 16	H26. 12. 21
41	研究部准教授	入 口 敦 志	ベトナム	H26. 12. 16	H26. 12. 21
42	研究部教授	陳 捷	中国	H26. 12. 28	H26. 1. 7
43	古典籍共同研究事業センター 特任教授	山 本 和 明	韓国	H27. 1. 15	H27. 1. 18
44	古典籍共同研究事業センター 特任助教	金 田 房 子	韓国	H27. 1. 15	H27. 1. 18

目的	用務先
マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館
マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館
打合せ、日本資料専門家欧州協会（EAJRS）第25回年次大会参加	コレージュ・ド・フランス、 ルーヴァン・カトリック大学
第2次大戦関連文書調査収集、国際シンポジウム参加（研究報告）	バチカン図書館、バチカン公文書館、 ケンブリッジ大学
マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館
国際研究集会参加（研究発表）、打合せ	ブリティッシュコロンビア大学 バンクーバーキャンパス
国際研究集会参加（研究発表）、打合せ	ブリティッシュコロンビア大学 バンクーバーキャンパス
国際研究集会参加（研究発表）、打合せ	ブリティッシュコロンビア大学 バンクーバーキャンパス
研究協力懇談会参加、資料調査	高麗大学校
研究打合せ、研究成果発表、研究情報収集	台湾大学、国立故宫博物院
国際会議参加（研究報告）、資料調査	中華人民大学、中国国家図書館
学会参加（研究発表）	台湾師範大学
原爆医療関係資料調査及び収集	マリアナ大学、原爆記念碑、グアム大学
資料調査、研究打合せ	中国国家図書館
シンポジウム参加（報告）	高麗大学校亜細亜問題研究所
シンポジウム参加（講演）	台湾大学日本語学科
共同研究の実施（打合せ、講演）	シンガポール国立大学
学会参加、研究打合せ	中央研究院中国文哲研究所
所蔵医学書の調査、打合せ	ベトナム社会科学院漢喃研究院
所蔵医学書の調査、打合せ	ベトナム社会科学院漢喃研究院
所蔵医学書の調査、打合せ	ベトナム社会科学院漢喃研究院
「古逸叢書」の編纂、出版及びテキストの研究、関連資料調査、研究打合せ	中国国家図書館
資料管理システム等の実態調査及び打合せ、資料調査	韓国国立中央図書館・デジタル図書館、 清州古印刷博物館
資料管理システム等の実態調査及び打合せ、資料調査	韓国国立中央図書館・デジタル図書館、 清州古印刷博物館

番号	所属	氏名	目的国	本邦出国日	本邦帰国日
45	古典籍共同研究事業センター 特任准教授	井 黒 佳穂子	韓国	H27. 1. 15	H27. 1. 18
46	研究部助教	野 網 摩利子	英国	H27. 2. 3	H27. 3. 17
47	研究主幹	大 友 一 雄	パチカン市国	H27. 2. 8	H27. 2. 15
48	研究部准教授	青 木 睦	パチカン市国	H27. 2. 8	H27. 2. 16
49	研究部教授	山 下 則 子	米国	H27. 2. 8	H27. 2. 14
50	研究部教授	神 作 研 一	米国	H27. 2. 8	H27. 2. 20
51	館長	今 西 祐一郎	米国	H27. 2. 14	H27. 2. 20
52	研究部准教授	入 口 敦 志	米国	H27. 2. 14	H27. 2. 20
53	研究部教授	陳 捷	中国	H27. 2. 15	H27. 2. 20
54	研究部助教	加 藤 聖 文	ロシア	H27. 2. 15	H27. 2. 21
55	研究部教授	伊 藤 鉄 也	英国	H27. 2. 18	H27. 2. 22
56	研究部准教授	海 野 圭 介	英国	H27. 2. 18	H27. 2. 22
57	研究部助教	加 藤 聖 文	スウェーデン、フィンランド、 デンマーク	H27. 3. 1	H27. 3. 12
58	研究部准教授	相 田 満	中国	H27. 3. 1	H27. 3. 7
59	館長	今 西 祐一郎	米国	H27. 3. 4	H27. 3. 9
60	研究部教授	神 作 研 一	オランダ	H27. 3. 5	H27. 3. 9
61	研究部准教授	海 野 圭 介	タイ	H27. 3. 5	H27. 3. 9
62	古典籍共同研究事業センター 准教授	北 村 啓 子	マレーシア、シンガポール	H27. 3. 7	H27. 3. 17
63	研究部教授	陳 捷	中国	H27. 3. 18	H27. 3. 26
64	研究部准教授	海 野 圭 介	米国	H27. 3. 19	H27. 3. 27
65	研究部機関研究員	谷 川 ゆ き	英国	H27. 3. 23	H27. 3. 28

目的	用務先
資料管理システム等の実態調査及び打合せ、資料調査	韓国国立中央図書館・デジタル図書館、 清州古印刷博物館
日本語の歴史的典籍の国際的共同研究調査、ケンブリッジ大学アカデミックビジターとしての調査及び打合せ、科研課題「夏目漱石によるイギリス受容」研究	ロンドン大学SOAS図書館、 ケンブリッジ大学附属図書館、 ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ図書館
マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館、サレジオ大学
マレガ収集文書概要調査	バチカン図書館、ジェズ教会
日本古典籍の書誌的学術調査と研究及び在米日本文学研究者との打合せ	ハーバード大学イェンチン図書館
日本古典籍の書誌的学術調査と研究及び在米日本文学研究者との打合せ、書誌学・文献学の再構築に関する打合せ	ハーバード大学イェンチン図書館、 カリフォルニア大学バークレー校
書誌学・文献学の再構築に関する打合せ	カリフォルニア大学バークレー校
書誌学・文献学の再構築に関する打合せ	カリフォルニア大学バークレー校
資料調査、研究打合せ	北京大学古文献研究センター
ソ連軍満州占領関係の資料調査及び収集	ロシア国防省中央公文書館、 ロシア外交政策公文書館
「コーニツキ・欧州所在日本古書総合目録データベース」最終打合せ、残存資料の点検確認及び今後の引き継ぎ	ピーター・コーニツキ教授宅、 ケンブリッジ大学図書館
国際共同研究に関する打合せ	ロンドン大学、ケンブリッジ大学
大戦末期日本・連合国間外交関連文書調査収集、戦後平和外交政策関係文書調査収集、原子力政策関係文書調査収集、第二次世界大戦関連資料調査収集、個人データ管理制度調査	スウェーデン国立公文書館本館・新館、フィンランド国立公文書館オウル分館、戦争博物館、 デンマーク国立博物館、デンマーク国立公文書館
研究情報交換、中国における観相の調査	西北大学日本文化研究中心、勅建万寿八仙宮
書誌学・文献学の再構築に関する打合せ、シンポジウム参加	イエール大学
ライデン写本版本国際集会参加（研究発表）	ライデン大学
蔵書関係情報収集及び研究打合せ	タイ国立図書館、チュラロンコーン大学
the 6th Augmented Human International Conference参加、デジタルライブラリプロジェクト参加及び研究交流	Marina Bay Sands、マラヤ大学、 マレーシア国立図書館
資料調査、研究打合せ、第1回漢文写本研究フォーラム参加	中国国家図書館、天津師範大学
国際共同研究に関する研究打合せ、研究報告、資料調査	エドウィン・O・ライシャワー日本研究所、 ハーバード大学美術館、ボストン美術館、 ニューヨーク公共図書館
資料調査、打合せ	大英図書館、大英博物館

X

各種委員会委員一覧

1. 運営会議

委員：浅 野 秀 剛	大和文華館長
アレクサンドル・ドーリン	国際教養大学国際教養学部教授
井 口 和 起	京都府立総合資料館非常勤顧問
伊 藤 早 苗	九州大学応用力学研究所教授
上 野 健 爾	四日市大学関孝和数学研究所長
大 谷 雅 夫	京都大学大学院文学研究科教授
木 村 茂 光	帝京大学文学部史学科教授
小 島 孝 之	東京大学名誉教授
中 島 国 彦	早稲田大学文学学術院教授
長 島 弘 明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
身 崎 壽	北海道大学名誉教授
村 上 征 勝	同志社大学文化情報学部
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年6月4日(水) 15:00～16:55

場 所 第1会議室

【報告事項】

- 1 平成25年度事業部報告について
- 2 平成25年度研究部報告について
- 3 平成25年度大学院教育について
- 4 平成25年度に係る業務の実績に関する報告書(案)及び平成26年度計画について
- 5 日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画について

【審議事項】

- 1 館長候補者の推薦について
- 2 人事協議会委員の選出について

【その他】

- 1 平成26年度催し物について
- 2 当館への意見について

第2回 平成26年7月31日(木) 15:00～16:30

【審議事項】

- 1 館長候補者の選考について
- 2 研究教育職員の人事について

【その他】

- 1 平成26年度催し物について
- 2 当館への意見について

第3回 平成26年2月24日(火) 15:00～17:00

【報告事項】

- 1 平成27年度国文学研究資料館予算(案)について

【審議事項】

- 1 第3期中期目標・中期計画について
- 2 平成27年度計画について
- 3 平成27年度共同研究について
- 4 平成27年度客員教員及び外国人研究員について
- 5 研究教育職員の人事について

【その他】

- 1 平成27年度催し物について
- 2 当館への意見について

2. 共同研究委員会

委員：河 合 眞 澄	大阪府立大学人間社会学部教授
河 添 房 江	東京学芸大学教育学部教授
鈴 木 広 光	奈良女子大学文学部教授
田 淵 句美子	早稲田大学教育・総合科学学術院教授
中 原 豊	中原中也記念館館長
廣 瀬 千紗子	同志社女子大学表象文化学部日本語日本文学科特任教授
宮 崎 修 多	成城大学文芸学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）

大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
陳 捷	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
入 口 敦 志	研究部准教授
加 藤 聖 文	研究部助教

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年6月5日（木） 13：30～15：20

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 平成26年度共同研究について
- 2 その他

【協議事項】

- 1 平成25年度共同研究年次報告について
- 2 平成27年度共同研究の公募について
- 3 その他

第2回 平成26年9月25日（木） 13：30～15：45

場 所 第2会議室

【協議事項】

- 1 平成27年度共同研究の申請について（採否審査）
- 2 平成26年度共同研究（課題）個別研究課題の変更について
- 3 その他

第3回 平成26年12月17日（水） ※メール審議

- 1 平成27年度共同研究計画書について

3. 調査収集委員会

委員：青 木 稔 弥	神戸松蔭女子学院大学文学部教授
飯 倉 洋 一	大阪大学大学院文学研究科教授
奥 田 晴 樹	立正大学文学部教授
近 衛 典 子	駒澤大学文学部教授
小 林 一 彦	京都産業大学文化学部教授

森 正 人	熊本大学大学院社会文化科学研究科教授
横 井 孝	実践女子大学文学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
青 田 寿 美	研究部准教授
齋 藤 真麻理	研究部准教授

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年5月16日（金） 15：00～16：30

場 所 第1会議室

- 1 平成25年度事業報告について
- 2 平成25年度「調査」・「収集」結果について
- 3 平成26年度「調査」・「収集」計画について
- 4 平成26年度国文学文献資料調査員会議について
- 5 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について
- 6 その他

第2回 平成27年1月9日（金） 15：00～17：00

場 所 第1会議室

- 1 平成26年度「調査」・「収集」進捗状況について
- 2 平成27年度「収集」計画について
- 3 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について
- 4 法人第3期における調査収集事業について
- 5 その他

第3回 平成27年3月18日（水） 15：00～17：30

場 所 第1会議室

- 1 平成26年度事業報告について
- 2 平成26年度「調査」・「収集」進捗状況について
- 3 平成27年度「調査」・「収集」計画について
- 4 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について
- 5 法人第3期における調査収集事業について
- 6 今後の国文学文献資料調査員会議の在り方について
- 7 その他

4. 図書館事業委員会

委員：大 山 敬 三	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系教授
上 原 正 隆	一橋大学学術・図書部長
佐 藤 孝 之	東京大学史料編纂所教授
中 渡 明 弘	国立国会図書館利用者サービス部人文課長
鈴 木 俊 幸	中央大学文学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
大 高 洋 司	研究部教授
陳	研究部教授
相 田	研究部准教授
青 木	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授

平成26年度開催状況：

第 1 回 平成27年 3 月 23 日（月） 10：00～11：30

場 所 第 1 会議室

- 1 平成26年度図書館事業報告・評価について
- 2 平成27年度図書館事業計画について
- 3 その他

5. 電子情報委員会

委員：相 原 健 郎	国立情報学研究所コンテンツ科学研究系准教授
下 田 正 弘	東京大学大学院人文社会系研究科教授
永 崎 研 宣	人文情報学研究所主席研究員
原 正一郎	京都大学地域研究統合情報センター教授
村 田 右富美	大阪府立大学人間社会学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
海 野 圭 介	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授

西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
山 田 哲 好	研究部准教授

平成26年度開催状況：

第1回 平成27年3月20日(金) 14:00～16:15

場 所 第1会議室

【報告事項】

- 1 電子情報事業部会報告
- 2 第8期システム報告
- 3 第9期情報システム仕様策定報告

【審議事項】

- 1 平成26年度電子情報事業部事業報告について

6. 学術企画連携委員会

委員：井 上 俊 治	NHK文化センター講師
小 森 正 明	宮内庁書陵部図書調査官
池 田 和 臣	中央大学文学部教授
岡 崎 偉久子	天理大学附属天理図書館目録室長
山 中 玲 子	法政大学能楽研究所所長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
神 作 研 一	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
青 木 睦	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
齋 藤 真麻理	研究部准教授
山 田 哲 好	研究部准教授
恋 田 知 子	研究部助教

平成26年度開催状況：

第1回 平成27年3月3日(火) 15:00～16:30

場 所 第1会議室

- 1 平成26年度に実施した事業について

- 2 平成27年度に予定している事業について
- 3 その他

7. 国際日本文学研究集会委員会

委員：板 坂 則 子	専修大学文学部教授
坂 本 信 道	京都女子大学文学部教授
中 川 成 美	立命館大学文学部教授
櫻 井 陽 子	駒澤大学文学部教授
深 沢 眞 二	和光大学表現学部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
陳 捷	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 田 寿 美	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部助教
野 網 摩利子	研究部助教

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年7月14日（月） 13：30～16：00

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第37回国際日本文学研究集会の報告について
- 2 第38回国際日本文学研究集会の準備状況について
- 3 その他

【協議事項】

- 1 第38回国際日本文学研究集会研究発表者の決定について
- 2 第38回国際日本文学研究集会ショートセッション発表者の決定について
- 3 第38回国際日本文学研究集会ポスターセッション発表者の決定について
- 4 第38回国際日本文学研究集会シンポジウムについて
- 5 第38回国際日本文学研究集会プログラムの決定について
- 6 平成26年度国際研究集会開催支援事業への応募について
- 7 その他

第2回 平成26年11月29日(土) 10:00～12:00

場 所 第2会議室

- 1 第38回国際日本文学研究集会の準備状況について
- 2 第39回国際日本文学研究集会の実施計画について

8. 主幹・部長会議

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
山 下 則 子	研究部教授・日本文学研究専攻長
渡 辺 浩 一	研究部教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年4月10日(木) 13:30～15:10

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 館内委員会委員及び情報事業センター構成員について
- 2 教育研究評議会について
- 3 経営協議会について
- 4 機構会議について
- 5 事務連絡協議会について
- 6 企画連携広報室会議及び事務連絡協議会合同会議について
- 7 文献複写要項の改正について
- 8 平成26年度科学研究費助成事業の内定について
- 9 平成26年度特例夏季休業特別休暇について
- 10 外国出張及び海外研修について
- 11 各種委員会報告について
- 12 日本関連在外資料調査研究委員会について

【協議事項】

- 1 平成26年度リサーチアシスタントの採用について
- 2 平成26年度外来研究員（博士研究員）の受入れについて
- 3 平成26年度プロジェクト研究員（古典籍共同研究事業センター）について
- 4 平成26年度兼業について
- 5 裁量労働制について

第2回 平成26年5月15日（木） 13：30～14：30

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 企画連携広報室会議及び事務連絡協議会合同会議について
- 4 研究活動不正防止計画推進室会議について
- 5 評価委員会作業部会について
- 6 消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁に係る周知徹底について
- 7 第4回人間文化研究機構日本研究功労賞候補者の推薦について
- 8 外国出張及び海外研修について
- 9 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 運営会議の開催について
- 2 平成26年度機関研究員（国際交流室）について
- 3 平成26年度プロジェクト研究員（日本関連在外資料の調査研究）の公募について
- 4 寄附金の受入について
- 5 ポスドク長期インターンシップの受入について

第3回 平成26年6月12日（木） 13：30～14：45

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 企画連携広報室会議及び事務連絡協議会合同会議について
- 4 評価委員会及び評価委員会作業部会について
- 5 国立大学附置研究所・センター長会議総会について
- 6 外国出張及び海外研修について
- 7 各種委員会報告について

第4回 平成26年7月10日（木） 13：30～15：05

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 教育研究評議会について

- 2 経営協議会について
- 3 機構会議について
- 4 事務連絡協議会について
- 5 企画連携広報室会議及び事務連絡協議会合同会議について
- 6 経理事務の適正な執行について
- 7 消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁に係る周知徹底について
- 8 資料処分基準について
- 9 外国出張及び海外研修について
- 10 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 運営会議の開催について
- 2 平成26年度兼業について
- 3 平成26年度プロジェクト研究員について

第5回 平成26年9月12日(金) 13:30～14:55

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 研究部教員の古典籍共同研究事業センターへの兼務について
- 4 平成27年概算要求について
- 5 平成26年度予算の計画的執行について
- 6 平成27年度日本学術振興会外国人招へい研究者（長期）の申請について
- 7 外国出張及び海外研修について
- 8 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 人間文化研究機構国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター組織運営規程の改正について
- 2 平成26年度兼業について

第6回 平成26年10月17日(金) 13:30～15:10

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 研究活動不正防止計画推進室会議について
- 5 広報タスクフォースについて
- 6 平成27年度共同研究（公募）の審査結果について
- 7 平成27年度事業計画書の提出について
- 8 外国出張及び海外研修について

- 9 各種委員会報告について
- 10 その他
- (1) 台風襲来時の出勤等について

【協議事項】

- 1 学術情報リポジトリ運用指針について
- 2 平成26年度外来研究員の受入れについて
- 3 平成27年度科学研究費助成事業の新規申請について

第7回 平成26年11月13日(木) 13:30～14:45

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 情報タスクフォースについて
- 5 平成27年度科学研究費助成事業の新規申請について
- 6 問題解決志向型基幹研究プロジェクトの申請について
- 7 平成27年度共同研究について
- 8 平成27年度採用分日本学術振興会特別研究員の選考結果について
- 9 外国出張及び海外研修について
- 10 各種委員会報告について

【協議事項】

- 1 高麗大学日本研究センターとの学術交流協定の締結について
- 2 平成26年度兼業について
- 3 学術情報リポジトリ運用指針について

第8回 平成26年12月18日(木) 13:30～15:35

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 人間文化研究機構国文学研究資料館長の選出について
- 2 教育研究評議会について
- 3 経営協議会について
- 4 機構会議について
- 5 事務連絡協議会について
- 6 大学院教育協力会議について
- 7 機構長選考会議について
- 8 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 9 広報タスクフォースについて
- 10 情報タスクフォースについて
- 11 研究成果刊行促進制度要項の改正について
- 12 経理事務に関する決裁権限の委譲及び事務の一部委任要項の改正について

- 13 金庫管守者指定要項の制定について
 - 14 本年度の購入依頼書最終提出期限について
 - 15 外国出張及び海外研修について
 - 16 各種委員会報告について
 - 17 その他
- (1) 立川総合研究棟における電子レンジ使用に関する注意喚起について
- (2) 立川3機関合同防災訓練について

【協議事項】

- 1 平成27年度における兼業の許可申請手続きについて
- 2 外来研究員の受入れについて
- 3 平成27年度客員教員及び外国人研究員について
- 4 平成27年度機関研究員について
- 5 裁量労働制に係る「勤務状況及び健康状態に関する申告書」について

第9回 平成27年1月15日(木) 13:30～14:40

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
 - 2 事務連絡協議会について
 - 3 中期目標・計画ワーキンググループについて
 - 4 機構評価委員会について
 - 5 機構評価委員会作業部会について
 - 6 広報タスクフォースについて
 - 7 外国出張及び海外研修について
 - 8 各種委員会報告について
 - 9 その他
- (1) 本年度の購入依頼書最終提出期限について

【協議事項】

- 1 平成27年度古典籍共同研究事業センター客員教員について
- 2 寄附金の受入について

第10回 平成27年2月5日(木) 13:30～14:40

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 機構長選考会議について
- 5 情報タスクフォースについて
- 6 広報タスクフォースについて
- 7 第5回人間文化研究機構日本研究功労賞受賞候補者の推薦について

- 8 外国出張及び海外研修について
- 9 各種委員会報告について
- 10 その他
 - (1) 平成27年度機構長裁量経費について

【協議事項】

- 1 運営会議の開催について
- 2 平成27年度外来研究員の受入れについて

第11回 平成27年3月12日(木) 13:30～15:50

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 機構会議について
- 2 事務連絡協議会について
- 3 総合人間文化研究推進センター設置準備室会議について
- 4 研究活動不正防止計画推進室会議について
- 5 情報タスクフォースについて
- 6 広報タスクフォースについて
- 7 第3期中期目標・中期計画策定ワーキンググループについて
- 8 機関研究員の公募について
- 9 平成27年度機構長裁量経費について
- 10 外国出張及び海外研修について
- 11 各種委員会報告について
- 12 その他

【協議事項】

- 1 平成27年度予算(案)について
- 2 平成27年度兼業について
- 3 平成27年度プロジェクト研究員について
- 4 平成27年度リサーチアシスタントについて
- 5 平成27年度外来研究員(博士研究員)の受入れについて
- 6 古典籍共同研究事業センター組織運営規程の改正について

9. 人事委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長(企画調整担当)
谷 川 恵 一	副館長(研究担当)
大 友 一 雄	研究部研究主幹(教授)
小 林 健 二	研究部研究主幹(教授)
田 中 大 士	研究部研究主幹(教授)

井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年 8 月 1 日から）

10. 研究部会議

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
陳 捷	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
齋 藤 真麻理	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
山 田 哲 好	研究部准教授
井 深 順 二	管理部長（総務課長事務取扱）（平成26年 7 月31日まで）
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年 8 月 1 日から）
谷 口 潤	管理部財務課長

平成26年度開催状況：

第 1 回 平成26年 4 月24日（木） 10：30～12：20

場 所 第 2 会議室

【報告事項】

- 1 平成25年度機関研究員研究成果報告の概略について
- 2 平成25年度プロジェクト研究員研究成果報告書について
- 3 平成25年度 R A 研究成果報告書・研究指導報告書について
- 4 平成26年度科学研究費助成事業の交付内定について
- 5 平成26年度共同研究の審査結果について（国立情報学研究所）
- 6 2014年度サントリー文化財団研究助成への応募について
- 7 学術交流協定の締結について
- 8 「研究における不正行為」「研究費の不正使用」に関するガイドラインの見直しについて
- 9 消費税率の引き上げに伴う「転嫁拒否等の行為」の禁止について
- 10 その他

【協議事項】

- 1 平成26年度機関研究員（国際交流室）について
- 2 平成26年度プロジェクト研究員（日本関連在外資料の調査研究）の公募について

- 3 平成26年度共同利用研究室について（継続）
- 4 平成27年度共同研究の公募について
- 5 その他

第2回 平成26年5月20日（火） 15：30～16：30

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 寄附金の受入れについて
- 2 平成26年度特別共同利用研究員の受入れについて
- 3 平成27年度採用分日本学術振興会特別研究員（RPD）の申請について
- 4 その他
 - （1）RA研究成果報告書について（修正分）
 - （2）「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」の改定について

【協議事項】

- 1 平成25年度共同研究年次報告について
- 2 平成27年度採用分日本学術振興会特別研究員（PD）の申請について
- 3 平成27年度共同研究の公募について（継続）
- 4 その他

第3回 平成26年6月26日（木） 13：30～15：05

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第1回及び第2回公的研究費の執行に係る意見交換会の実施報告について
- 2 第1回共同研究委員会の報告について
- 3 外来研究員（博士研究員）研究報告について
- 4 その他

【協議事項】

- 1 平成26年度プロジェクト研究員について
- 2 人間文化研究機構における公的研究費の不正使用防止関係規程等について
- 3 その他

第4回 平成26年9月11日（木） 13：30～14：55

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第3回公的研究費の執行に係る意見交換会の実施報告について
- 2 ケンブリッジ大学との協力計画書の取り交わしについて
- 3 第38回国際日本文学研究集会プログラムについて
- 4 平成26年度国際研究集会開催支援事業の申請について（総研大）
- 5 「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」について
- 6 平成27年度科学研究費助成事業の募集について
- 7 科研費説明会（立川4機関合同）の開催及び内部監査について

- 8 平成26年度体制整備等自己評価チェックリストの提出について
- 9 平成27年度日本学術振興会外国人招へい研究者（長期）の申請について
- 10 その他

【協議事項】

- 1 平成26年度共同研究（課題）個別研究課題の変更について
- 2 平成27年度共同研究について
- 3 平成27年度客員教員等の配置について
- 4 その他

第5回 平成26年10月16日（木） 15：30～17：20

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第4回公的研究費の執行に係る意見交換会の実施報告について
- 2 マイクロソフトリサーチCORE連携研究プログラムへの申請について
- 3 平成26年度体制整備等自己評価チェックリストの提出について
- 4 その他

【協議事項】

- 1 平成26年度外来研究員の受入れについて
- 2 平成27年度科学研究費助成事業の新規申請について
- 3 問題解決志向型基幹研究プロジェクトについて
- 4 平成27年度共同研究について（継続）
- 5 その他

第6回 平成26年11月20日（木） 13：30～14：30

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第5回及び第6回公的研究費の執行に係る意見交換会の実施報告について
- 2 問題解決志向型基幹研究プロジェクトの申請について
- 3 第2回総合人間文化研究推進センター設置準備室会議の報告について
- 4 学術交流協定の締結について（高麗大学校）
- 5 平成27年度採用分日本学術振興会特別研究員の選考結果について
- 6 平成27年度科学研究費助成事業の新規申請について
- 7 平成27年度共同研究について
- 8 その他

【協議事項】

- 1 平成27年度外来研究員の受入れについて
- 2 平成27年度国立情報学研究所公募型共同研究への申請について
- 3 大規模災害研究について
- 4 研究関係経費に係る執行状況の確認について
- 5 その他

第7回 平成26年12月17日(水) 13:30～14:50

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 マイクロソフトリサーチCORE連携研究プログラムの採択結果について
- 2 その他

【協議事項】

- 1 平成26年度外来研究員の受入れについて
- 2 平成27年度客員教員について
- 3 平成27年度機関研究員について
- 4 平成27年度事業計画書(研究関係経費)について
- 5 平成27年度共同利用研究室について
- 6 平成28年度科学研究費助成事業(新学術領域研究)の申請について
- 7 その他

第8回 平成27年1月22日(木) 13:30～14:30

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第7回公的研究費の執行に係る意見交換会の実施報告について
- 2 寄附金の受入れについて
- 3 平成27年度日本学術振興会外国人招へい研究者(長期)の採択結果について
- 4 その他

【協議事項】

- 1 平成27年度外来研究員の受入れについて
- 2 平成27年度リサーチアシスタントについて
- 3 その他
 - (1) 平成27年度共同研究(若手)及び共同研究(課題)のアドバイザーの選任について
 - (2) 平成26年度教員研究経費の執行状況について

第9回 平成27年2月19日(木) 13:30～16:20

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第8回及び第9回公的研究費の執行に係る意見交換会の実施報告について
- 2 機構の基幹研究プロジェクトについて
- 3 研究費の不正使用防止に係るコンプライアンス研修について
- 4 その他

【協議事項】

- 1 平成27年度機関研究員の公募について
- 2 平成27年度プロジェクト研究員について
- 3 平成27年度リサーチアシスタントについて
- 4 平成27年度外来研究員(博士研究員)の受入れについて
- 5 平成27年度共同研究(基幹研究)について

- 6 規程等（機関研究員取扱要項等）の改正について
- 7 平成27年度国文研フォーラムについて
- 8 平成27年度教員研究経費について
- 9 共同研究の要項について
- 10 その他

第10回 平成27年3月26日（木） 13：30～14：45

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 第10回公的研究費の執行に係る意見交換会の実施報告について
- 2 学術交流協定の締結について
- 3 平成27年度研究関係予算配分（案）について
- 4 その他

【協議事項】

- 1 平成27年度外来研究員の受入れについて
- 2 平成27年度日本学術振興会外国人特別研究員の申請について
- 3 他大学との共同研究の申請について
- 4 その他

11. 情報事業センター会議

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）・学術企画連携部長
陳 捷	研究部教授
小 山 順 子	研究部准教授
江 戸 英 雄	研究部助教
野 網 摩利子	研究部助教
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年4月22日（火） 15：30～17：20

場 所 第2会議室

【協議事項】

- 1 国文研機関リポジトリの構築について

【報告事項】

- 1 その他

第2回 平成26年7月9日(水) 10:30～12:30

場 所 第1会議室

【協議事項】

- 1 国文研機関リポジトリについて
- 2 近代文献情報データベースに毎日新聞社のデータベース部門の画像販売セクション等に直接つながるリンクをはることにについて
- 3 「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」の推進に伴う館蔵資料の画像データの取り扱いについて

【報告事項】

- 1 その他

12. 将来計画委員会

委員：谷 川 惠 一	副館長（研究担当）
大 高 洋 司	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
陳 捷	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
青 田 寿 美	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
齋 藤 真麻理	研究部准教授
加 藤 聖 文	研究部助教
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

平成26年度開催状況：

第1回 平成27年2月3日(火) 13:30～14:30

場 所 第1会議室

- 1 第3期中期目標・中期計画素案について

13. 研究戦略委員会

委員：谷 川 惠 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
陳 捷	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
青 木 陸	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
齋 藤 真麻理	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
野 網 摩利子	研究部助教
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長

第1回 平成26年7月16日（水） 10：30～12：00

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 平成26年度科学研究費助成事業の採択結果について
- 2 外部資金（研究助成金等）の申請状況について
- 3 その他

【協議事項】

- 1 研究推進支援費制度の改正について
- 2 平成26年度研究推進支援費制度による支援費の配分について
- 3 その他

第2回 平成26年9月30日（火） 13：30～14：00

場 所 第1会議室

- 1 平成27年度科学研究費助成事業の新規申請について
- 2 その他

14. 大学院教育委員会

委員：谷 川 惠 一	副館長（研究担当）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授・日本文学研究専攻長
渡 辺 浩 一	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 木 睦	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
恋 田 知 子	研究部助教
野 網 摩利子	研究部助教
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年4月23日（水） 13：35～14：00

場 所 第2会議室

- 1 平成26年度特別共同利用研究員の受入れについて
- 2 平成26年度特別共同利用研究員オリエンテーションについて
- 3 その他

第2回 平成26年12月3日（水） ※電子メールによる審議

- 1 特別共同利用研究員 研究課題変更申請について

第3回 平成27年1月20日（火） 10：30～11：20

場 所 第2会議室

- 1 平成26年度特別共同利用研究員研究指導報告書・研究報告書について
- 2 平成27年度特別共同利用研究員の受入要領等について
- 3 その他

第4回 平成27年1月26日（月） ※電子メールによる審議

- 1 特別共同利用研究員 研究報告書及び研究指導報告書について

15. 調査収集計画委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
陳 捷	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 田 寿 美	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
齋 藤 真麻理	研究部准教授
恋 田 知 子	研究部助教
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

16. 図書資料委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
落 合 博 志	研究部教授
神 作 研 一	研究部教授
陳 捷	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
青 木 睦	研究部准教授
青 田 寿 美	研究部准教授
入 口 敦 志	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
齋 藤 真麻理	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
山 田 哲 好	研究部准教授

江戸英雄 研究部助教
恋田知子 研究部助教

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年4月24日(木) 10:30～12:15

場 所 オリエンテーション室

【審議事項】

- 1 資料の寄託について
- 2-1 資料の寄贈について(外田洋氏収集文書)
- 2-2 資料の寄贈について(松尾家文書)
- 2-3 資料の寄贈について(一般利用者からの寄贈希望)
- 3-1 コレクションについて(「日本語の歴史的典籍コレクション(仮称)」)
- 3-2 コレクションについて(江戸明治はやりうたコレクション)
- 4 資料の選定について
- 5 資料処分基準について
- 6 貴重書候補について

【報告事項】

- 1 平成25年度受入和古書・近代原本一覧
- 2 特別コレクションの名称について
- 3 その他

第2回 平成26年6月10日(火) 10:30～11:45

場 所 第1会議室

【審議事項】

- 1 コレクション指定について
- 2 寄託資料について
- 3 資料の選定について
- 4 原本の選定について
- 5 貴重書候補について

【報告事項】

- 1 その他

第3回 平成26年7月1日(火) 15:30～17:20

場 所 第1会議室

【審議事項】

- 1-1 資料の寄贈について(松林光正収集文書)
- 1-2 資料の寄贈について(林望氏寄贈資料)
- 1-3 資料の寄贈について(稲葉好延文書)
- 2 資料の選定について
- 3 原本の選定について
- 4 貴重書候補について

【報告事項】

- 1 原本選定結果

第4回 平成26年10月3日(金) 13:30～14:40

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1-1 資料の寄贈について(松林光正収集文書)
- 1-2 資料の寄贈について(松尾家文書)
- 1-3 資料の寄贈について(故二村文人所蔵資料)
- 1-4 資料の寄贈について(塚原鉄雄発表論考について)
- 2-1 山鹿文庫について(感謝状の贈呈について)
- 2-2 山鹿文庫について(特別コレクションの指定について)
- 2-3 山鹿文庫について(褒章推薦に伴う資料評価について)
- 3-1 寄託について(徳川陽子氏寄託資料の継続)
- 3-2 寄託について(荻野氏寄託資料(筆陳)の寄託期間変更)
- 4 資料の選定について
- 5 その他

【報告事項】

- 1 その他

第5回 平成26年11月11日(火) 15:30～16:50

場 所 第1会議室

【審議事項】

- 1 資料の寄託について
- 2 資料の寄贈について
- 3 資料の選定について
- 4 原本の選定について

【報告事項】

- 1 山鹿文庫の価格評価について
- 2 塚原鉄雄発表論考ほかの寄贈について

第6回 平成27年2月4日(水) 15:30～16:30

場 所 第1会議室

【審議事項】

- 1-1 資料の寄託について(横山邦治氏寄託)
- 1-2 資料の寄託について(坂田穂好氏寄託)
- 2 資料の寄贈について
- 3 資料の選定について
- 4 原本の選定について
- 5 資料評価実施規定について

【報告事項】

- 1 東京古典会結果
- 2 その他

17. 評価委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
青 田 寿 美	研究部准教授
海 野 圭 介	研究部准教授
山 田 哲 好	研究部准教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年5月27日（火） 15：30～16：40

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 平成26年度計画について

【協議事項】

- 1 平成25年度評価について
- 2 外部評価について
- 3 平成25年度国文学研究資料館年報について

第2回 平成27年1月14日（火） 15：30～17：15

場 所 第1会議室

【協議事項】

- 1 平成27年度計画について

【報告事項】

- 1 平成26年度評価について
- 2 平成25年度外部評価について

18. 知的財産委員会

委員：伊 藤 鉄 也	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
相 田 満	研究部准教授
太 田 尚 宏	研究部准教授
西 村 慎太郎	研究部准教授
野 本 忠 司	研究部准教授
山 田 哲 好	研究部准教授
加 藤 聖 文	研究部准教授
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

19. 施設マネジメント委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
伊 藤 鉄 也	研究部教授
大 高 洋 司	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授
青 木 睦	研究部准教授
小 山 順 子	研究部准教授
江 戸 英 雄	研究部助教
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年6月17日（火） 15：30～16：30

場 所 第2会議室

- 1 平成25年度における施設の点検評価の報告等について
- 2 平成26年度の研究室の配置について
- 3 古典籍共同研究事業センター撮影室及び内製化実験室の措置について

- 4 平成26年度施設の点検評価について
- 5 その他

第2回 平成26年12月18日(木) 10:30～11:10

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1 平成26年度における施設の点検評価の報告等について
- 2 エネルギー管理標準の改正について
- 3 グループ閲覧室(B104)の用途変更について
- 4 人間文化研究機構国文学研究資料館施設管理規則の改正について

【その他】

- 1 平成27年度の研究室の配置について
- 2 電磁調理器の使用について
- 3 総合防災訓練について

20. 衛生委員会

委員：岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
石 井 良 幸	石井医院院長
鎌 田 進 平	総務課研究協力係員
杉 山 順 子	総務課人事係長
江 戸 英 雄	研究部助教
恋 田 知 子	研究部助教
想 田 郁 哉	学術情報課情報サービス第2係員

21. 情報セキュリティ委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

平成26年度開催状況：

第1回 平成27年3月3日(火) 10:30～11:20

場 所 第3会議室

【報告事項】

- 1 情報セキュリティ委員会委員の交代
- 2 平成26年度情報セキュリティに関わる作業報告
- 3 ウイルス検知状況
- 4 情報セキュリティに関わる国立大学等の対応について
- 5 平成26年度情報セキュリティセミナー参加報告

【審議事項】

- 1 インシデント対応について
- 2 システム管理部会メンバーについて

22. 情報公開委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
山 下 則 子	研究部教授・日本文学研究専攻長
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

23. ハラスメント防止委員会

委員：寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
齋 藤 真麻理	研究部准教授
井 深 順 二	管理部長（総務課長事務取扱）（平成26年7月31日まで）
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
杉 山 順 子	総務課人事係長

24. 危機管理委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
山 下 則 子	研究部教授・日本文学研究専攻長
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

25. 研究倫理委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
落 合 博 志	研究部教授・調査収集事業部長
古 瀬 蔵	研究部教授・電子情報事業部長
大 高 洋 司	研究部教授・情報資料サービス事業部長
山 下 則 子	研究部教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

26. 日本語歴史的典籍ネットワーク委員会

委員：安 達 淳	国立情報学研究所副所長
石 上 英 一	東京大学名誉教授
小 倉 慈 司	国立歴史民俗博物館研究部歴史研究系准教授
高 田 時 雄	京都大学名誉教授
長 島 弘 明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
中 山 正 樹	国立国会図書館総務部司書監（情報化推進担当）
原 田 信 男	国士舘大学21世紀アジア学部教授
真 柳 誠	茨城大学人文学部教授
山 田 奨 治	国際日本文化研究センター研究部教授
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年5月27日（火） 10：00～12：00

場 所 主婦会館プラザエフ 4階シャトレ

- 1 前回議事要旨（案）について
- 2 平成25年度古典籍共同研究事業センター実績報告について
- 3 平成27年度古典籍共同研究事業センター概算要求について
- 4 共同研究について
- 5 拠点との協定締結について
- 6 平成26年度館蔵和古書の撮影について
- 7 「拠点大学における資料撮影等に関する準備状況調査」の実施について
- 8 その他

第2回 平成26年12月5日（金） 15：00～17：30

場 所 主婦会館プラザエフ 4階シャトレ

- 1 前回議事要旨（案）について
- 2 前回委員会での指摘事項への対応について
- 3 平成27年度概算要求等について
- 4 各種委員会実施状況について
- 5 共同研究について
- 6 データベース構築について
- 7 検索機能の高度化について
- 8 システム構築について
- 9 広報活動について
- 10 その他

第3回 平成27年2月26日（木） 13：50～16：20

場 所 主婦会館プラザエフ 4階シャトレ

- 1 前回議事要旨（案）について
- 2 科学技術・学術審議会作業部会からの留意事項に対する改善策について
- 3 平成27年度予算（案）及び平成28年度概算要求に向けた要求内容の見直しについて
- 4 画像情報撮影計画について
- 5 システム構築について
- 6 科学研究費補助金（新学術領域研究）への申請に向けての準備状況について
- 7 各種委員会実施状況について
- 8 平成27年度の予定について
- 9 その他

27. 事業実施委員会

委員：上 野 健 爾	四日市大学研究機構関孝和数学研究所所長（平成27年1月1日から）
高 木 元	千葉大学文学部教授（平成27年1月1日から）
木目沢 司	国立国会図書館電子情報部電子情報サービス課課長（平成27年1月1日から）
今 西 祐一郎	館長（古典籍共同研究事業センター長）
有 川 節 夫	九州大学前総長（古典籍共同研究事業センター顧問）
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
大 高 洋 司	研究部教授
落 合 博 志	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
山 本 和 明	古典籍共同研究事業センター副センター長・特任教授
中 村 康 夫	古典籍共同研究事業センター特任教授
井 深 順 二	管理部長（古典籍共同研究事業センター事務室長）

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年4月10日（木） 10：30～11：40

場 所 第2会議室

- 1 前回議事要旨について
- 2 平成26年度の計画について
- 3 共同研究（公募）募集要項について
- 4 ニュースレター第1号について
- 5 その他

第2回 平成26年5月15日(木) 15:00～16:10

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨について
- 2 共同研究について
- 3 ニュースレター第1号について
- 4 平成26年度館蔵和古書の撮影について
- 5 『国書総目録』データ改訂の担当について

【報告事項】

- 1 平成25年度古典籍共同研究事業センター実績報告について
- 2 平成27年度古典籍共同研究事業センター概算要求について
- 3 拠点との協定締結について
- 4 システム導入関係の報告について
- 5 「拠点大学における資料撮影等に関する準備状況調査」の実施について
- 6 「日本語の歴史的典籍コレクション」(仮称)のコレクション指定について
- 7 館蔵和古書の業者撮影および画像内製化による撮影・実験のための場所確保について
- 8 連携協力等について
- 9 その他

第3回 平成26年6月12日(木) 15:15～16:15

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨について

【報告事項】

- 1 平成26年度第1回日本語歴史的典籍ネットワーク委員会について
- 2 共同研究について
- 3 拠点大学における資料撮影等に関する準備状況調査について
- 4 シンボルマークについて
- 5 システム導入関係の報告について
- 6 その他

第4回 平成26年7月10日(木) 15:30～17:00

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨について
- 2 「ふみ」の平成26年度刊行計画について
- 3 『笠間索引叢刊』の公開について

【報告事項】

- 1 共同研究について
- 2 広報について

- 3 「拠点大学における資料撮影等に関する準備調査」詳細結果報告
- 4 仕様策定委員会報告
- 5 今年度システム開発費の使用について
- 6 タグ付けシステムの準備について
- 7 収集マイクロのデジタル化の許諾申請作業の進め方について
- 8 宮内庁書陵部との今後の連携について
- 9 その他

第5回 平成26年10月17日(金) 15:30～16:30

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨について
- 2 共同研究について
- 3 収集マイクロのデジタル化の許諾申請作業の進め方について
- 4 平成26年度古典籍画像作成について
- 5 DB構築事業に関する基本方針(案)について
- 6 その他

【報告事項】

- 1 人事異動(特任准教授及び特任助教の採用等)について
- 2 古典籍共同研究事業センター組織運営規程の改正について
- 3 平成27年度概算要求等について
- 4 各種委員会報告について
- 5 仕様策定委員会中間報告
- 6 ファセット用著作について
- 7 評価用ビューワーの開発の報告
- 8 その他

第6回 平成26年11月13日(木) 15:30～16:20

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨について
- 2 共同研究について
- 3 データベース構築に関する覚書について
- 4 その他

【報告事項】

- 1 委員の追加について
- 2 拠点連携委員会図書系委員向け打合せについて
- 3 国立国会図書館との連携について
- 4 凸版印刷との協力について
- 5 その他

第7回 平成26年12月18日(木) 15:45～16:35

場 所 第2会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨について
- 2 共同研究について
- 3 「医学関連書のタグ付けワーキンググループ」(仮称)の設置について
- 4 その他

【報告事項】

- 1 学術研究の大型プロジェクト作業部会からの今後の事業推進に当たっての留意事項について
- 2 日本語歴史的典籍ネットワーク委員会について
- 3 編集委員会の設置について
- 4 凸版印刷との覚書の締結について
- 5 横山邦治氏所蔵古典籍の撮影について
- 6 今年度の事業実施委員会の開催予定について
- 7 その他

第8回 平成27年1月21日(水) 13:30～14:10

場 所 第1会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨(案)について
- 2 平成27年度計画について
- 3 共同研究について
- 4 平成27年度プロジェクト研究員について
- 5 その他

【報告事項】

- 1 平成27年度国立大学関係予算(案)について
- 2 平成27年度客員教員について
- 3 その他

第9回 平成27年3月12日(水) 10:00～11:30

場 所 第1会議室

【審議事項】

- 1 前回議事要旨(案)について
- 2 組織運営規程の改正について
- 3 研究開発系共同研究について
- 4 「ふみ」の平成27年度刊行計画について
- 5 その他

【報告事項】

- 1 科学技術・学術審議会作業部会からの留意事項に対する改善策について
- 2 平成27年度予算(案)及び平成28年度概算要求に向けた要求内容の見直しについて
- 3 画像情報撮影計画について

- 4 システム構築について
- 5 平成27年度共同研究について
- 6 科学研究費補助金（新学術領域研究）への申請に向けての準備状況について
- 7 各種委員会実施状況について
- 8 平成27年度の予定について
- 9 その他

28. 国際共同研究ネットワーク委員会

委員：赤 間 亮	立命館大学文学部教授
伊 東 貴 之	国際日本文化研究センター研究部教授
小 島 道 裕	国立歴史民俗博物館研究部歴史研究系教授
高 木 元	千葉大学文学部教授
鷺 山 郁 子	フィレンツェ大学教授
ジャン・ノエル・ロベール	コレージュ・ド・フランス教授、日本学高等研究所所長
徐 一 平	北京外国語大学教授、北京日本学研究中心長
ジョシュア・モストウ	ブリティッシュ・コロンビア大学アジア研究学科教授
ハルオ・シラネ	コロンビア大学教授
ピーター・コーニツキー	ケンブリッジ大学教授
ボナヴェントゥーラ・ルパルティ	ヴェネツィア大学教授
マティアス・ハイエク	パリ・ディドロ大学准教授
マティルデ・マストランジェロ	サピエンツァ・ローマ大学イタリア東洋研究学科長
俞 在 眞	高麗大学校日語日文学科副教授・日本研究センター所長 ※平成26年8月1日から
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
山 本 和 明	古典籍共同研究事業センター副センター長・特任教授
金 田 房 子	古典籍共同研究事業センター特任准教授
岩 橋 清 美	古典籍共同研究事業センター特任准教授
田 中 大 士	研究部教授（広報出版室長）
井 深 順 二	管理部長（古典籍共同研究事業センター事務室長）

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年9月10日（水） 13：30～18：00

場 所 第1会議室

- 1 国際共同研究ネットワーク委員会について
- 2 平成27年度概算要求について
- 3 研究環境基盤部会関係のヒアリングについて
- 4 機構内共同研究について

- 5 拠点主導共同研究について
- 6 各種委員会報告
- 7 センター報告
- 8 データベース構築及びタグ付けの進捗状況について
- 9 国際型共同研究の準備研究について
- 10 国文研主導共同研究について
- 11 研究成果発信について
- 12 公募型共同研究の採択について
- 13 公募型共同研究の新規募集について
- 14 今後のスケジュールについて

第2回 平成27年3月5日(木) 14:00～16:00

場 所 第1会議室

- 1 前回議事要旨について
- 2 平成27年度予算(案)及び平成28年度概算要求に向けた要求内容の見直しについて
- 3 平成26年度共同研究実績報告及び平成27年度研究計画について
- 4 国際型共同研究について
- 5 シンポジウムの開催について
- 6 科学研究費補助金(新学術領域研究)の申請に向けた準備状況について

29. 拠点連携委員会

委員：飯 倉 洋 一	大阪大学大学院文学研究科教授
磯 谷 峰 夫	大阪大学附属図書館利用支援課長
大 秦 一 浩	大谷大学文学部准教授
金 厚 志	大谷大学教育研究支援部図書・博物館課チームリーダー
浅 田 徹	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科文化科学系教授
森 いづみ	お茶の水女子大学附属図書館図書・情報課長
乾 善 彦	関西大学文学部教授
内 田 慶 市	関西大学外国語学部教授、図書館長
川 平 敏 文	九州大学大学院人文科学研究院准教授
吉 松 直 美	九州大学附属図書館資料整備室図書目録係長
木 田 章 義	京都大学大学院文学研究科教授 ※平成26年6月31日まで
金 光 桂 子	京都大学大学院文学研究科准教授 ※平成26年7月1日から
赤 澤 久 弥	京都大学附属図書館情報サービス課課長補佐
石 川 透	慶應義塾大学文学部教授
風 間 茂 彦	慶應義塾大学三田メディアセンター事務長
福 長 進	神戸大学大学院人文学研究科教授
兵 頭 尚 恵	神戸大学附属図書館情報管理課電子図書館係長(平成26年6月31

	日まで)
井 庭 朗 子	神戸大学附属図書館情報管理課電子図書館係長 (平成26年 7 月 1 日)
秋 澤 互	國學院大學大学院文学研究科教授
古 山 悟 由	國學院大學学術メディアセンター事務部次長 (図書館事務担当)
谷 口 孝 介	筑波大学人文社会系教授
北 村 照 夫	筑波大学附属図書館情報管理課課長
長 島 弘 明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
森 田 美由紀	東京大学附属図書館情報サービス課専門員 (資料整備担当)
岩 坪 健	同志社大学文学部国文学科教授
佐 倉 由 泰	東北大学大学院文学研究科教授
米 澤 誠	東北大学附属図書館事務部長
塩 村 耕	名古屋大学大学院文学研究科教授
黒 柳 裕 子	名古屋大学附属図書館情報サービス課課長補佐
千 本 英 史	奈良女子大学研究院人文科学系教授
寺 島 陽 子	奈良女子大学学術情報課電子情報係長
本 多 博 之	広島大学大学院文学研究科歴史文化学講座教授
川 上 裕	広島大学学術・社会産学連携室図書館学術情報普及グループ主査(東広島地区フロアサービス主担当)
後 藤 康 文	北海道大学大学院文学研究科言語文学専攻日本文化論講座教授
猿 橋 キヨミ	北海道大学附属図書館利用支援課係長 (北方資料室担当)
水 谷 隆 之	立教大学大学院文学研究科日本文学専攻准教授
大 串 美枝子	立教大学図書館事務部長
中 川 成 美	立命館大学大学院文学研究科教授
田 中 翔 大	立命館大学図書館管理課員
池 澤 一 郎	早稲田大学文学学術院教授
藤 原 秀 之	早稲田大学図書館調査役 (特別資料担当) (平成26年 5 月 31日まで)
小 林 邦 久	早稲田大学図書館資料管理課課長 (平成26年 6 月 1 日から)
寺 島 恒 世	副館長 (企画調整担当)
谷 川 恵 一	副館長 (研究担当)
山 本 和 明	古典籍共同研究事業センター副センター長・特任教授
金 田 房 子	古典籍共同研究事業センター特任准教授
岩 橋 清 美	古典籍共同研究事業センター特任准教授

平成26年度開催状況：

第1回 平成26年 9 月 16 日 (火) 15：00～17：10

場 所 主婦会館プラザエフ 9 階スズラン

- 1 前回議事要旨について
- 2 研究環境基盤部会関係のヒアリングについて
- 3 平成27年度概算要求について

- 4 今後の方針について
- 5 拠点主導共同研究について
- 6 拠点所蔵古典籍の撮影について
- 7 各種委員会報告
- 8 センター報告
- 9 共同研究の進捗状況について（拠点主導以外）
- 10 その他

第2回 平成27年3月17日(木) 15:00～17:10

場 所 主婦会館プラザエフ 地下2階クラルテ

- 1 前回議事要旨について
- 2 プロジェクト事業計画予算について
- 3 画像情報撮影計画について
- 4 システム構築について
- 5 科学研究費補助金（新学術領域研究）への申請に向けての準備状況について
- 6 シンポジウムの開催について
- 7 各種委員会実施状況について
- 8 平成27年度の予定について
- 9 その他

参考 賛助会運営委員会

委員：今 西 祐一郎	館長
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
大 友 一 雄	研究部研究主幹（教授）
小 林 健 二	研究部研究主幹（教授）
田 中 大 士	研究部研究主幹（教授）
大 高 洋 司	研究部教授
古 瀬 蔵	研究部教授
井 深 順 二	管理部長
岡 田 耕 作	管理部総務課長（平成26年8月1日から）
谷 口 潤	管理部財務課長
酒 井 量 基	管理部学術情報課長

平成26年度開催状況：

第1回 平成27年3月11日(水) 11:00～11:50

場 所 第2会議室

【報告事項】

- 1 賛助会会員について

2 日本古典文学学術賞選考委員会の委員について

【協議事項】

1 第8回日本古典文学学術賞選考スケジュールについて

2 その他

(1) 賛助会運営委員会委員長及び副委員長について

(2) 賛助会運営委員会規程について

XI

運営会議委員・幹部職員一覧

1. 運営会議委員

※（五十音順）職名は平成26年度のもの

（館 外）

浅 野 秀 剛	大和文華館長
アレクサンドル・ドーリン	国際教養大学国際教養学部教授
井 口 和 起	京都府立総合資料館非常勤顧問
伊 藤 早 苗	九州大学応用力学研究所教授
上 野 健 爾	四日市大学関孝和数学研究所長
大 谷 雅 夫	京都大学大学院文学研究科教授
木 村 茂 光	帝京大学文学部史学科教授
小 島 孝 之	東京大学名誉教授
中 島 国 彦	早稲田大学文学学術院教授
長 島 弘 明	東京大学大学院人文社会系研究科教授
身 崎 壽	北海道大学名誉教授
村 上 征 勝	同志社大学文化情報学部教授

（館 内）

大 高 洋 司	研究部教授
大 友 一 雄	研究部研究主幹・教授
落 合 博 志	研究部教授
小 林 健 二	研究部研究主幹・教授
田 中 大 士	研究部研究主幹・教授
谷 川 恵 一	副館長（研究担当）
寺 島 恒 世	副館長（企画調整担当）
古 瀬 蔵	研究部教授
山 下 則 子	研究部教授
渡 辺 浩 一	研究部教授

2. 幹部職員一覧

館長	今 西 祐一郎
副館長（企画調整担当）	寺 島 恒 世
副館長（研究担当）	谷 川 恵 一

【研究部】

研究主幹	大 友 一 雄
研究主幹	小 林 健 二
研究主幹	田 中 大 士

【情報事業センター】

センター長（併任）	寺 島 恒 世
調査収集事業部長	落 合 博 志
電子情報事業部長	古 瀬 蔵
情報資料サービス事業部長	大 高 洋 司
学術企画連携部長（併任）	大 友 一 雄

【古典籍共同研究事業センター】

センター長（兼任）	今 西 祐一郎
副センター長	山 本 和 明

【総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻】

専攻長	山 下 則 子
-----	---------

【管理部】

管理部長	井 深 順 二
	※古典籍共同研究事業センター事務室長（兼任）
総務課長（平成26年8月1日から）	岡 田 耕 作
財務課長	谷 口 潤
学術情報課長	酒 井 量 基



大学院教育

1. 総合研究大学院大学について

【概 要】

総研大日本文学研究専攻では、学位論文審査に出願のあった課程博士2名（適用者含む）及び論文博士2名に対し、公開論文発表会を含めた学位論文本審査を行った。その結果は2月27日の文化科学研究科教授会に附議され、3月24日に学位記（博士）を授与された。

新入生として1名（12期生）の受入れを行い、合計10名に対し研究指導を行った。その年度の研究計画に沿った研究指導を行い、11月27日の中間報告論文研究発表会を経て、中間報告論文が提出され、専攻委員会における審査の結果、11期生1名、12期生1名の論文を受理し、認定した。

また、次年度の入学者選抜を実施し、13期生として2名を合格とした。

(1) 文学研究専攻の運営

専攻の全般にわたる運営は、専攻長の元に置かれた専攻委員会において行っている。専門的な事項については、専攻委員会の下に教育研究委員会及び入学者選抜委員会を置いて審議している。

本年度は、教授14名、准教授10名が担当し、3月末に1名（山田哲好准教授）が定年のため退任した。

(2) 総合研究大学院大学及び文化科学研究科における活動

① 総合研究大学院大学教育研究評議会

本年度は4回開催され、委員として専攻長が出席した。

② 総合研究大学院大学教育研究委員会

本年度は3回開催され、専攻から選出された担当教員が出席した。

③ 文化科学研究科教授会

本年度は定例で2回開催され、構成員である担当教員が出席した。

④ 文化科学研究科専攻長会議

TV会議方式と対面方式の両方により、定例で12回開催された。（8月休会）

⑤ その他全学及び研究科会議

総合研究大学院大学が主催する全学的な会議に専攻から選出された教員が参加した。

- ・ 全学事業担当教員会議
- ・ 附属図書館運営委員会電子資料専門部会
- ・ 文化科学研究科『総研大文化科学研究』編集委員会
- ・ 文化科学研究科学術資料マネジメント教育プログラム開発委員会

(3) 教育研究指導

教育研究指導分野として4分野をたて、授業科目数26科目、24名の担当教員により日常的な指導を行った。学生数は7期生2名、8期生2名、9期生1名、10期生2名、11期生1名、12期生1名の合計9名（休学者1名含む）である。

学生の教育研究指導については、主任指導教員が責任者となり、2名の副指導教員と共に、きめ細かに対応している。学生の学位論文の課題に応じて、基盤機関及び外部の研究会、学会に参加させるなど、より高度な専門教育研究指導を行っている。

本年度は、前・後学期を通じて8科目が開講され、単位認定を行った。中間報告論文研究発表会は11月27日に行われ、11期生1名及び12期生1名が発表し、講評を行った。これを受けて提出された中間報告論文は、審査の結果、2名を合格とした。

また、本年度は学位請求論文審査の出願及び申請が計4件あり、それぞれ学位論文公開発表会及び本審査を行い、2月27日の文化科学研究科教授会の審議を経て、3月24日に博士号が授与された。

(4) 専攻委員会

専攻長（山下則子教授）が議長を務め、担当教員全員（本年度は24名）が構成員となる専攻委員会では、当専攻の教育研究に関する重要事項について審議・決定している。教育研究指導、学事処理、文化科学研究科・葉山本部への対応等、日本文学研究専攻の運営に全責任を負っている。

専門委員会である教育研究委員会、入学者選抜委員会等の議を経た事項等を審議するため定例で行われ、平成26年度は13回開催した。

(5) 教育研究委員会の活動

教育研究委員会（委員長：古瀬蔵教授）は、担当教員のうち専攻長を含めた11名から成り、専攻の学生の教育研究及び厚生補導に関する必要な事項について審議した。本年度は12回開催した。

①カリキュラム

カリキュラムの改訂を若干行った。

②講義

学生が教育研究指導を受ける科目時間割の設定、科目の確定とシラバスのとりまとめ、履修計画の決定などを行い、前・後学期の講義を実施し（全8科目）、講義科目ごとの成績を厳正に評価し、単位を認定した。

③中間報告論文

11月27日、中間報告論文研究発表会（公開）を開催し、11期生1名及び12期生1名が発表を行い、指導教員からの講評に続いて活発な質疑が行われた。学生は発表に基づいて中間報告論文をとりまとめ、2月に提出、3名の指導教員による審査を経て合否判定を行い、最終的に専攻委員会で2名を合格と判定した。

④学位論文審査

本年度は、博士取得希望者4名の学位論文予備審査を行い、4名を合格とした。この4名より11月に学位論文本審査の出願及び申請があり、論文審査、公開発表会、2月27日の文化科学研究科教授会の審議を経て、3月24日に博士号が授与された。

⑤教育研究資源の充実

学生の意思を汲み上げながら、基本及び専門図書並びに学術誌の選定・充実につとめた。

(6) 入学者選抜委員会の活動

入学者選抜委員会（委員長：渡辺浩一教授）は、専攻長を含めた8名から構成され、入学者選抜に関する必要な事項について審議を行った。広く学生を募集するための方策を検討、可能な限り実施し、また、次年度の入学者選抜を行った。本年度は4回開催した。

①募集要項の作成と配布

平成27年度の入学者の募集要項を作成し、配布すると同時に多面的な広報を行った。

②広報活動

- a) 入試説明会及び入学者募集のポスターをそれぞれ作成し、全国の大学・公共図書館等約200件に掲示を依頼した。
- b) 入試説明会及び入学者募集のチラシを作成して、国文学研究資料館の各種行事参加者に配布し、周知に努めた。また、教員が参加する学会などでも配布した。
- c) 多摩モノレールの主要8駅で、入試説明会及び入学者募集ポスターの掲出を約2ヶ月間行った。
- d) インターネットを利用した、Google や Yahoo!Japan 等の検索エンジン連動広告を行い、当専攻の紹介に加え入学者の募集を行った。

③大学院入試説明会

10月25日に国文学研究資料館において「入試説明会」を実施した。本年度は、①専攻についての説明（専攻長） ②入試についての説明（入学者選抜委員長） ③総研大施設案内 ④現役院生との懇談 ⑤特別講義（日本文学研究専攻 小山順子准教授）聴講 ⑥専攻担当教員の研究室訪問を行った。参加者は4名であった。

④入学者選抜試験の実施

平成27年度の入学者選抜試験を実施した。4名の出願者があり、第1次試験（論文審査）では、出願者1名につき3名の委員が審査を行い、合格と判定した。第2次試験（面接試験）では、第1次試験の合格者に対して、9名の面接官による面接を行い、合否判定を行った。その結果は文化科学研究科専攻長会議で承認され、1名は入学手続きを行った。

(7) 広報活動

入学者選抜委員会を中心に、ポスター、チラシ、基盤機関のホームページ、専攻概要、入試説明会等を通じて広報に努めている。またインターネット広告を利用した広報活動に努めており、GoogleAdWords、Yahoo! スポンサーサーチ、Yahoo! インタレストマッチを用いて、当専攻に関心のありそうなインターネットユーザーに広告を表示し、当専攻のホームページに誘導するようにした。加えて、「国文研ニュース」に専攻紹介の欄を設けて、様々な実績をアピールしている。

(8) 教育研究プロジェクト

当専攻では、研究活動を行いつつ大学院教育に資することができるよう、教育研究プロジェクトを実施している。具体的には、担当教員が学会、研究会、外部の所蔵機関の資料調査等を行う際に学生を同行させ、現場にて教育・研究指導を行っている。これにより学生は、学位論文作成に向けた準備を行うとともに、また自立した研究者としての自覚を促している。本年度は、延べ10名の教員により、7つのプロジェクトが実施され、延べ8名の学生が指導を受けた。

(9) 日本文学研究専攻特別講義

本年度も、本専攻独自の事業として特別講義を2回開催した。

第1回特別講義（10月25日開催）

「本歌取り成立前史」小山順子（日本文学研究専攻 准教授）

第2回特別講義（1月7日開催）

①「最後の文書整理と目録編成－佐渡国加茂郡原黒村（現・佐渡市）鶴飼家文書－」

山田哲好（日本文学研究専攻 准教授）

②「「つれづれ」の世紀－中世から近世へ－」

川平敏文（九州大学 准教授）

(10) 文化科学研究科連携事業

文化科学研究科では、研究科の学生に、先導的で国際的に活躍できる高度な専門的知識及び学力を取得させると共に、関連諸分野と有機的に連動できる、創造性豊かで優れた専門応用能力を涵養する目的で、文化科学研究科連携事業を実施している。本専攻の事業実績は以下のとおりである。

①「総研大文化科学研究」刊行事業

査読付きジャーナル「総研大文化科学研究」第11号に、当専攻からは、武居雅子氏、桑汐里氏の論文が掲載された。

②学生派遣事業

研究を深化させ、学位請求論文の作成に必要な調査や研究発表のため、1名の学生を国外に派遣した。（成果発表及び調査活動1件）

③学術交流フォーラム

12月20日・22日の日程で、国立民族学博物館にて、文化科学研究科の学生企画委員会を中心として学術交流フォーラムが開催された。当専攻からは学生企画委員1名が企画運営に関わったのをはじめ、教員5名が参加した。

④学生企画委員事業

学生企画委員（黄昱氏）が、学術交流フォーラムの企画・運営を中心に、文化科学研究科連携事業の推進に積極的に協力した。

(11) 文化科学研究科学術資料マネジメント教育プログラム

文化科学研究科の教育プログラム「学術資料マネジメント教育プログラム開発によるグローバルな人文研究者の養成機能強化」が文部科学省の事業に採択され、専攻間の枠を超えた連携を図り、各基盤機関の所蔵する学術資料を活用したコースワークを目指し、高度な専門性を兼ね備えたグローバルな人文研究者の養成を図る事業が行われる。

これに対応するため、文化科学研究科長の下に「学術資料マネジメント教育プログラム開発委員会」が設置され、各専攻から委員を選出し、コースワークの試行を行うなど準備を行っている。

(12) 施設・設備の整備

日本文学研究専攻には、院生室、院生図書室、学生談話室（学習・懇談・会議など多目的に利用）、講義室（3室）、専攻長室が割り振られている。本年度も各施設・設備の一層の整備につとめた。

(13) 予算

総研大からの専攻運営費により、専攻の活動を滞りなく実施した。

2. 特別共同利用研究員について

【特別共同利用研究員制度】

特別共同利用研究員制度は、国公立大学の要請に応じ、大学院における教育に協力するため、学生を受入れて研究指導を行う制度である。

当館では、昭和54年度から大学院教育協力制度を発足させ、大学院生の受入れを開始し、平成10年度に特別共同利用研究員制度に改めて、受入れの拡充を図った。

受入人員は毎年10名程度で、受入対象者は大学院に在籍し、日本文学、歴史学及びこれらに関連する分野を専攻する者である。受入期間は1年間。

【受入れ】

平成26年度は、2大学から5名の申込みがあり、平成26年4月23日に開催した第1回大学院教育委員会の審議を経た後、館長が5名を特別共同利用研究員（以下「研究員」）としての受入れを許可した。

研究員の在籍大学、課程は下記のとおりである。

〈大学別〉 国立大学1校、4名

私立大学1校、1名

〈課程別〉 博士前期（修士） 課程5名

【オリエンテーション】

特別共同利用研究員オリエンテーションを平成26年5月27日に開催し、研究員及び指導教員の自己紹介に続き「特別共同利用研究員ガイドブック」に基づき、事務担当者から事務手続きや当館資料閲覧利用等に関する説明を行い、最後に研究員と指導教員が研究計画等の打ち合わせを行った。

【研究修了】

研究修了に伴い、研究員から研究報告書、指導教員から研究指導報告書が提出され、1月に開催した第3回及び第4回大学院教育委員会で、これらの報告書に基づき個別に審査した結果、研究員5名を修了者として認定した。

これを受けて、研究員に「研究修了証明書」を、所属大学の研究科長に「特別共同利用研究員研究指導修了通知書」を送付した。

【次年度の募集】

平成27年度特別共同利用研究員の募集要項、ポスター等を作成し、全国の主だった大学院に郵送するとともに、国文学研究資料館のホームページにも募集要項を掲載した。

XIII

総務・財務

1. 総務

(1) 自己点検・評価及び外部評価について

当館の事業及び研究について、評価委員会及び外部委員を含む各種委員会において、自己点検・評価を行い、その結果に基づき、人間文化研究機構の平成26事業年度に係る業務の実績に関する報告書を作成するとともに、外部委員から出された意見を汲み上げ、当館の運営の改善に努めた。

(2) 事務の合理化について

平成24年度から実施している当館所蔵資料の蔵書点検の外部委託について、継続して実施し、事務の効率化を図った。

また、「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」について、「古典籍データベース研究事業センター」を「古典籍共同研究事業センター」に改組し（平成26年4月）、日本語の歴史的典籍データベースの構築に加え、データベースを活用した共同研究を実施する事業を行う組織とした。

(3) 事務職員・技術職員の選考・採用・人事交流状況

平成26年度においては、新規職員として事務系2名（9月1日付け、10月1日付け）、図書系1名（9月1日付け）、転入職員1名（9月1日付け）を採用したほかに人事の活性化を図るため、以下のとおり他機関との人事交流を行った。

・東京農工大学より1名（4月1日付け）

(4) 外部資金による任期付き採用について

科学研究費補助金による研究支援者（リサーチアシスタント）を平成26年4月1日に5名（新規2名、継続3名）、プロジェクト研究員を4月1日に3名（継続3名）を採用した。また、機構連携研究でプロジェクト研究員を4月1日に2名（新規1名、継続1名）、日本関連在外資料調査研究でプロジェクト研究員を4月1日に1名（継続）それぞれ採用した。

(5) 職員の研修について

①職務に対する理解を深めるとともに、職員の業務遂行能力の向上及び当館での業務だけでは得難い知識の取得をさせることにより優秀な人材を育成するため、国立大学協会等外部機関が主催する研修会への積極的に参加させた。

②新規採用職員を対象とした研修会「事務分掌・業務説明会」、課長補佐、係長を対象としたハラスメント防止研修を実施した。

③意欲と能力のある事務職員のキャリア形成等について必要な助言、指導を行い、当該職員を側面から支援することによってその成長と組織適応の促進を図るため、試行的にメンター制を導入した。

④安全で快適な職場環境の維持・確保に努めるため、職員を防災センター要員講習に受講さ

せた。

(6) 超過勤務の管理について

超過勤務縮減のため、各課・係の業務内容、分担等の見直し及び業務の効率化について繰り返し要請を行った。

(7) 職員の福利厚生について

年1回の健康診断の実施、引き続き職員の人間ドッグ受診時の費用を一部負担することのほか、産業医を講師として医療全般に関する内容で研修を実施するなど、職員の健康の保持増進に努めた。

(8) 国文研フォーラムについて

平成23年度より、当館の研究者が行っている研究を、大学院生を含む館外の幅広い研究者との交流の場へと開いていくことを目指し、当館の研究活動の成果発信へ向けた取り組みの一環として、国文研フォーラムを実施しており、平成26年度は9回開催した。

(9) 研究連携について

①連携研究、日本関連在外資料調査研究事業

人間文化研究機構内を構成する各機関の連携研究を推進するため、当館においても機構内連携研究、日本関連在外資料調査研究事業に取り組んだ。

- ・「オランダ国ライデン伝来のブロンホフ、フイッセル、シーボルト蒐集日本書籍の調査研究」（日本関連在外資料調査研究）
- ・バチカン図書館所蔵マリオ・マレガ収集文書の保存・公開に関する調査・研究（日本関連在外資料調査研究）

②科学研究費助成事業等における連携状況

科学研究費助成事業による研究活動においても、研究の目的上国内外の当館以外の研究者との連携が不可欠な課題があり、有意義且つ効果的な連携研究が行われている。

(10) 研究者の交流について

①客員教員

当館の共同研究への参加を条件として採用を行うこととし、各研究代表者が適任者を選考、研究業績等を記入した選考調書を作成し、その選考調書に基づき研究部会議及び主幹・部長会議において選考及び客員教授及び客員准教授の称号付与について協議し、運営会議の議を経て館長が決定する。

- ・平成26年度の採用状況
教授2名、准教授2名（所属別国立大学2名、私立大学2名）
- ・平成27年度の採用計画
教授2名、准教授1名（所属別国立大学2名、私立大学1名）

②機関研究員

高度な研究能力を持つ若手研究者の養成及び共同研究等の推進を図るため、採用は公募にて行い、研究部会議において候補者を選出し、主幹・部長会議の議を経て館長が決定する。

- ・平成26年度の採用状況6名
- ・平成27年度の採用計画6名

③外来研究員

私費、外部資金及び他機関等からの経費負担による研究者について、積極的に受け入れており、平成26年度は11名（内外国人6名）を受け入れた。

(11) 外部資金について

当館の研究内容は、受託研究、民間等との共同研究等にはなじみにくい分野であり、競争的研究資金の獲得としては、科学研究費助成事業、財団等が募集する研究助成金、その他の寄附金を積極的に受け入れている。

また、科学研究費助成事業に関して、不採択となった研究課題のうち、日本学術振興会の評価が高かった研究課題について、次年度の採択に向けて申請者に対し支援を行った。

さらに、教職員間で意見交換会を行い、外部資金の取り扱いについて理解を深めることで、不正行為及び不正使用の防止に努めた。

(12) リサーチアシスタントについて

若手研究者育成の観点から、当館においてもリサーチアシスタントを採用することとし、各共同研究に配置し、研究の補助者として当該研究活動に必要な補助業務を行わせている。採用に当たっては、従事する共同研究の研究代表者が適任者を検討し、学生（候補者）及び所属大学の主任指導教授から内諾を得て、選考調書を作成し、研究部会議で協議し、主幹・部長会議の議を経て、館長が決定している。

・平成26年度の採用状況6名

（所属別国立大学2名、私立大学4名）

（研究分野別国文学系3名、歴史学系3名）

うち、当館が基盤機関である総合研究大学院大学文化科学研究科日本文学研究専攻の学生は2名。

共同研究に参画させ、研究活動の効果的推進、研究体制の充実を図る一方で、若手研究者の研究能力の育成を目指しており、任用期間終了後には指導を担当する教員からリサーチアシスタント研究指導報告書を、本人からリサーチアシスタント研究成果報告書の提出を義務づけている。

(13) 知的財産関係について

法人化を契機に、今まで以上に知的財産の保護、円滑な管理及び専門家の養成などが急務となっており、知的財産委員会を組織した。

また、人間文化研究機構における知的財産管理室へ2名の職員を併任させるとともに、知的財産セミナーやシンポジウムへ積極的に参加させるなど、当館における知的財産の創造、保護及び活用に対する意識の向上に努めた。

(14) 公的研究費執行の不正防止について

研究費の不正な使用を防止するため、研究費執行のルール及び不正使用した場合の重大性・危険性について、教員連絡会等において説明し、周知徹底を図っている。

2. 財 務

(1) 平成26年度予算について

当初配分額は、1,212,520千円である。

このうち、当館の事業、研究及び管理のための予算として、人件費を除いた431,568千円について館内配分を実施した。

館内への予算配分に当たり、当館の中期計画及び年度計画に沿った事業については、各事業部や研究部等から、館長、副館長、管理部長等がヒアリングを行い、前年度の執行状況や決算等を総合的に勘案し、予算編成を行った。

(2) 特別経費について

特別経費「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」の経費として150,000千円が措置され、古典籍データベース研究事業センターを古典籍共同研究事業センターに改組、特任准教授の採用及び館内の情報系教員のセンター併任による実施体制の強化、館所蔵資料を中心に累計約54,000点の画像データを作成、総合書物学の構築を目指す共同研究7件及び公募による共同研究5件を開始、国際共同研究準備研究2件を実施など、事業を着実に推進した。

(3) 危機管理について

防災対策の一環として、平成26年12月16日に立川消防署立会のもと、情報・システム研究機構（国立極地研究所及び統計数理研究所）と合同地震火災総合訓練を実施した。

また帰宅困難者対策として200名分の毛布等の備蓄を確保した。

付 賛助会

【概 要】

国文学研究資料館では、平成19年度から、当館が行う日本文学研究の推進、若手研究者への奨励、国際交流及び社会連携等の諸活動に幅広く支援を得るために賛助会を設置し、平成26年度の会員数は、特別会員1名、賛助会員（個人）45名、賛助会員（団体）1名である。

【会員募集要項】

1 募集対象

当館の事業趣旨に賛同する個人・団体を対象。

2 会員期間

入会日から入会日の属する年度の年度末まで。

3 寄附金

特別会員 一口 10万円

賛助会員（個人） 一口 3千円

賛助会員（団体） 一口 1万円

4 入会申込みと寄附金払込みの方法

入会にあたっては、「会員募集のご案内」に添付の申込書を郵送してもらう。

別途、当館から入金に関する案内を返送する。

5 入会した際の優待

（1）当館が開催する講演会、展示、シンポジウム、研究集会等の催し案内を送付する。

（2）当館が刊行する広報誌（概要・ニュース）を送付する。

（3）特別会員、10口以上の賛助会員（個人）及び3口以上の賛助会員（団体）は、希望により館内に名前（社名等）を掲示する。

（4）特別会員及び10口以上の賛助会員（団体）は、希望により当館のホームページに社名等を掲載する。

（5）その他、当館が主催する催しについて各種優待をする。

【日本古典文学学術賞】

当館賛助会では、日本古典文学会賞を継承し、若手日本古典文学等研究者の奨励、援助を目的として、日本古典文学学術賞を制定している。

本学術賞の対象者は40歳未満の研究者であり、1回の授賞は3名以内までとしている。対象とする業績は前年の1月から12月までに公表された、日本古典文学に関する論文又は著書としている。

選考方法は、当館賛助会に設置している選考委員会委員からの推薦及び過去の受賞者からの推薦による対象者の論文を選考委員会で審議を行うこととしており、受賞者には賞状と賞金20万円を授与することとしている。

2. 財 務

(1) 平成26年度予算について

当初配分額は、1,212,520千円である。

このうち、当館の事業、研究及び管理のための予算として、人件費を除いた431,568千円について館内配分を実施した。

館内への予算配分に当たり、当館の中期計画及び年度計画に沿った事業については、各事業部や研究部等から、館長、副館長、管理部長等がヒアリングを行い、前年度の執行状況や決算等を総合的に勘案し、予算編成を行った。

(2) 特別経費について

特別経費「日本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」の経費として150,000千円が措置され、古典籍データベース研究事業センターを古典籍共同研究事業センターに改組、特任准教授の採用及び館内の情報系教員のセンター併任による実施体制の強化、館所蔵資料を中心に累計約54,000点の画像データを作成、総合書物学の構築を目指す共同研究7件及び公募による共同研究5件を開始、国際共同研究準備研究2件を実施など、事業を着実に推進した。

(3) 危機管理について

防災対策の一環として、平成26年12月16日に立川消防署立会のもと、情報・システム研究機構（国立極地研究所及び統計数理研究所）と合同地震火災総合訓練を実施した。

また帰宅困難者対策として200名分の毛布等の備蓄を確保した。

付

賛助会

【概要】

国文学研究資料館では、平成19年度から、当館が行う日本文学研究の推進、若手研究者への奨励、国際交流及び社会連携等の諸活動に幅広く支援を得るために賛助会を設置し、平成26年度の会員数は、特別会員1名、賛助会員（個人）45名、賛助会員（団体）1名である。

【会員募集要項】

1 募集対象

当館の事業趣旨に賛同する個人・団体を対象。

2 会員期間

入会日から入会日の属する年度の年度末まで。

3 寄附金

特別会員 一口 10万円

賛助会員（個人） 一口 3千円

賛助会員（団体） 一口 1万円

4 入会申込みと寄附金払込みの方法

入会にあたっては、「会員募集のご案内」に添付の申込書を郵送してもらう。

別途、当館から入金に関する案内を返送する。

5 入会した際の優待

（1）当館が開催する講演会、展示、シンポジウム、研究集会等の催し案内を送付する。

（2）当館が刊行する広報誌（概要・ニュース）を送付する。

（3）特別会員、10口以上の賛助会員（個人）及び3口以上の賛助会員（団体）は、希望により館内に名前（社名等）を掲示する。

（4）特別会員及び10口以上の賛助会員（団体）は、希望により当館のホームページに社名等を掲載する。

（5）その他、当館が主催する催しについて各種優待をする。

【日本古典文学学術賞】

当館賛助会では、日本古典文学会賞を継承し、若手日本古典文学等研究者の奨励、援助を目的として、日本古典文学学術賞を制定している。

本学術賞の対象者は40歳未満の研究者であり、1回の授賞は3名以内までとしている。対象とする業績は前年の1月から12月までに公表された、日本古典文学に関する論文又は著書としている。

選考方法は、当館賛助会に設置している選考委員会委員からの推薦及び過去の受賞者からの推薦による対象者の論文を選考委員会で審議を行うこととしており、受賞者には賞状と賞金20万円を授与することとしている。

第7回日本古典文学学術賞（対象年：平成25年）

受賞者：木越俊介氏（山口県立大学国際文化学部准教授）

研究業績：『江戸大坂の出版流通と読本・人情本』

清文堂 2013年10月

付

賛助会

【概要】

国文学研究資料館では、平成19年度から、当館が行う日本文学研究の推進、若手研究者への奨励、国際交流及び社会連携等の諸活動に幅広く支援を得るために賛助会を設置し、平成26年度の会員数は、特別会員1名、賛助会員（個人）45名、賛助会員（団体）1名である。

【会員募集要項】

1 募集対象

当館の事業趣旨に賛同する個人・団体を対象。

2 会員期間

入会日から入会日の属する年度の年度末まで。

3 寄附金

特別会員 一口 10万円

賛助会員（個人） 一口 3千円

賛助会員（団体） 一口 1万円

4 入会申込みと寄附金払込みの方法

入会にあたっては、「会員募集のご案内」に添付の申込書を郵送してもらう。

別途、当館から入金に関する案内を返送する。

5 入会した際の優待

（1）当館が開催する講演会、展示、シンポジウム、研究集会等の催し案内を送付する。

（2）当館が刊行する広報誌（概要・ニュース）を送付する。

（3）特別会員、10口以上の賛助会員（個人）及び3口以上の賛助会員（団体）は、希望により館内に名前（社名等）を掲示する。

（4）特別会員及び10口以上の賛助会員（団体）は、希望により当館のホームページに社名等を掲載する。

（5）その他、当館が主催する催しについて各種優待をする。

【日本古典文学学術賞】

当館賛助会では、日本古典文学会賞を継承し、若手日本古典文学等研究者の奨励、援助を目的として、日本古典文学学術賞を制定している。

本学術賞の対象者は40歳未満の研究者であり、1回の授賞は3名以内までとしている。対象とする業績は前年の1月から12月までに公表された、日本古典文学に関する論文又は著書としている。

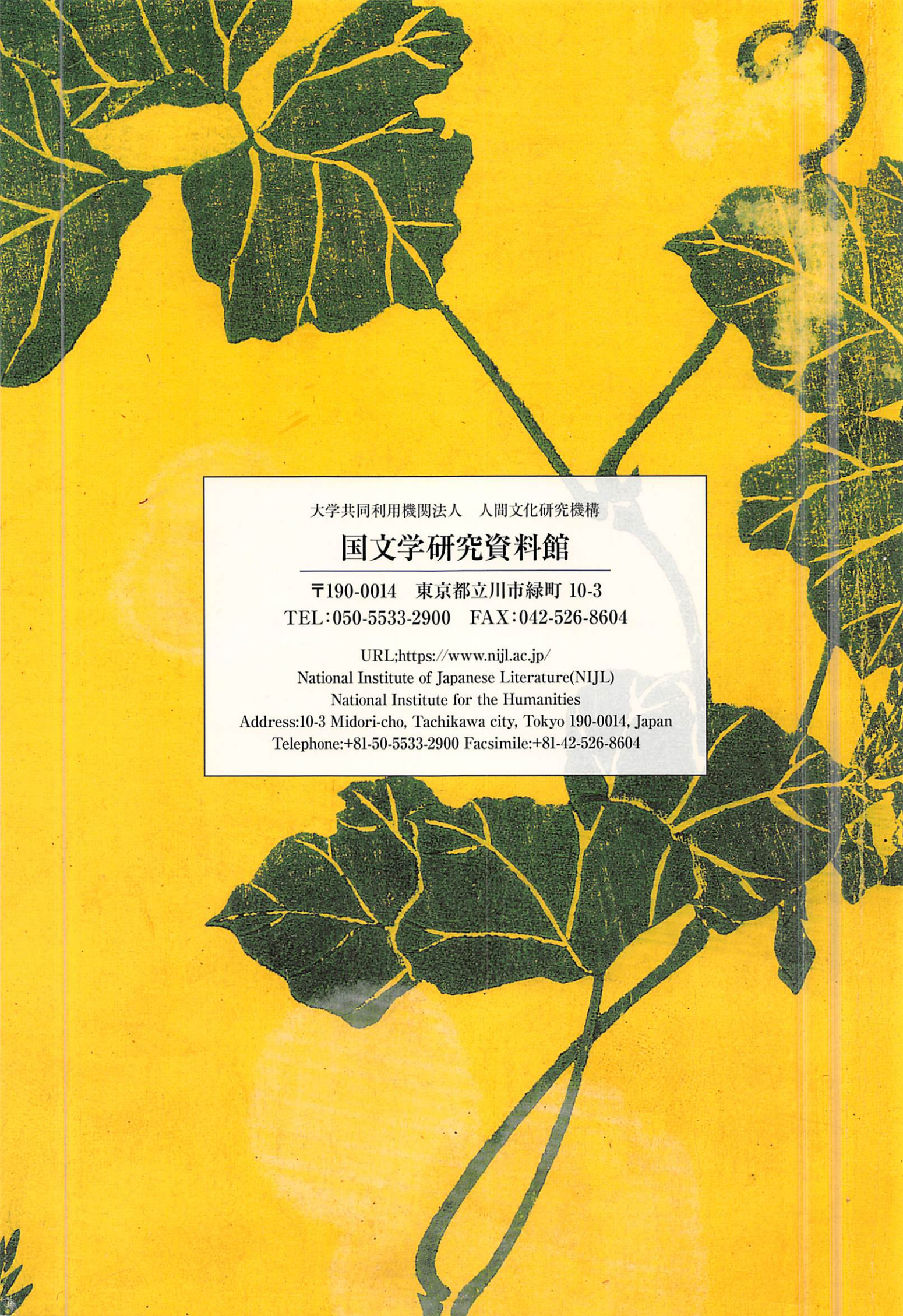
選考方法は、当館賛助会に設置している選考委員会委員からの推薦及び過去の受賞者からの推薦による対象者の論文を選考委員会で審議を行うこととしており、受賞者には賞状と賞金20万円を授与することとしている。

第7回日本古典文学学術賞（対象年：平成25年）

受賞者：木越俊介氏（山口県立大学国際文化学部准教授）

研究業績：『江戸大坂の出版流通と読本・人情本』

清文堂 2013年10月



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

〒190-0014 東京都立川市緑町 10-3
TEL:050-5533-2900 FAX:042-526-8604

URL:<https://www.nijl.ac.jp/>

National Institute of Japanese Literature(NIJL)

National Institute for the Humanities

Address:10-3 Midori-cho, Tachikawa city, Tokyo 190-0014, Japan

Telephone:+81-50-5533-2900 Facsimile:+81-42-526-8604